

令和7年度第3回厚木市生涯学習推進会議次第

日時 令和8年1月8日(木)

午前10時から11時まで(予定)

場所 あつぎ市民交流プラザ ミュージックルーム1
(アミューあつぎ7階)

1 開 会

2 挨拶

3 案 件

(1) 意向調査の結果について・・・資料1

(2) 策定方針(案)について・・・資料2

(3) その他

4 閉 会

厚木市生涯学習推進計画に係る 意向調査結果報告書

令和7年11月

厚 木 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	小学生調査結果.....	2
III	中学生調査結果.....	6
IV	市民調査結果のまとめ.....	11
1	生涯学習について.....	11
2	生涯学習活動について.....	11
3	生涯学習の地域・社会活用について.....	11
4	市の施策について.....	11
5	自由意見.....	11
V	市民調査結果.....	12
1	回答者について.....	12
(1)	性別.....	12
(2)	年齢.....	12
(3)	職業.....	13
(4)	地区.....	14
2	生涯学習について.....	15
(1)	生涯学習のイメージ.....	15
(2)	生涯学習の必要性.....	18
(3)	生涯学習に関する環境.....	20
3	生涯学習活動について.....	21
(1)	過去1年間の生涯学習活動.....	21
(2)	生涯学習活動の方法.....	25
(3)	生涯学習活動の形態.....	28
(4)	生涯学習活動の目的.....	30
(5)	生涯学習活動をしていない理由.....	32
(6)	今後学びたい分野.....	35

(7) リカレント教育や社会人の学び直しの意向.....	40
(8) リカレント教育や社会人の学び直しの方法.....	43
(9) 生涯学習活動に都合のいい時間帯・日程.....	45
(10) 生涯学習活動に参加できる費用.....	47
(11) 生涯学習に関する便利な情報入手方法.....	49
(12) 生涯学習に関して入手したい情報.....	51
4 生涯学習の地域・社会活用について.....	53
(1) 生涯学習の経験等の地域・社会活用.....	53
(2) 生涯学習を活かしている分野.....	56
(3) 生涯学習の活かし方.....	59
(4) 生涯学習を活かすにあたっての困難.....	61
5 市の施策について.....	63
(1) 生涯学習活動を盛んにするために力を入れるべきこと.....	63
6 自由意見.....	67
◆ 調査票.....	77

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生涯学習に関する意識の変化や実態を的確に把握し、令和9年度を始期とする次期厚木市生涯学習推進計画を策定するための基礎データとし、今後の施策展開に向けた課題を抽出することを目的に実施したものです。

2 調査対象

小学生調査：厚木市立 23 小学校に通う小学5年生

中学生調査：厚木市立 13 中学校に通う中学2年生

市民調査：厚木市内に在住する 16 歳以上の市民（外国人住民を含む）

3 調査期間

小学生調査：令和7年9月3日～令和7年9月30日

中学生調査：令和7年9月3日～令和7年9月30日

市民調査：令和7年9月5日～令和7年9月30日

4 調査方法

郵送配布・回収及びWEBフォームによる回答

5 回収状況

	配布数	回収数	回収率
小学生	1,747件	947件	54.2%
中学生	1,750件	1,418件	81.0%
市民	3,000件	746件	24.9%

6 調査結果の表示方法

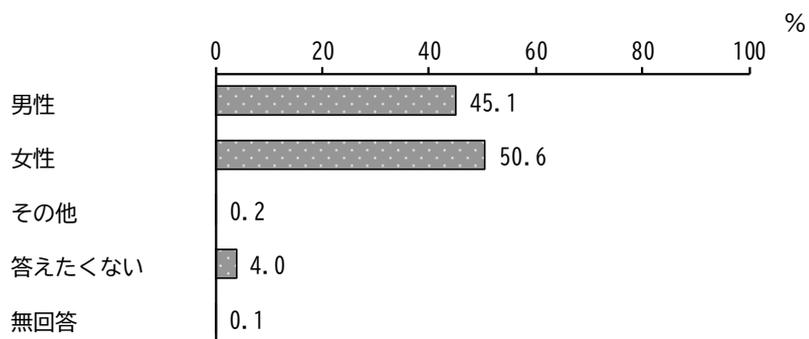
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 小学生調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。

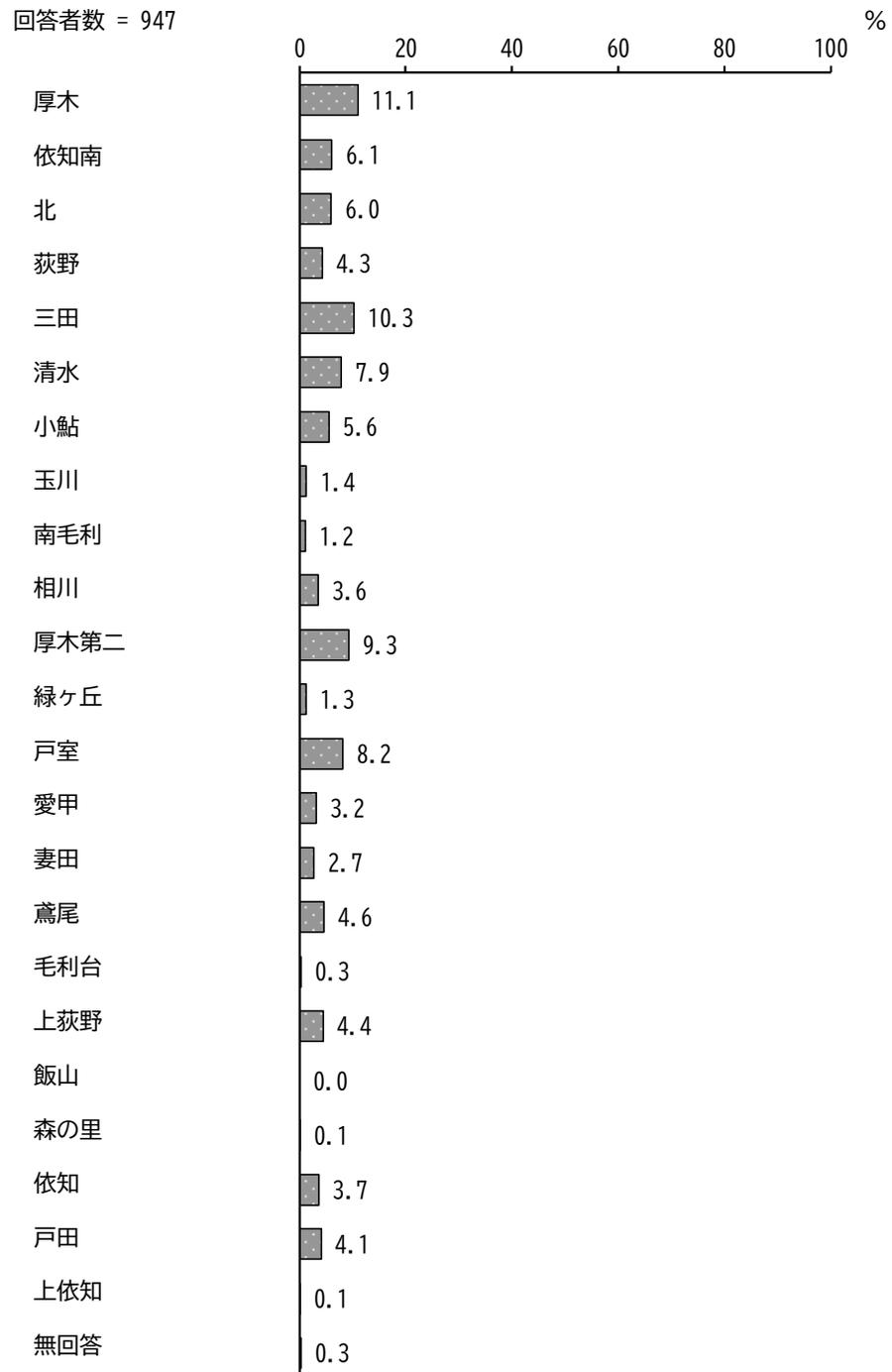
「男性」の割合が45.1%、「女性」の割合が50.6%となっています。

回答者数 = 947



問2 あなたの通っている小学校を教えてください。

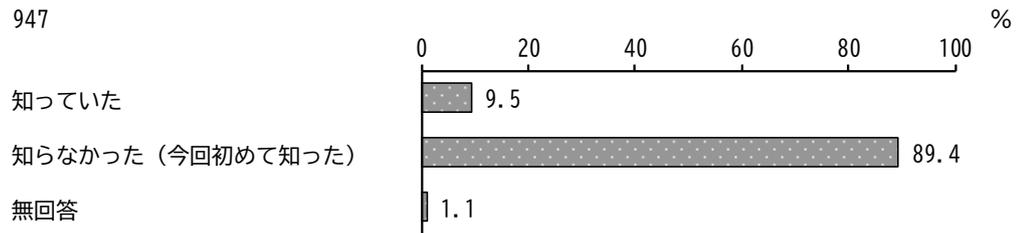
「厚木」の割合が11.1%と最も高く、次いで「三田」の割合が10.3%、「厚木第二」の割合が9.3%となっています。



問3 あなたは、「生涯学習」という言葉を知っていましたか。(1つ選んでください)

「知っていた」の割合が9.5%、「知らなかった(今回初めて知った)」の割合が89.4%となっています。

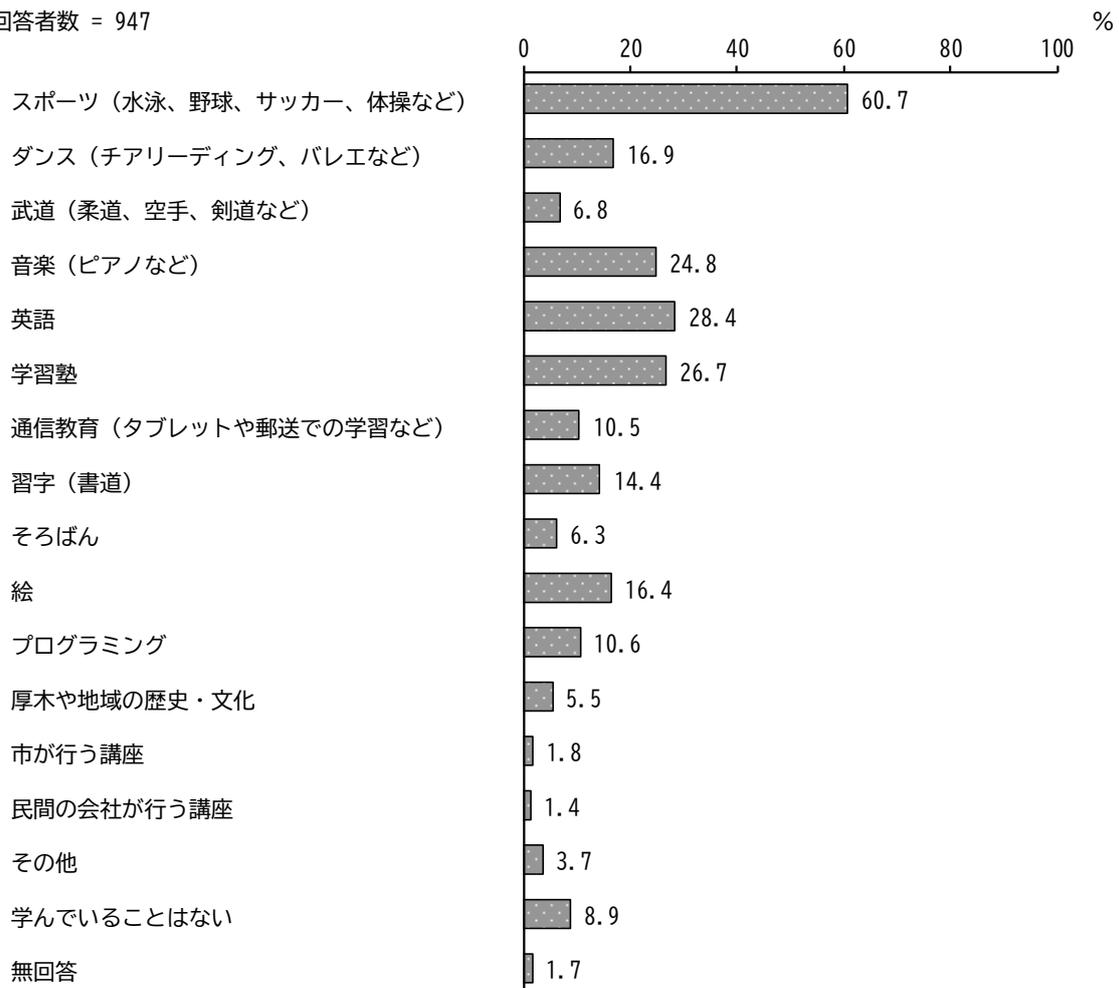
回答者数 = 947



問4 ここ1年くらいの間に、学校以外で、あなたはどのようなことを学びましたか。(いくつか選んでもOK)

「スポーツ(水泳、野球、サッカー、体操など)」の割合が60.7%と最も高く、次いで「英語」の割合が28.4%、「学習塾」の割合が26.7%となっています。

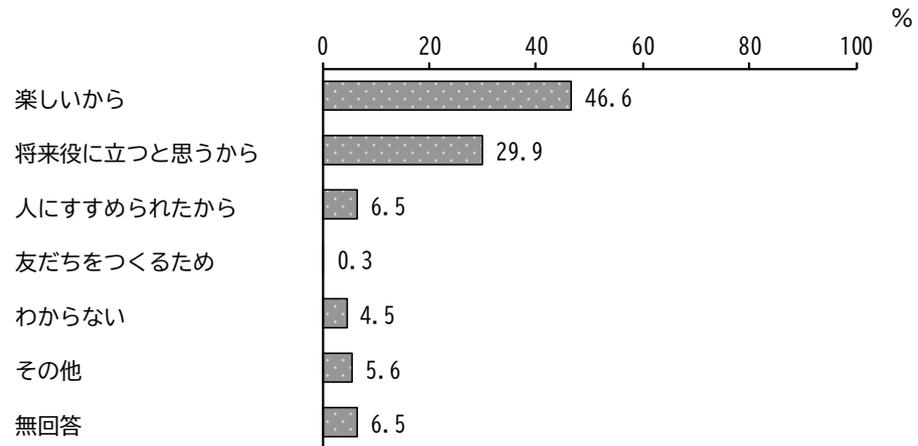
回答者数 = 947



問5 問4で1～15を選んだ方におたずねします。ここ1年くらいの間に学んだことについて、取り組む理由はなんですか。(いくつ選んでもOK)

「楽しいから」の割合が46.6%と最も高く、次いで「将来役に立つと思うから」の割合が29.9%となっています。

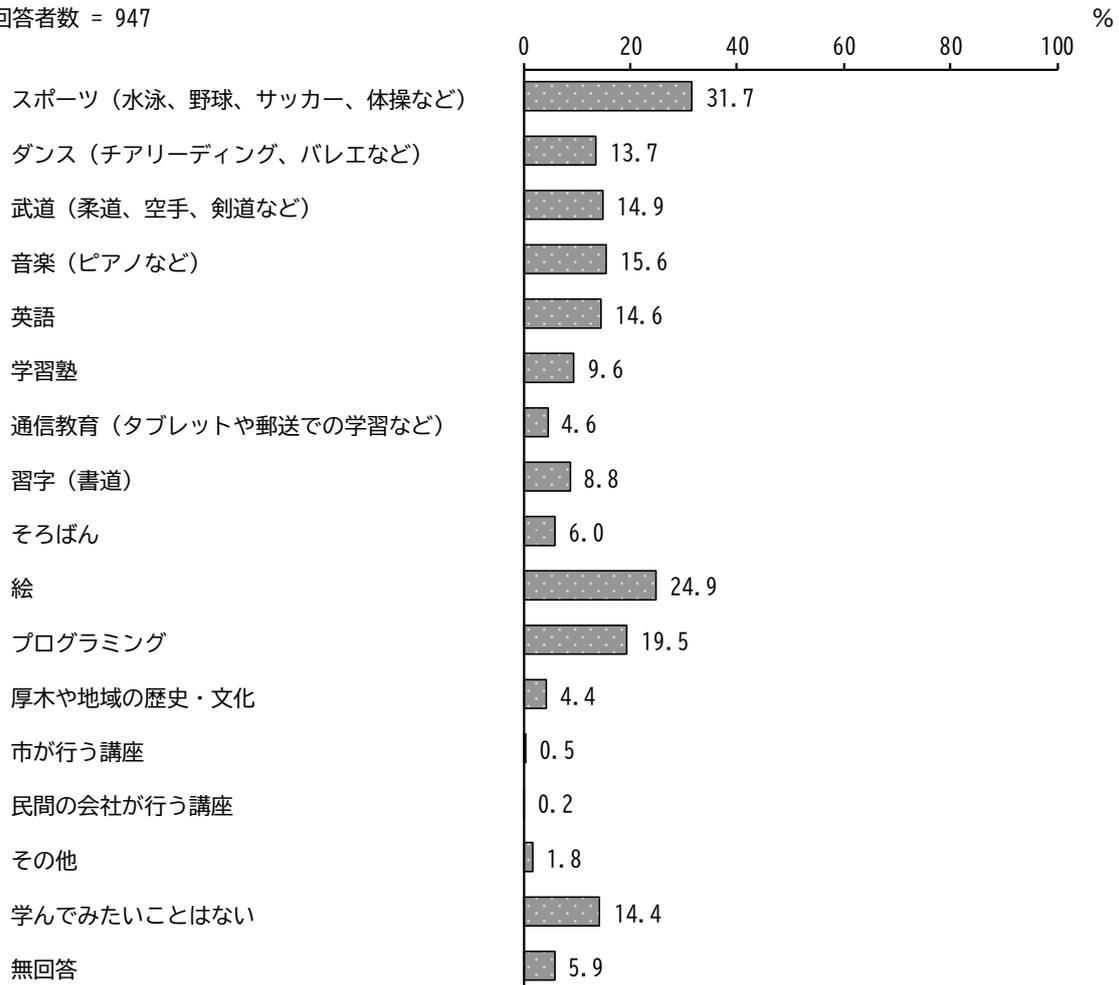
回答者数 = 859



問6 今後、学校以外で、学んでみたいと思うことは何ですか。(いくつ選んでもOK)

「スポーツ (水泳、野球、サッカー、体操など)」の割合が31.7%と最も高く、次いで「絵」の割合が24.9%、「プログラミング」の割合が19.5%となっています。

回答者数 = 947

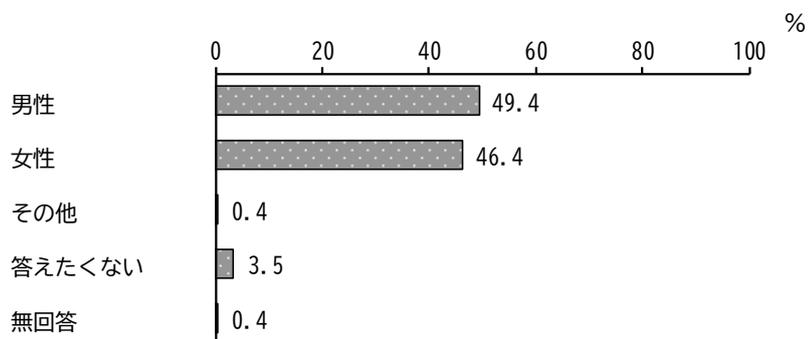


Ⅲ 中学生調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。

「男性」の割合が49.4%、「女性」の割合が46.4%となっています。

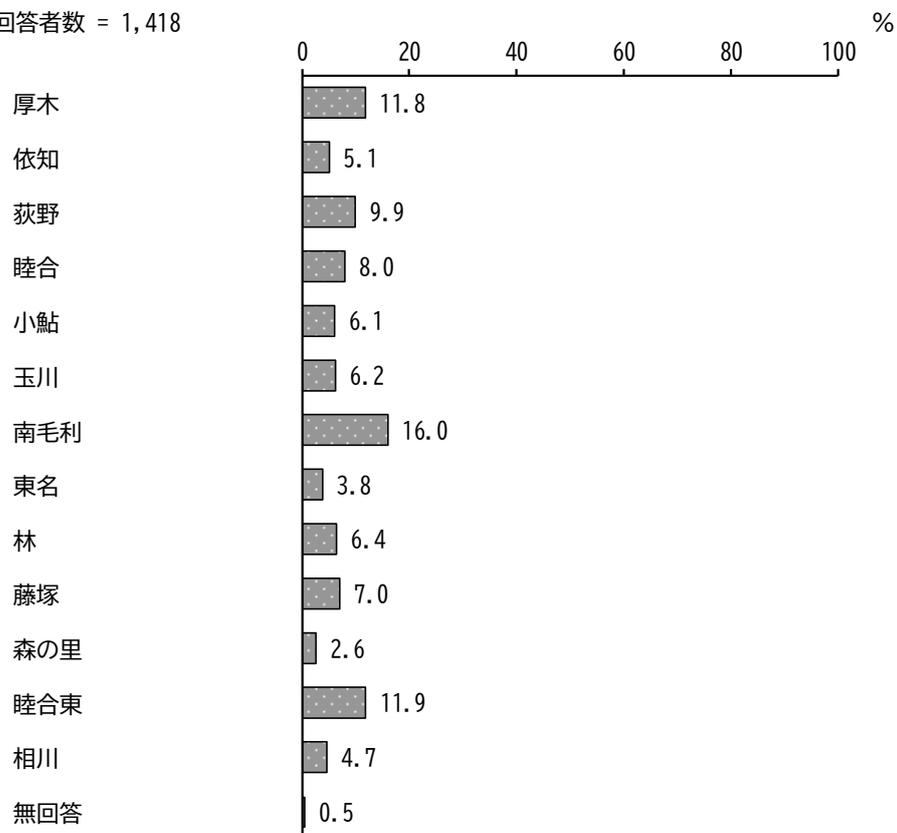
回答者数 = 1,418



問2 あなたの通っている中学校を教えてください。

「南毛利」の割合が16.0%と最も高く、次いで「睦合東」の割合が11.9%、「厚木」の割合が11.8%となっています。

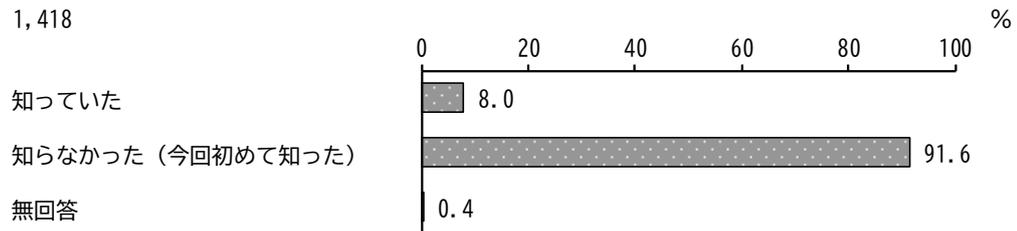
回答者数 = 1,418



問3 あなたは、「生涯学習」という言葉を知っていましたか。(1つ選んでください)

「知っていた」の割合が8.0%、「知らなかった(今回初めて知った)」の割合が91.6%となっています。

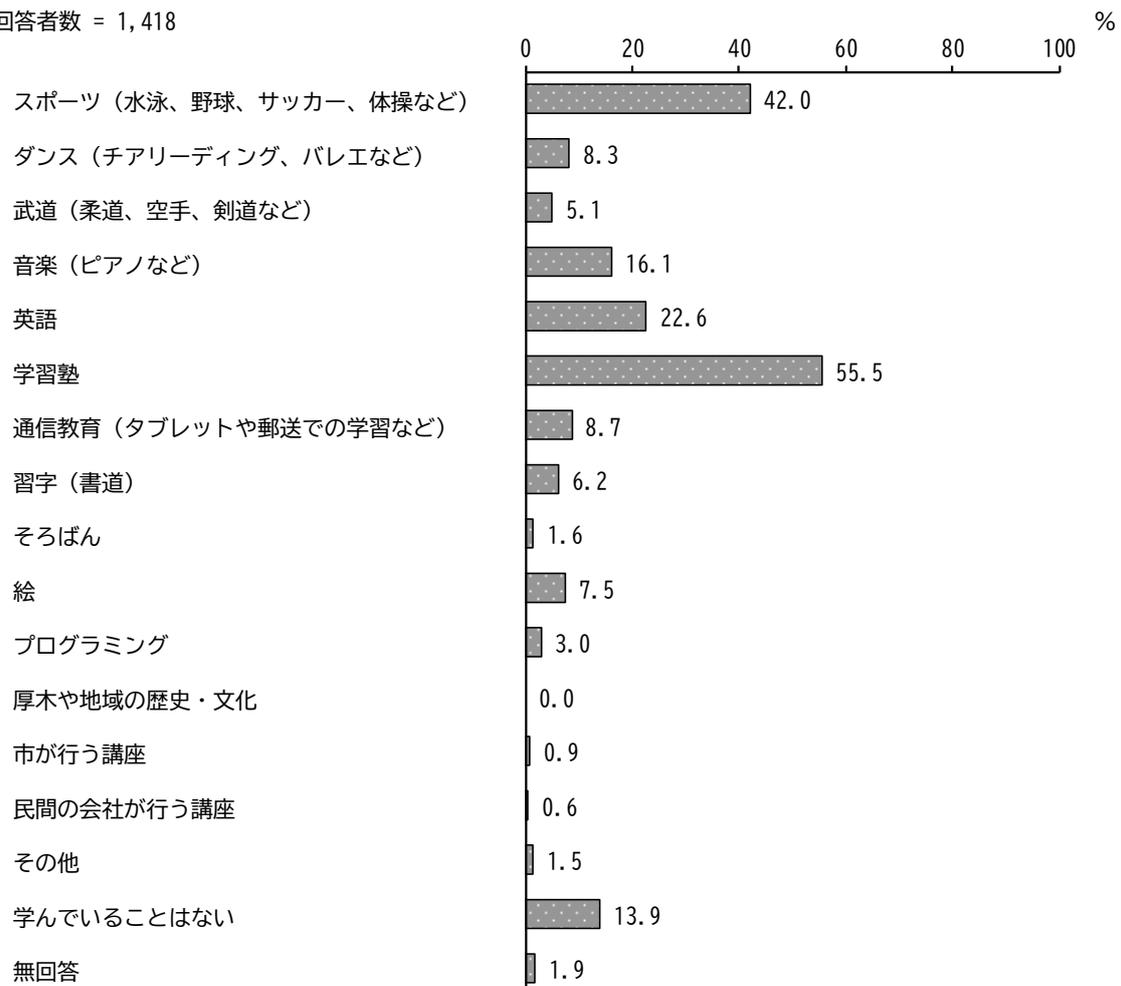
回答者数 = 1,418



問4 ここ1年くらいの間に、学校以外で、あなたはどのようなことを学びましたか。(いくつ選んでもOK)

「学習塾」の割合が55.5%と最も高く、次いで「スポーツ(水泳、野球、サッカー、体操など)」の割合が42.0%、「英語」の割合が22.6%となっています。

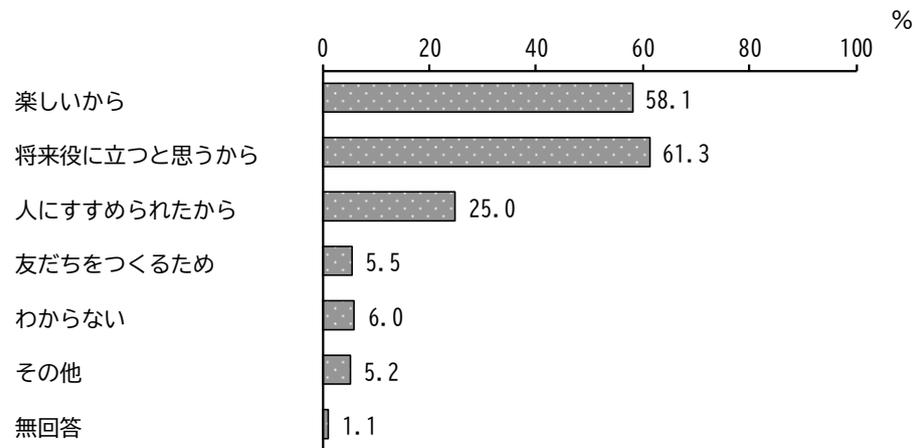
回答者数 = 1,418



問5 問4で1～15を選んだ方におたずねします。ここ1年くらいの間に学んだことについて、取り組む理由はなんですか。(いくつ選んでもOK)

「将来役に立つと思うから」の割合が61.3%と最も高く、次いで「楽しいから」の割合が58.1%、「人にすすめられたから」の割合が25.0%となっています。

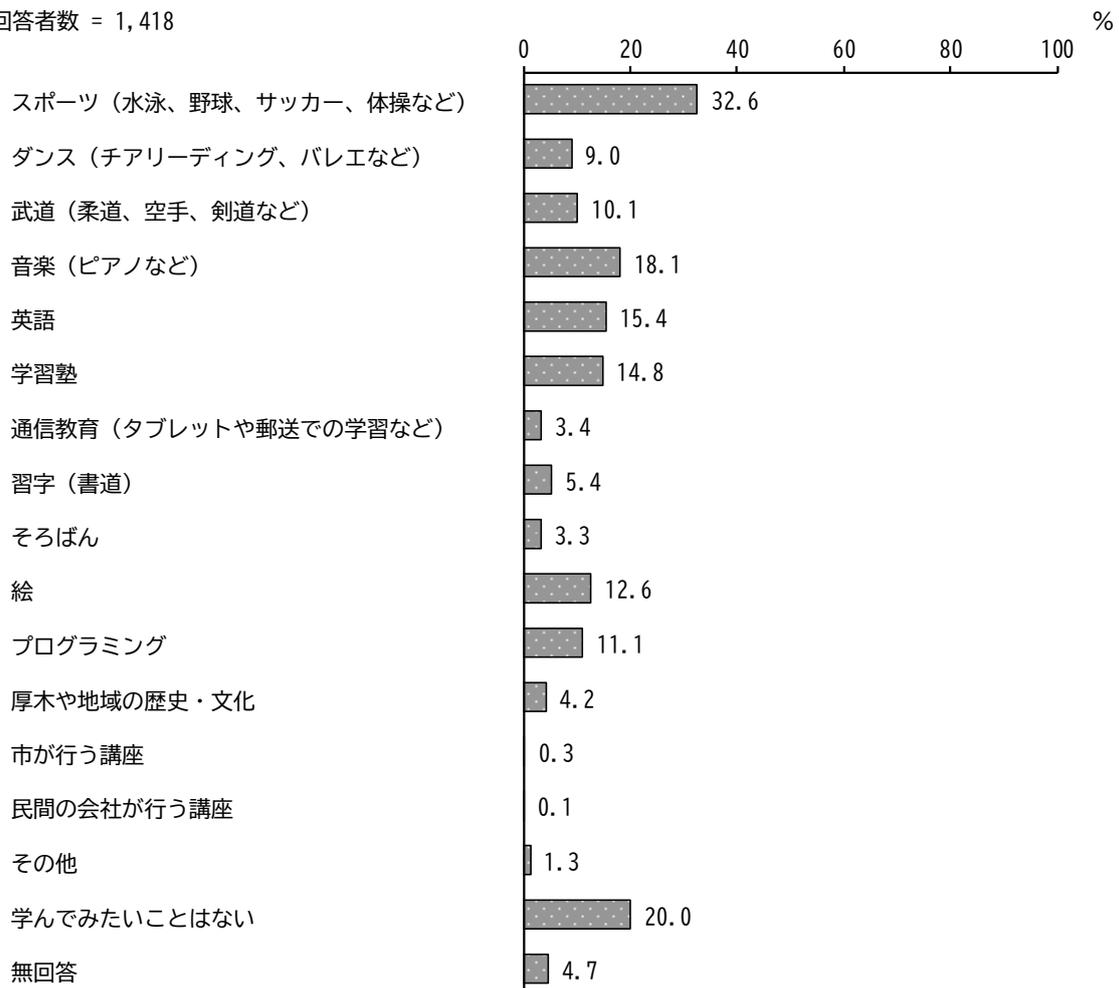
回答者数 = 1,208



問6 今後、学校以外で、学んでみたいと思うことは何ですか。(いくつ選んでもOK)

「スポーツ (水泳、野球、サッカー、体操など)」の割合が32.6%と最も高く、次いで「音楽 (ピアノなど)」の割合が18.1%、「英語」の割合が15.4%となっています。

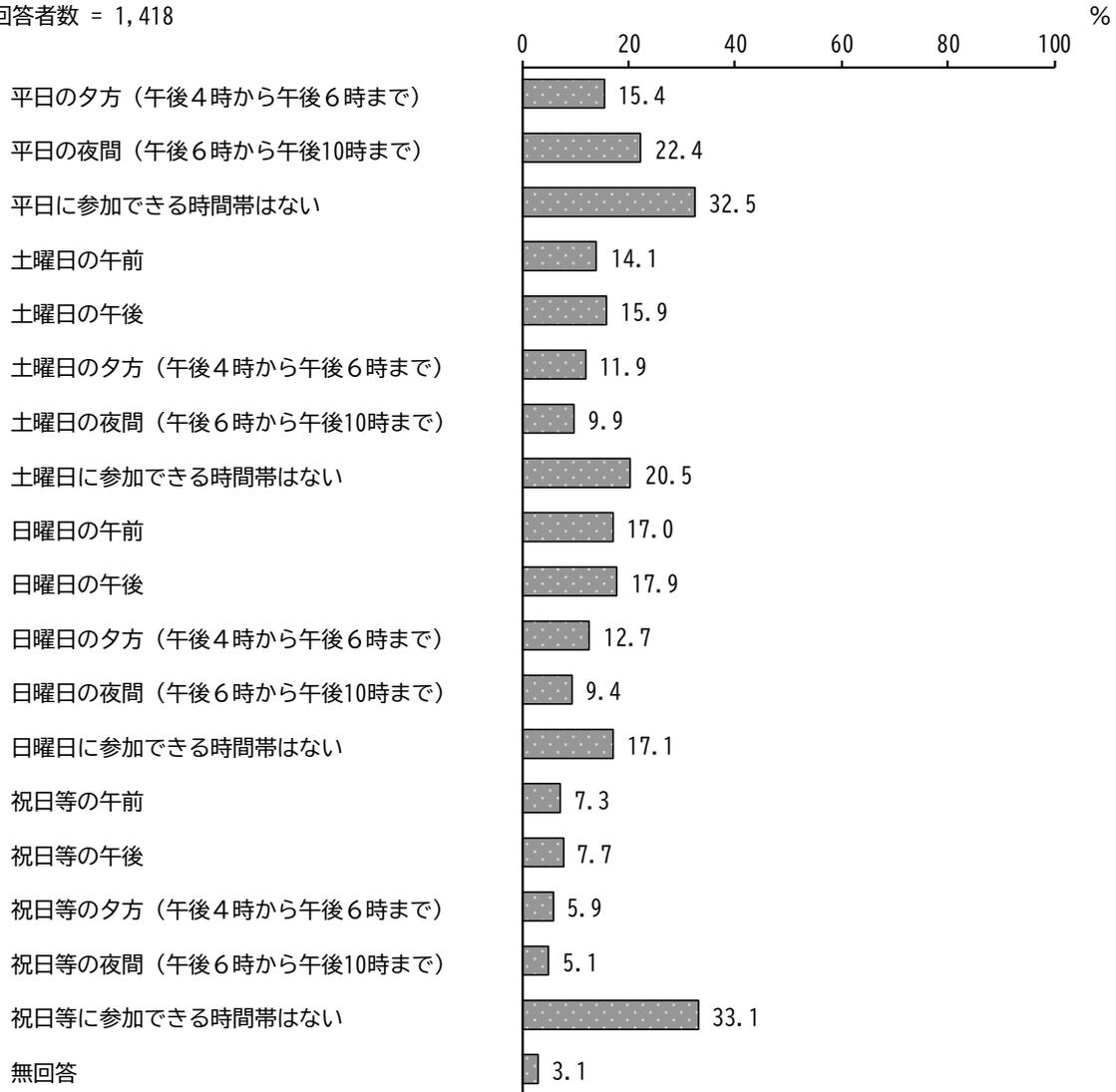
回答者数 = 1,418



問7 生涯学習活動（市が行う講座など）に参加するに当たり、都合の良い時間帯・日程はどれですか。（いくつ選んでもOK）

「祝日等に参加できる時間帯はない」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「平日に参加できる時間帯はない」の割合が 32.5%、「平日の夜間（午後6時から午後10時まで）」の割合が 22.4%となっています。

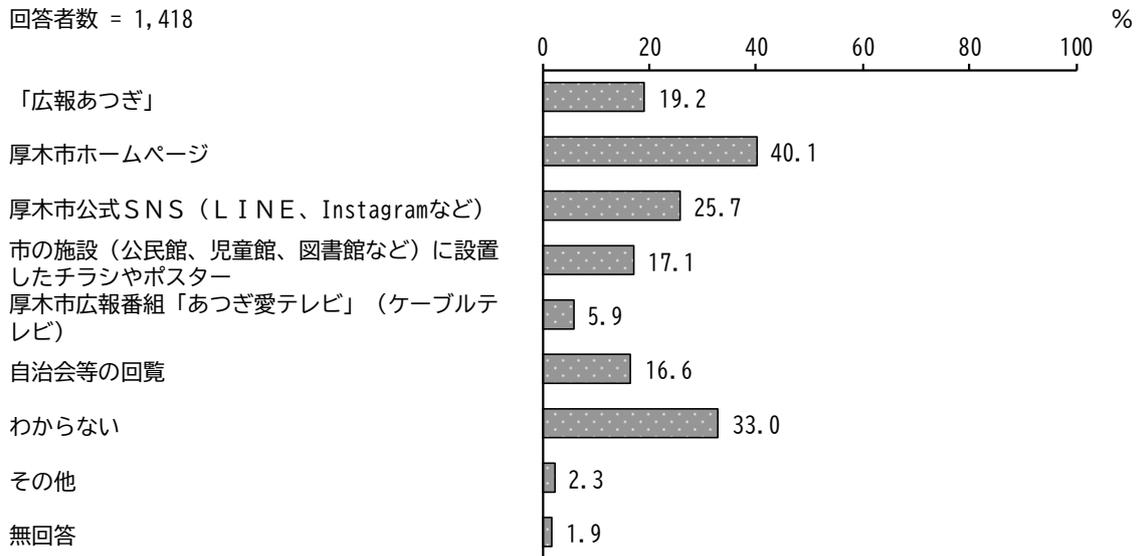
回答者数 = 1,418



問8 市が行う講座などの情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。(いくつ選んでもOK)

「厚木市ホームページ」の割合が40.1%と最も高く、次いで「厚木市公式SNS(LINE、Instagramなど)」の割合が25.7%、「広報あつぎ」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 1,418



IV 市民調査結果のまとめ

1 生涯学習について

○生涯学習について、多くの市民が「趣味や教養を高める」、「心を豊かにする」といったイメージを持ち、必要性を感じています。一方で、高齢層や男性を中心に、その必要性を感じていない人の割合も一定数おり、今後は幅広い世代や属性に対応した学びの場づくりや情報提供の充実が求められます。

2 生涯学習活動について

○生涯学習活動について、実施率は年々減少傾向にあり、約半数が未参加で、特に男性や若い世代での未参加が目立ちます。一方で「趣味」、「健康」、「教養」分野への関心は高く、今後は多忙な社会人や高齢者のニーズに応じた支援、便利な情報提供方法の強化が求められます。

3 生涯学習の地域・社会活用について

○生涯学習の地域・社会活用について、身につけた知識や技能を「いかしたい」と考える人は多い一方で、「いかしたいが現在ではできていない」という人が最も多い状況です。特に、知識・技能を地域活動に「いかす方法がわからない」や「時間的余裕がない」ことが主な課題とされています。地域や社会で活用できる具体的な場や仕組みの整備が求められています。

4 市の施策について

○市の施策について、生涯学習活動を盛んにするために、市民からは「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」や「講座参加者が継続的な学習を行える環境づくり」に力を入れるべきとの意見が多く挙がりました。特に、様々な世代に向けたSNSを活用した情報発信や、地域人材の支援が今後の課題とされています。

5 自由意見

○自由意見について、「講座内容・プログラムの拡充」、「広報・情報提供の改善」が特に多く挙げられました。他にも「高齢者や子育て世代向けの環境整備」や「オンライン・通信教育充実」など、多様な意見が寄せられていることから、市民の関心や期待が高いことがうかがえ、今後、市民の声を反映した柔軟な施策の展開が求められます。

V 市民調査結果

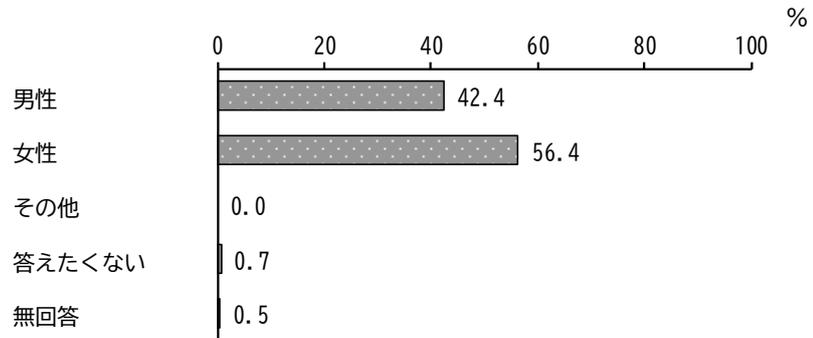
1 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別について聞かせください。(1つを選択)

「男性」の割合が42.4%、「女性」の割合が56.4%となっています。

回答者数 = 746

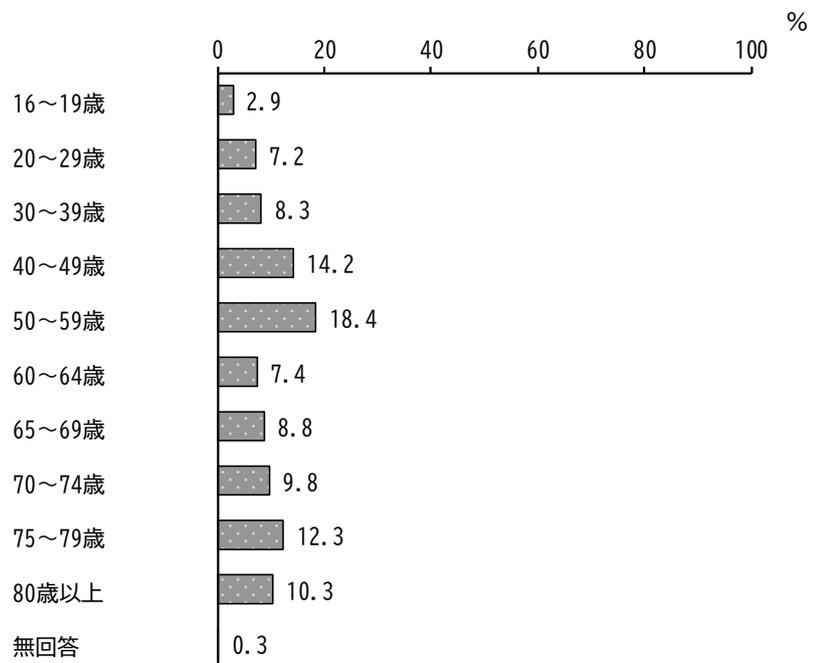


(2) 年齢

問2 あなたの年齢についてお聞かせください。(1つを選択)

「50～59歳」の割合が18.4%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が14.2%、「75～79歳」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 746

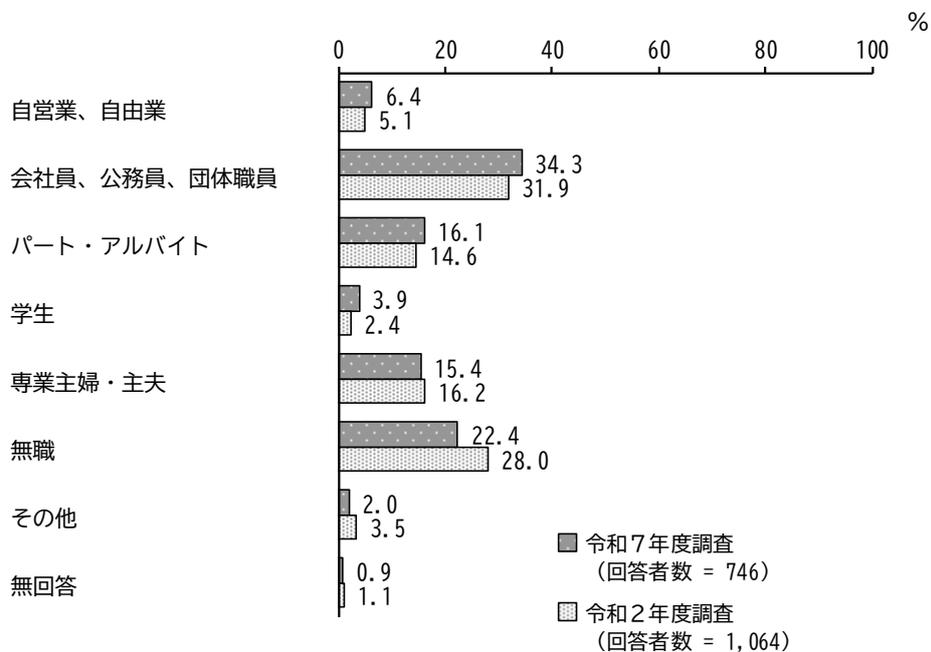


(3) 職業

問3 あなたの職業について、お聞かせください。(複数選択可)

「会社員、公務員、団体職員」の割合が34.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が22.4%、「パート・アルバイト」の割合が16.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「無職」の割合が減少しています。

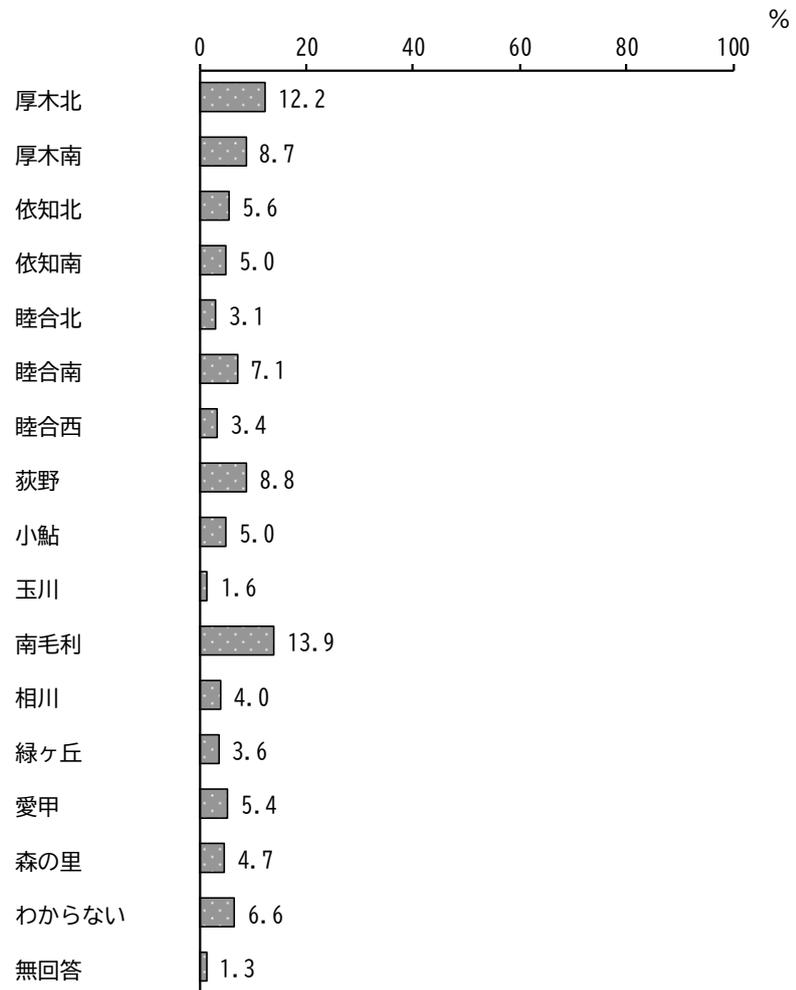


(4) 地区

問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つを選択)

「南毛利」の割合が13.9%と最も高く、次いで「厚木北」の割合が12.2%となっています。

回答者数 = 746



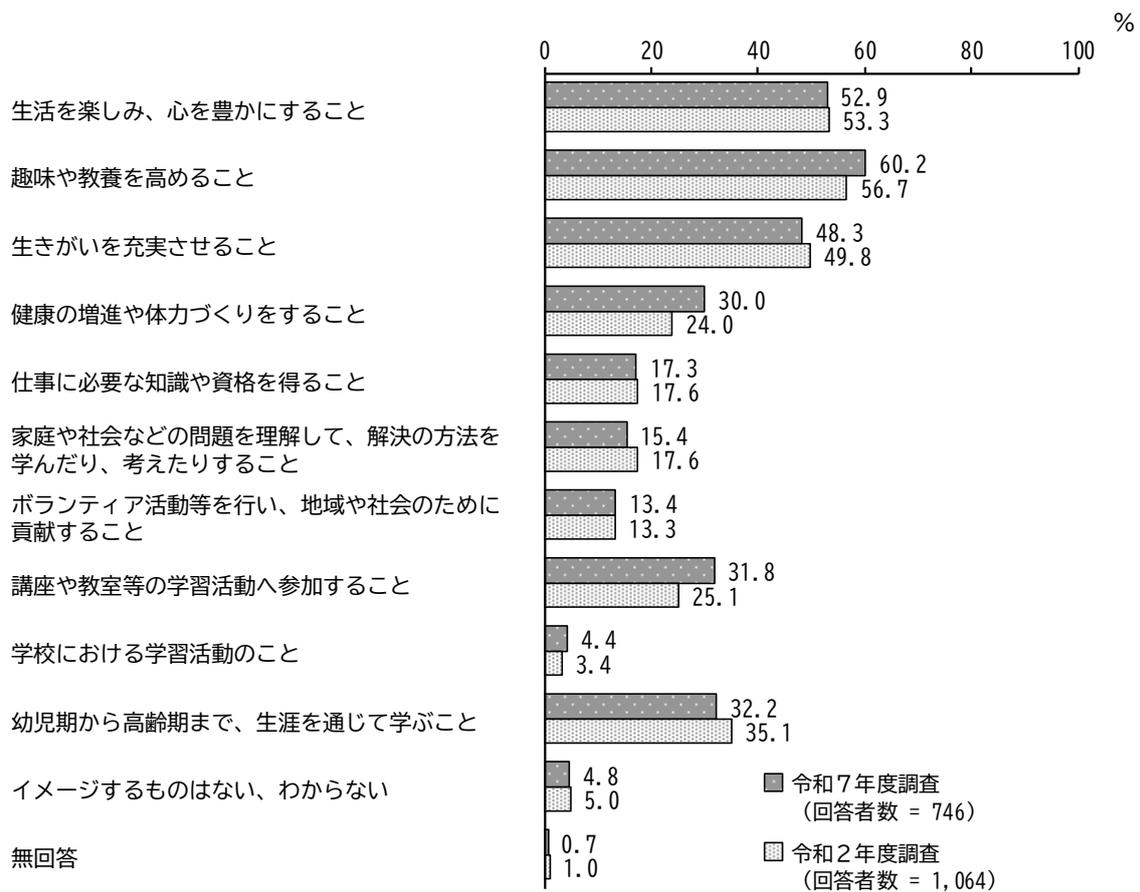
2 生涯学習について

(1) 生涯学習のイメージ

問5 「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。(複数選択可)

「趣味や教養を高めること」の割合が60.2%と最も高く、次いで「生活を楽しみ、心を豊かにすること」の割合が52.9%、「生きがいを実感させること」の割合が48.3%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「健康の増進や体力づくりをすること」「講座や教室等の学習活動へ参加すること」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「生活を楽しみ、心を豊かにすること」「趣味や教養を高めること」「講座や教室等の学習活動へ参加すること」「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活を楽しみ、心を豊かにすること	趣味や教養を高めること	生きがいを充実させること	健康の増進や体力づくりをすること	仕事に必要な知識や資格を得ること	家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること	講座や教室等の学習活動へ参加すること	学校における学習活動のこと	幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	イメージするものはない、わからない	無回答
全体	746	52.9	60.2	48.3	30.0	17.3	15.4	13.4	31.8	4.4	32.2	4.8	0.7
男性	316	45.3	57.0	46.5	28.2	19.0	14.6	14.6	28.5	4.7	26.9	7.3	0.3
女性	421	58.9	62.5	49.9	31.6	16.2	15.4	12.6	34.0	4.3	35.9	3.1	1.0
答えたくない	5	40.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	80.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「生活を楽しみ、心を豊かにすること」「健康の増進や体力づくりをすること」の割合が高く、「学校における学習活動のこと」の割合が低く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「仕事に必要な知識や資格を得ること」「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活を楽しみ、心を豊かにすること	趣味や教養を高めること	生きがいを充実させること	健康の増進や体力づくりをすること	仕事に必要な知識や資格を得ること	家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること	講座や教室等の学習活動へ参加すること	学校における学習活動のこと	幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	イメージするものはない、わからない	無回答
全体	746	52.9	60.2	48.3	30.0	17.3	15.4	13.4	31.8	4.4	32.2	4.8	0.7
16～29歳	76	30.3	61.8	38.2	19.7	27.6	18.4	7.9	22.4	13.2	34.2	6.6	0.0
30～49歳	168	44.6	58.9	45.8	23.8	29.2	13.7	10.7	32.7	5.4	40.5	4.2	0.0
50～64歳	192	54.7	65.1	39.1	25.5	20.8	16.1	15.6	36.5	3.6	32.8	3.1	0.0
65歳以上	308	62.0	57.5	57.8	38.6	5.8	14.9	14.6	30.5	1.9	26.6	5.8	1.3

【職業別】

職業別にみると、専業主婦・主夫で「生活を楽しみ、心を豊かにすること」「健康の増進や体力づくりをすること」、パート・アルバイトで「趣味や教養を高めること」「講座や教室等の学習活動へ参加すること」、自営業、自由業、専業主婦・主夫、無職で「生きがいを充実させること」、会社員、公務員、団体職員で「仕事に必要な知識や資格を得ること」、パート・アルバイト、学生で「家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること」、学生で「学校における学習活動のこと」の割合が高くなっています。

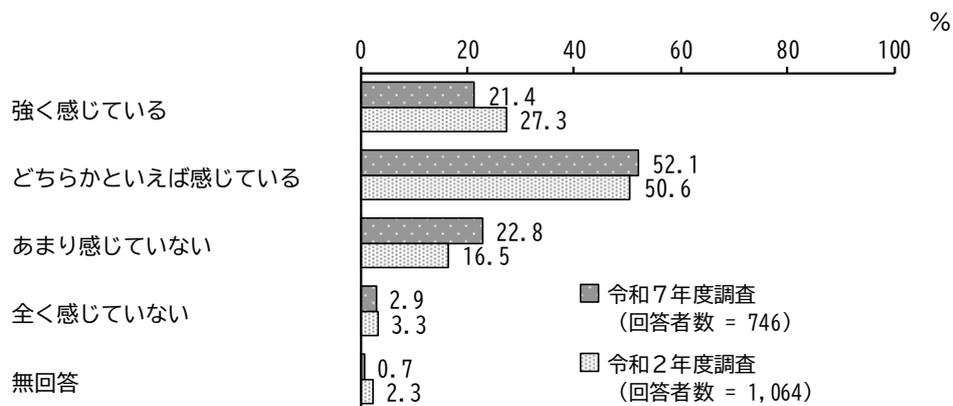
単位：％

区分	回答者数(件)	生活を楽しみ、心を豊かにすること	趣味や教養を高めること	生きがいを充実させること	健康の増進や体力づくりをすること	仕事に必要な知識や資格を得ること	家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること	講座や教室等の学習活動へ参加すること	学校における学習活動のこと	幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	イメージするものはない、わからない	無回答
全体	746	52.9	60.2	48.3	30.0	17.3	15.4	13.4	31.8	4.4	32.2	4.8	0.7
自営業、自由業	48	54.2	54.2	54.2	27.1	18.8	12.5	16.7	31.3	8.3	33.3	4.2	0.0
会社員、公務員、団体職員	256	43.8	61.7	44.1	22.7	25.4	13.3	12.1	32.4	4.7	32.8	3.5	0.4
パート・アルバイト	120	59.2	69.2	49.2	28.3	21.7	20.8	15.0	42.5	4.2	30.8	2.5	0.0
学生	29	31.0	41.4	31.0	24.1	17.2	20.7	3.4	10.3	13.8	34.5	10.3	0.0
専業主婦・主夫	115	65.2	66.1	54.8	41.7	7.8	14.8	16.5	29.6	1.7	27.8	3.5	0.9
無職	167	57.5	54.5	53.9	35.9	6.6	16.2	13.8	29.3	3.0	31.1	8.4	1.8
その他	15	73.3	26.7	26.7	33.3	20.0	6.7	0.0	46.7	0.0	60.0	0.0	0.0

(2) 生涯学習の必要性

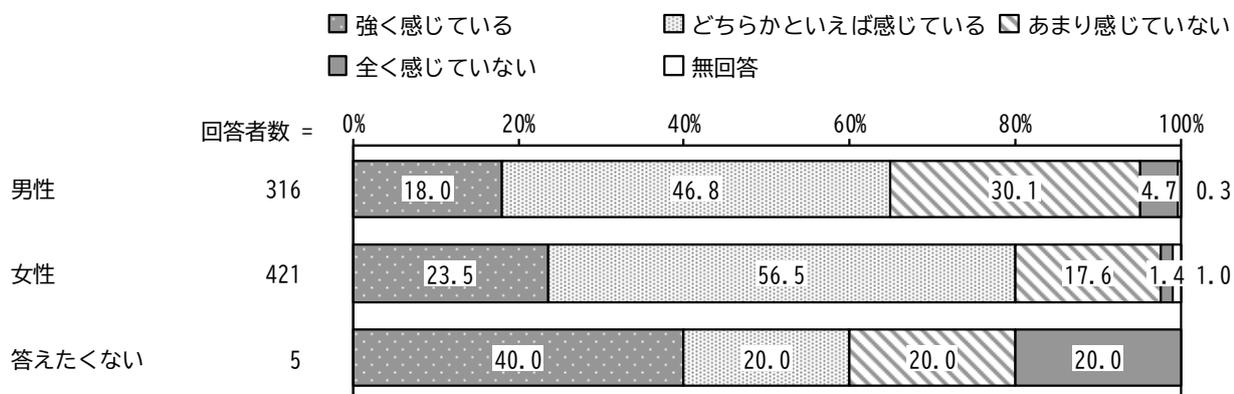
問6 あなたは日頃から生涯学習の必要性を感じていますか。(1つを選択)

「強く感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が73.5%、「あまり感じていない」「全く感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が25.7%となっています。令和2年度調査と比較すると、“感じていない”の割合が増加しています。



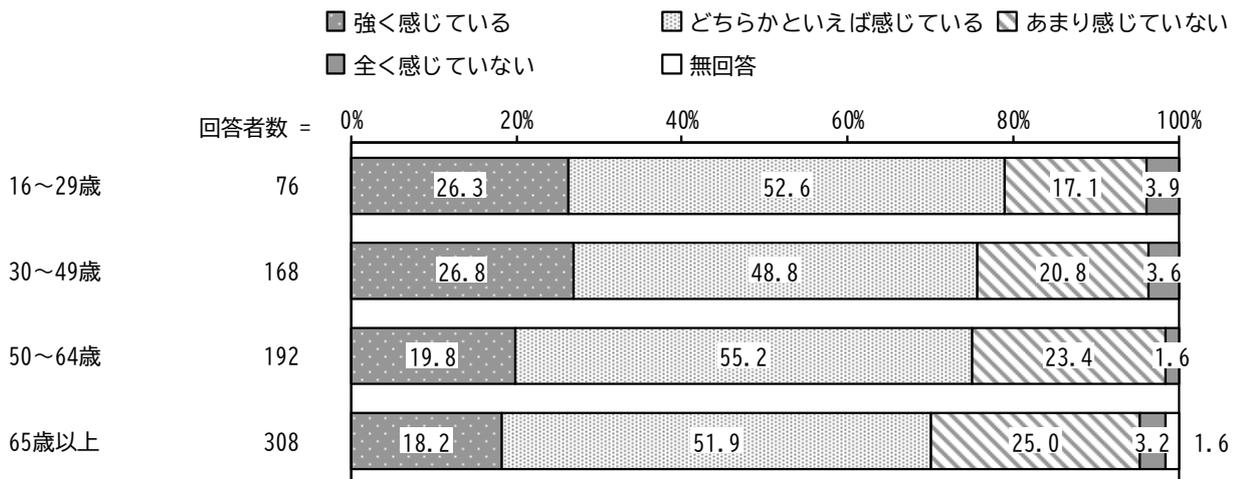
【性別】

性別にみると、男性で“感じていない”の割合が高くなっています。



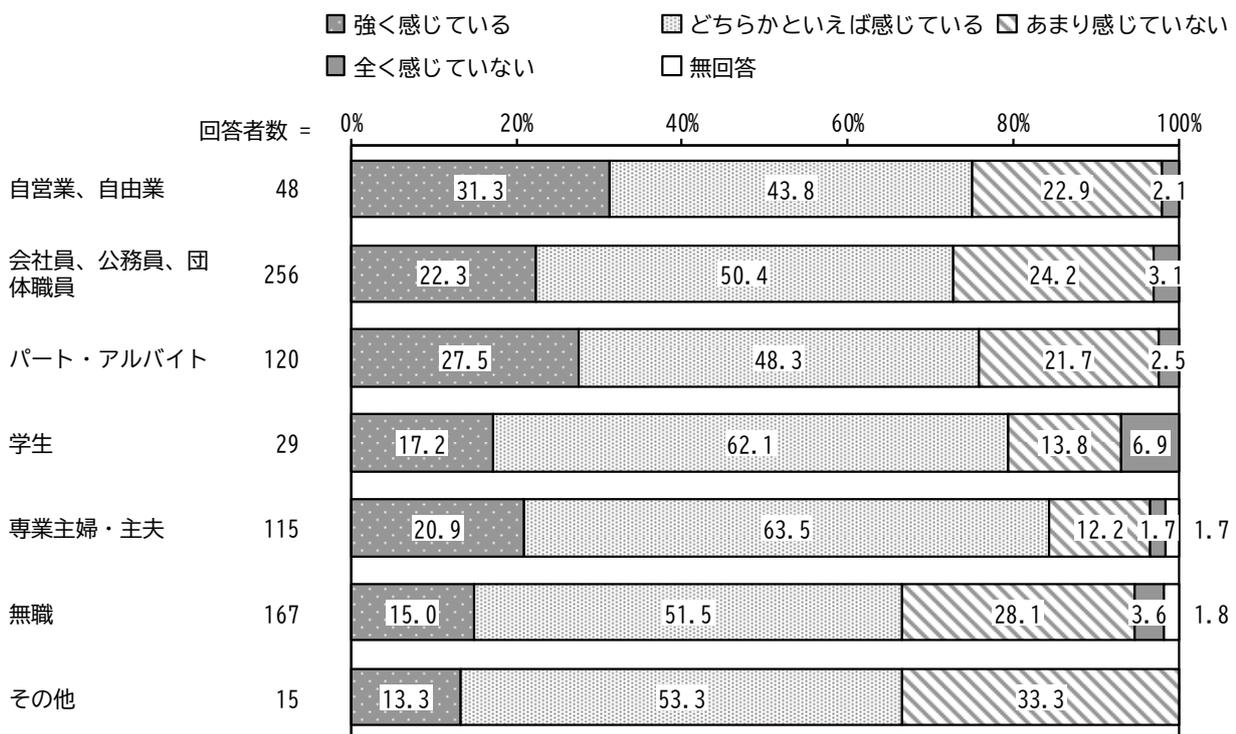
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど“感じていない”の割合が高くなっています。



【職業別】

職業別にみると、専業主婦・主夫で“感じている”の割合が高くなっています。

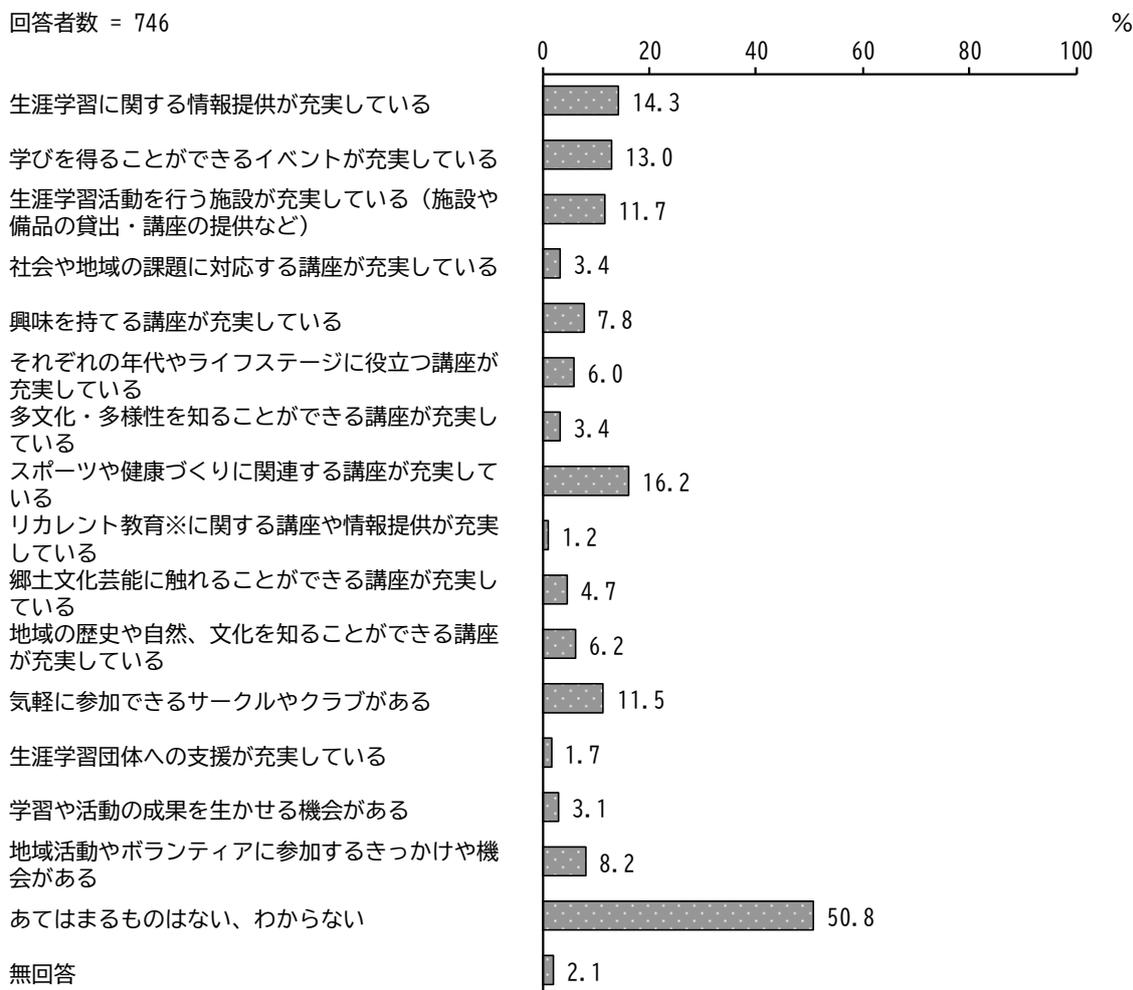


(3) 生涯学習に関する環境

問7 現在の厚木市の生涯学習に関する環境について、あてはまると思うものをお答えください。(複数選択可)

「スポーツや健康づくりに関連する講座が充実している」の割合が16.2%と最も高く、次いで「生涯学習に関する情報提供が充実している」の割合が14.3%、「学びを得ることができるイベントが充実している」の割合が13.0%、「学びを得ることができるイベントが充実している」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 746



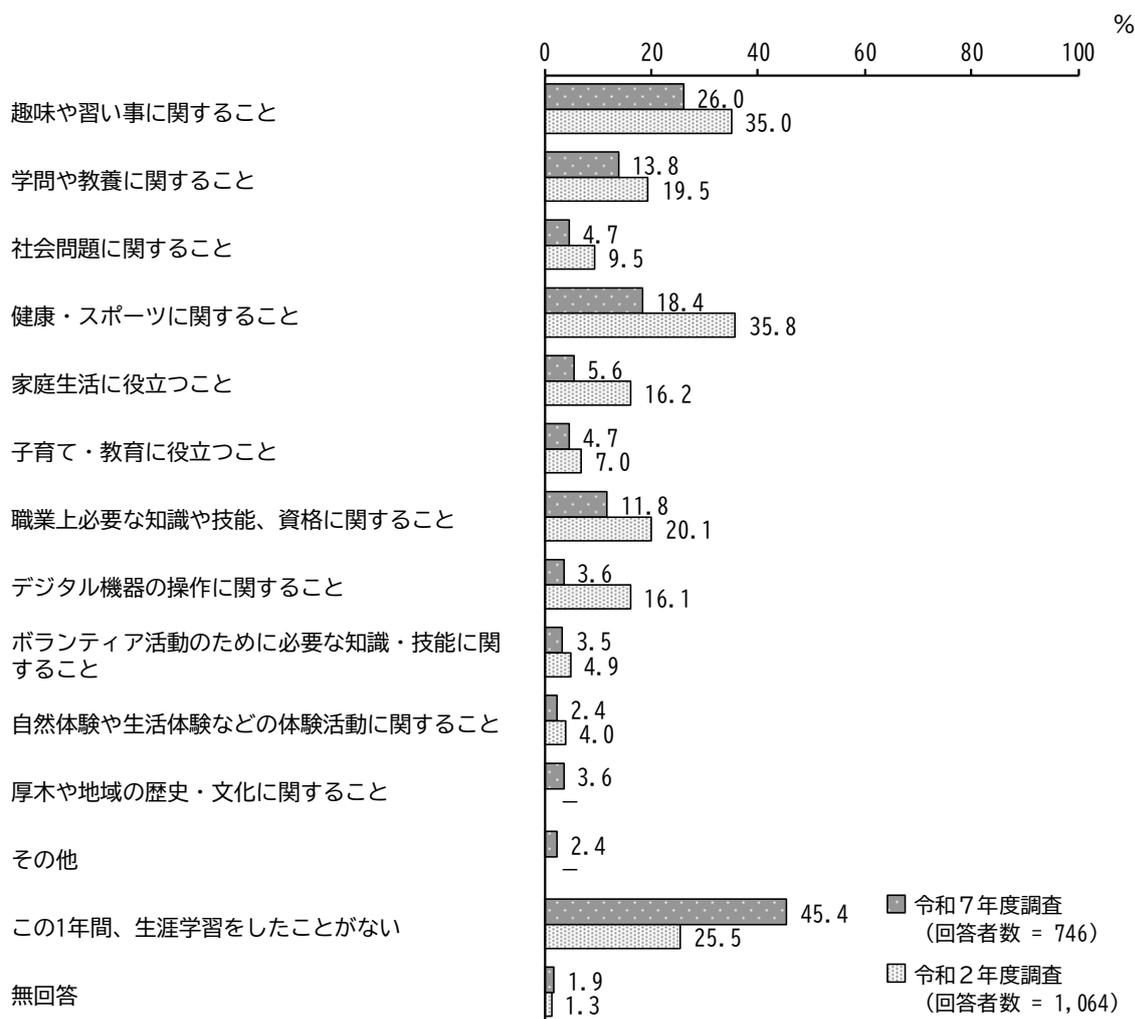
3 生涯学習活動について

(1) 過去1年間の生涯学習活動

問8 1年くらいの中に、どのような分野で生涯学習活動を行いましたか。(複数選択可)

「この1年間、生涯学習をしたことがない」の割合が45.4%と最も高く、次いで「趣味や習い事に関すること」の割合が26.0%、「健康・スポーツに関すること」の割合が18.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「この1年間、生涯学習をしたことがない」の割合が増加しています。一方、「趣味や習い事に関すること」「学問や教養に関すること」「健康・スポーツに関すること」「家庭生活に役立つこと」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」「デジタル機器の操作に関すること」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「趣味や習い事に関すること」が「趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)」、「学問や教養に関すること」が「教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)」、「社会問題に関すること」が「社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)」、「健康・スポーツに関すること」が「健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」、「家庭生活に役立つこと」が「家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)」、「子育て・教育に役立つこと」が「子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)」、「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」が「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)」、「デジタル機器の操作に関すること」が「情報端末やインターネットに関すること」となっており、「厚木や地域の歴史・文化に関すること」、「その他」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「この1年間、生涯学習をしたことがない」の割合が高く、女性で「趣味や習い事に関すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	26.0	13.8	4.7	18.4	5.6	4.7	11.8
男性	316	19.3	14.6	4.4	15.8	3.2	2.2	13.0
女性	421	30.9	12.6	4.8	20.0	7.4	6.4	10.7
答えたくない	5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0

区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	この1年間、生涯学習をしたことがない	無回答
全体	3.6	3.5	2.4	3.6	2.4	45.4	1.9
男性	5.7	3.2	1.6	5.1	2.5	52.2	0.9
女性	2.1	3.6	2.6	1.9	2.4	40.6	2.6
答えたくない	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、30～49歳から65歳以上まで年代が上がるほど「趣味や習い事に関すること」「健康・スポーツに関すること」の割合が高く、「子育て・教育に役立つこと」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が低く、50～64歳から16～29歳まで年代が下がるほど「学問や教養に関すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	26.0	13.8	4.7	18.4	5.6	4.7	11.8
16～29歳	76	27.6	32.9	9.2	15.8	2.6	3.9	22.4
30～49歳	168	22.6	16.1	5.4	11.9	8.9	13.1	23.8
50～64歳	192	25.0	9.9	4.2	19.8	6.3	3.1	12.5
65歳以上	308	27.9	10.4	3.6	21.8	4.2	1.3	2.3

区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	この一年間、生涯学習をしたことがない	無回答
全体	3.6	3.5	2.4	3.6	2.4	45.4	1.9
16～29歳	5.3	1.3	1.3	3.9	1.3	43.4	0.0
30～49歳	6.0	1.8	3.0	0.6	1.2	44.0	0.0
50～64歳	2.1	2.6	1.6	2.1	3.1	43.8	1.6
65歳以上	2.9	5.5	2.9	6.2	2.9	48.1	3.2

【生涯学習の必要性別】

生涯学習の必要性別にみると、『必要性を感じている』で「趣味や習い事に関すること」「学問や教養に関すること」「健康・スポーツに関すること」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が高く、『必要性を感じていない』で「この1年間、生涯学習をしたことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	26.0	13.8	4.7	18.4	5.6	4.7	11.8
必要性を感じている	549	32.8	17.7	5.6	22.8	6.7	5.3	14.0
必要性を感じていない	192	7.3	2.6	1.6	5.7	2.6	3.1	5.7

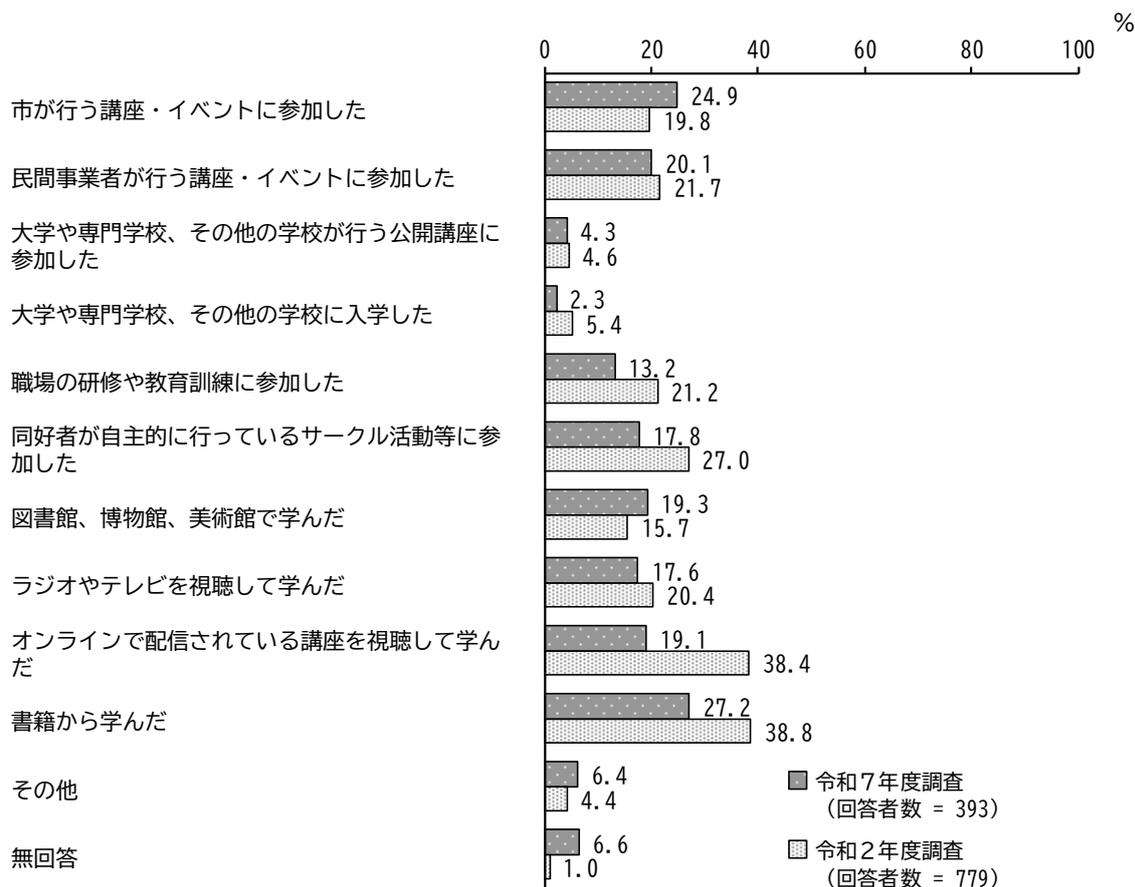
区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	この1年間、生涯学習をしたことがない	無回答
全体	3.6	3.5	2.4	3.6	2.4	45.4	1.9
必要性を感じている	4.0	4.2	3.1	4.0	2.6	35.7	1.6
必要性を感じていない	2.6	1.6	0.5	2.6	2.1	74.5	1.0

(2) 生涯学習活動の方法

問9 どのような方法で生涯学習に取り組みましたか。(複数選択可)

「書籍から学んだ」の割合が27.2%と最も高く、次いで「市が行う講座・イベントに参加した」の割合が24.9%、「民間事業者が行う講座・イベントに参加した」の割合が20.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「市が行う講座・イベントに参加した」の割合が増加しています。一方、「職場の研修や教育訓練に参加した」「同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した」「オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ」「書籍から学んだ」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「市が行う講座・イベントに参加した」が「あつぎ市民交流プラザ（アミュー）や南毛利学習支援センター、公民館、スポーツ施設などの公の機関における講座や教室」、「民間事業者が行う講座・イベントに参加した」が「カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育」、「大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座に参加した」が「学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の公開講座や教室」、「大学や専門学校、その他の学校に入学した」が「学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程」、「職場の研修や教育訓練に参加した」が「職場の教育、研修」、「同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した」が「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」、「図書館、博物館、美術館で学んだ」が「図書館、博物館、美術館」、「ラジオやテレビを視聴して学んだ」が「ラジオやテレビ」、「オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ」が「情報端末やインターネット」、「書籍から学んだ」が「自宅での学習活動（書籍など）」となっていました。

【性別】

性別にみると、男性で「オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ」「書籍から学んだ」の割合が高く、女性で「市が行う講座・イベントに参加した」「民間事業者が行う講座・イベントに参加した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市が行う講座・イベントに参加した	民間事業者が行う講座・イベントに参加した	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座に参加した	大学や専門学校、その他の学校に入学した	職場の研修や教育訓練に参加した	同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した	図書館、博物館、美術館で学んだ	ラジオやテレビを視聴して学んだ	オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ	書籍から学んだ	その他	無回答
全体	393	24.9	20.1	4.3	2.3	13.2	17.8	19.3	17.6	19.1	27.2	6.4	6.6
男性	148	18.2	13.5	6.8	2.0	12.2	17.6	19.6	15.5	27.0	32.4	8.8	6.8
女性	239	28.0	24.3	2.5	2.5	13.8	17.6	18.8	18.4	14.6	23.8	4.6	6.7
答えたくない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「市が行う講座・イベントに参加した」の割合が高く、「職場の研修や教育訓練に参加した」の割合が低く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「図書館、博物館、美術館で学んだ」「オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ」「書籍から学んだ」の割合が高く、「同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した」「ラジオやテレビを視聴して学んだ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市が行う講座・イベントに参加した	民間事業者が行う講座・イベントに参加した	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座に参加した	大学や専門学校、その他の学校に入学した	職場の研修や教育訓練に参加した	同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した	図書館、博物館、美術館で学んだ	ラジオやテレビを視聴して学んだ	オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ	書籍から学んだ	その他	無回答
全体	393	24.9	20.1	4.3	2.3	13.2	17.8	19.3	17.6	19.1	27.2	6.4	6.6
16～29歳	43	7.0	16.3	7.0	16.3	30.2	9.3	20.9	11.6	16.3	32.6	11.6	0.0
30～49歳	94	17.0	20.2	3.2	0.0	22.3	6.4	26.6	8.5	30.9	35.1	10.6	3.2
50～64歳	105	21.0	24.8	2.9	1.9	12.4	12.4	20.0	17.1	22.9	29.5	8.6	8.6
65歳以上	150	38.0	18.0	5.3	0.0	3.3	31.3	14.0	24.7	10.0	19.3	0.7	9.3

【職業別】

職業別にみると、専業主婦・主夫で「市が行う講座・イベントに参加した」、自営業、自由業で「民間事業者が行う講座・イベントに参加した」「図書館、博物館、美術館で学んだ」「ラジオやテレビを視聴して学んだ」、学生で「大学や専門学校、その他の学校に入学した」、会社員、公務員、団体職員で「職場の研修や教育訓練に参加した」、無職で「同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した」の割合が高くなっています。

単位：％

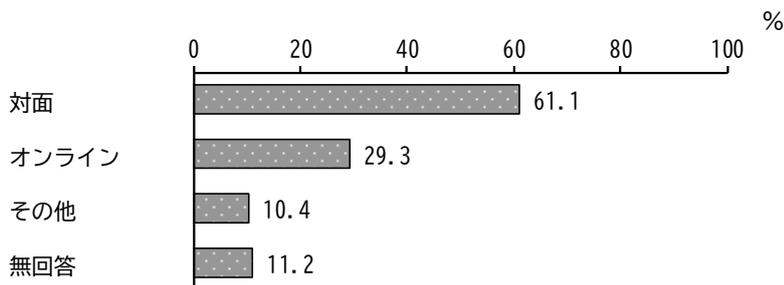
区分	回答者数(件)	市が行う講座・イベントに参加した	民間事業者が行う講座・イベントに参加した	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座に参加した	大学や専門学校、その他の学校に入学した	職場の研修や教育訓練に参加した	同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した	図書館、博物館、美術館で学んだ	ラジオやテレビを視聴して学んだ	オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ	書籍から学んだ	その他	無回答
全 体	393	24.9	20.1	4.3	2.3	13.2	17.8	19.3	17.6	19.1	27.2	6.4	6.6
自営業、自由業	32	21.9	31.3	6.3	0.0	9.4	18.8	31.3	28.1	28.1	31.3	3.1	9.4
会社員、公務員、団体職員	131	14.5	20.6	3.1	1.5	28.2	10.7	20.6	12.2	27.5	34.4	9.2	3.1
パート・アルバイト	59	22.0	22.0	5.1	0.0	13.6	13.6	18.6	20.3	13.6	25.4	3.4	6.8
学生	17	5.9	17.6	11.8	41.2	5.9	11.8	23.5	17.6	11.8	23.5	11.8	0.0
専業主婦・主夫	67	50.7	17.9	0.0	0.0	3.0	20.9	13.4	14.9	10.4	14.9	3.0	9.0
無職	84	33.3	17.9	4.8	0.0	1.2	32.1	16.7	23.8	16.7	27.4	6.0	8.3
その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3

(3) 生涯学習活動の形態

問 10 どのような形態で生涯学習に取り組みましたか。(複数選択可)

「対面」の割合が 61.1%、「オンライン」の割合が 29.3%となっています。

回答者数 = 393



【性別】

性別にみると、女性で「対面」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	対面	オンライン	その他	無回答
全 体	393	61.1	29.3	10.4	11.2
男性	148	50.7	39.2	12.8	10.1
女性	239	67.4	23.4	8.8	11.7
答えたくない	2	50.0	50.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、65 歳以上から 30～49 歳まで年代が下がるほど「オンライン」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	対面	オンライン	その他	無回答
全 体	393	61.1	29.3	10.4	11.2
16～29歳	43	72.1	34.9	9.3	7.0
30～49歳	94	56.4	40.4	12.8	4.3
50～64歳	105	61.9	33.3	12.4	5.7
65歳以上	150	60.0	18.0	8.0	20.7

【職業別】

職業別にみると、学生で「対面」、自営業、自由業で「オンライン」の割合が高くなっています。

単位：%

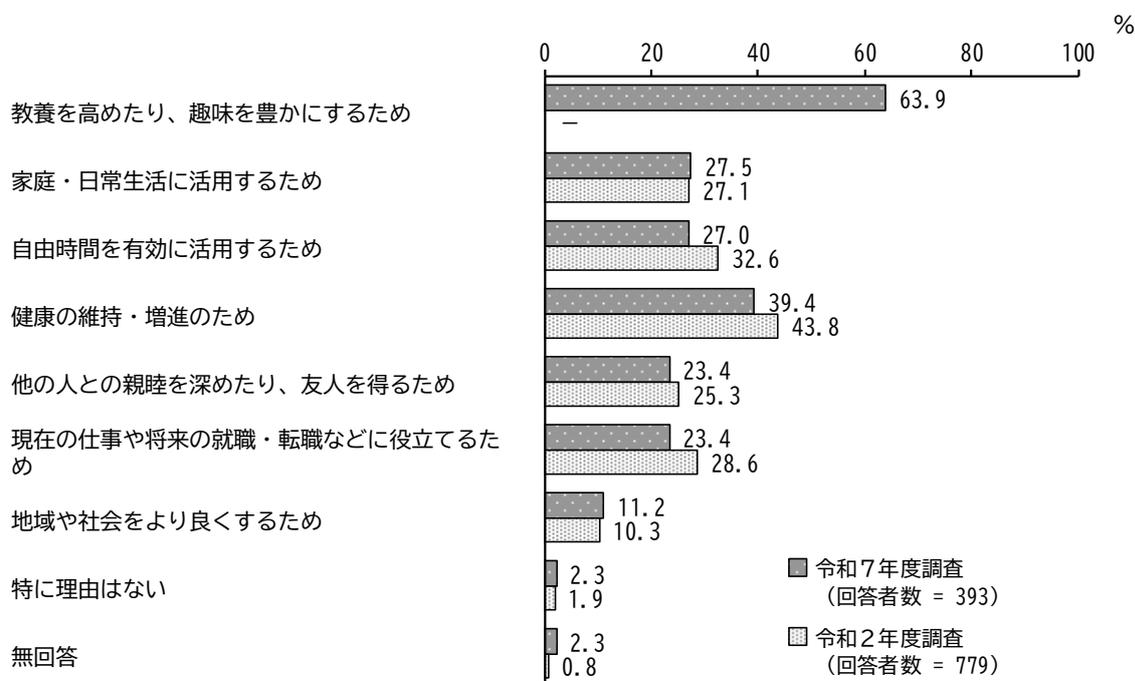
区分	回答者数 (件)	対面	オンライン	その他	無回答
全 体	393	61.1	29.3	10.4	11.2
自営業、自由業	32	50.0	46.9	15.6	6.3
会社員、公務員、団体職員	131	56.5	42.0	14.5	5.3
パート・アルバイト	59	67.8	23.7	6.8	8.5
学生	17	94.1	29.4	5.9	5.9
専業主婦・主夫	67	68.7	13.4	7.5	13.4
無職	84	56.0	20.2	8.3	22.6
その他	6	50.0	16.7	0.0	33.3

(4) 生涯学習活動の目的

問 11 生涯学習に取り組む理由は何ですか。(複数選択可)

「教養を高めたり、趣味を豊かにするため」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「健康の維持・増進のため」の割合が 39.4%、「家庭・日常生活に活用するため」の割合が 27.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「自由時間を有効に活用するため」「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「教養を高めたり、趣味を豊かにするため」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」「地域や社会をより良くするため」の割合が高く、女性で「教養を高めたり、趣味を豊かにするため」「健康の維持・増進のため」「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	教養を高めたり、趣味を豊かにするため	家庭・日常生活に活用するため	自由時間を有効に活用するため	健康の維持・増進のため	他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため	地域や社会をより良くするため	特に理由はない	無回答
全体	393	63.9	27.5	27.0	39.4	23.4	23.4	11.2	2.3	2.3
男性	148	60.1	25.7	26.4	34.5	16.9	27.7	14.2	2.0	2.7
女性	239	65.7	28.5	26.8	42.7	26.8	20.9	8.8	2.5	2.1
答えたくない	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「健康の維持・増進のため」「地域や社会をより良くするため」の割合が高い傾向にあり、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合が低く、30～49歳から65歳以上まで年代が上がるほど「自由時間を有効に活用するため」「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」の割合が高く、「家庭・日常生活に活用するため」の割合が低くなっています。また、16～29歳で「教養を高めたり、趣味を豊かにするため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	め 教養を高めたり、趣 味を豊かにするた め	用 家庭・日常生活に活 用するため	活 自由時間を有効に 活用するため	た 健康の維持・増進の ため	る 他の人との親睦を 深めたり、友人を得 るため	役 現在の仕事や将来 の就職・転職などに 役立てるため	良 地域や社会をより 良くするため	特 特に理由はない	無 無回答
全 体	393	63.9	27.5	27.0	39.4	23.4	23.4	11.2	2.3	2.3
16～29歳	43	74.4	25.6	20.9	20.9	20.9	53.5	4.7	0.0	0.0
30～49歳	94	62.8	37.2	17.0	25.5	13.8	45.7	8.5	2.1	3.2
50～64歳	105	66.7	28.6	18.1	39.0	17.1	21.9	13.3	3.8	1.0
65歳以上	150	60.0	21.3	41.3	53.3	34.7	2.0	13.3	2.0	3.3

【職業別】

職業別にみると、パート・アルバイトで「家庭・日常生活に活用するため」、無職で「自由時間を有効に活用するため」、専業主婦・主夫、無職で「健康の維持・増進のため」、学生、専業主婦・主夫で「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」、会社員、公務員、団体職員で「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」、自営業、自由業で「地域や社会をより良くするため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	め 教養を高めたり、趣 味を豊かにするた め	用 家庭・日常生活に活 用するため	活 自由時間を有効に 活用するため	た 健康の維持・増進の ため	る 他の人との親睦を 深めたり、友人を得 るため	役 現在の仕事や将来 の就職・転職などに 役立てるため	良 地域や社会をより 良くするため	特 特に理由はない	無 無回答
全 体	393	63.9	27.5	27.0	39.4	23.4	23.4	11.2	2.3	2.3
自営業、自由業	32	68.8	31.3	15.6	40.6	12.5	18.8	21.9	0.0	6.3
会社員、公務員、団体職員	131	63.4	27.5	20.6	26.0	15.3	42.7	9.2	1.5	0.8
パート・アルバイト	59	62.7	42.4	18.6	45.8	22.0	27.1	15.3	5.1	1.7
学生	17	70.6	23.5	17.6	23.5	35.3	35.3	0.0	0.0	0.0
専業主婦・主夫	67	61.2	26.9	35.8	50.7	35.8	7.5	6.0	3.0	1.5
無職	84	65.5	15.5	42.9	50.0	33.3	2.4	13.1	1.2	3.6
その他	6	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7

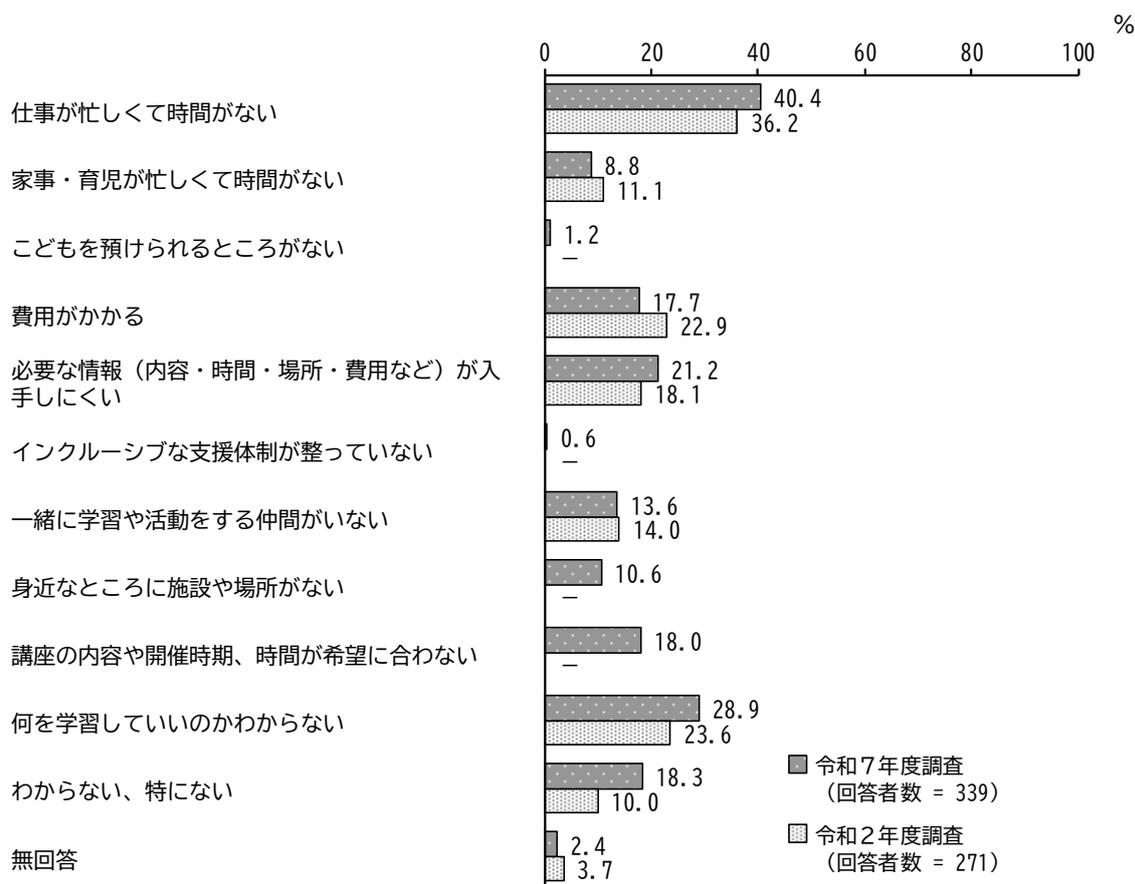
(5) 生涯学習活動をしていない理由

問8で「13 この1年間、生涯学習活動をしたことがない」と答えた方にお聞きします。

問12 あなたが生涯学習をしていない理由は何ですか。(複数選択可)

「仕事が忙しくて時間がない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「何を学習していいのかわからない」の割合が28.9%、「必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい」の割合が21.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「何を学習していいのかわからない」の割合が増加しています。一方、「費用がかかる」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい」が「必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない」、「わからない、特にない」が「わからない」となっており、「子どもを預けられるところがない」、「インクルーシブな支援体制が整っていない」、「身近なところに施設や場所がない」、「講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「仕事が忙しくて時間がない」の割合が高く、女性で「家事・育児が忙しくて時間がない」「講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児が忙しくて時間がない	子どもを預けられるところがない	費用がかかる	必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい	インクルーシブな支援体制が整っていない	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がない	講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない	何を学習していいのかわからない	わからない、特にない	無回答
全体	339	40.4	8.8	1.2	17.7	21.2	0.6	13.6	10.6	18.0	28.9	18.3	2.4
男性	165	46.1	3.6	0.6	15.2	22.4	0.0	14.5	9.7	14.5	31.5	20.6	1.2
女性	171	35.1	14.0	1.8	19.9	20.5	1.2	12.9	11.1	21.1	26.9	15.2	3.5
答えたくない	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「何を学習していいのかわからない」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「家事・育児が忙しくて時間がない」「費用がかかる」「必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい」「講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない」の割合が高くなっています。また、50～64歳で「仕事が忙しくて時間がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児が忙しくて時間がない	子どもを預けられるところがない	費用がかかる	必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい	インクルーシブな支援体制が整っていない	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がない	講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない	何を学習していいのかわからない	わからない、特にない	無回答
全体	339	40.4	8.8	1.2	17.7	21.2	0.6	13.6	10.6	18.0	28.9	18.3	2.4
16～29歳	33	45.5	9.1	3.0	15.2	24.2	0.0	21.2	12.1	12.1	36.4	9.1	0.0
30～49歳	74	55.4	18.9	4.1	21.6	27.0	0.0	13.5	9.5	23.0	33.8	14.9	1.4
50～64歳	84	60.7	6.0	0.0	17.9	25.0	0.0	4.8	6.0	19.0	29.8	14.3	0.0
65歳以上	148	20.3	5.4	0.0	16.2	15.5	1.4	16.9	13.5	16.2	24.3	24.3	4.7

【職業別】

職業別にみると、会社員、公務員、団体職員で「仕事が忙しくて時間がない」「必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手しにくい」、専業主婦・主夫で「家事・育児が忙しくて時間がない」、自営業、自由業、パート・アルバイトで「費用がかかる」、自営業、自由業で「一緒に学習や活動をする仲間がいない」、パート・アルバイトで「講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない」、学生で「何を学習していいのかわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

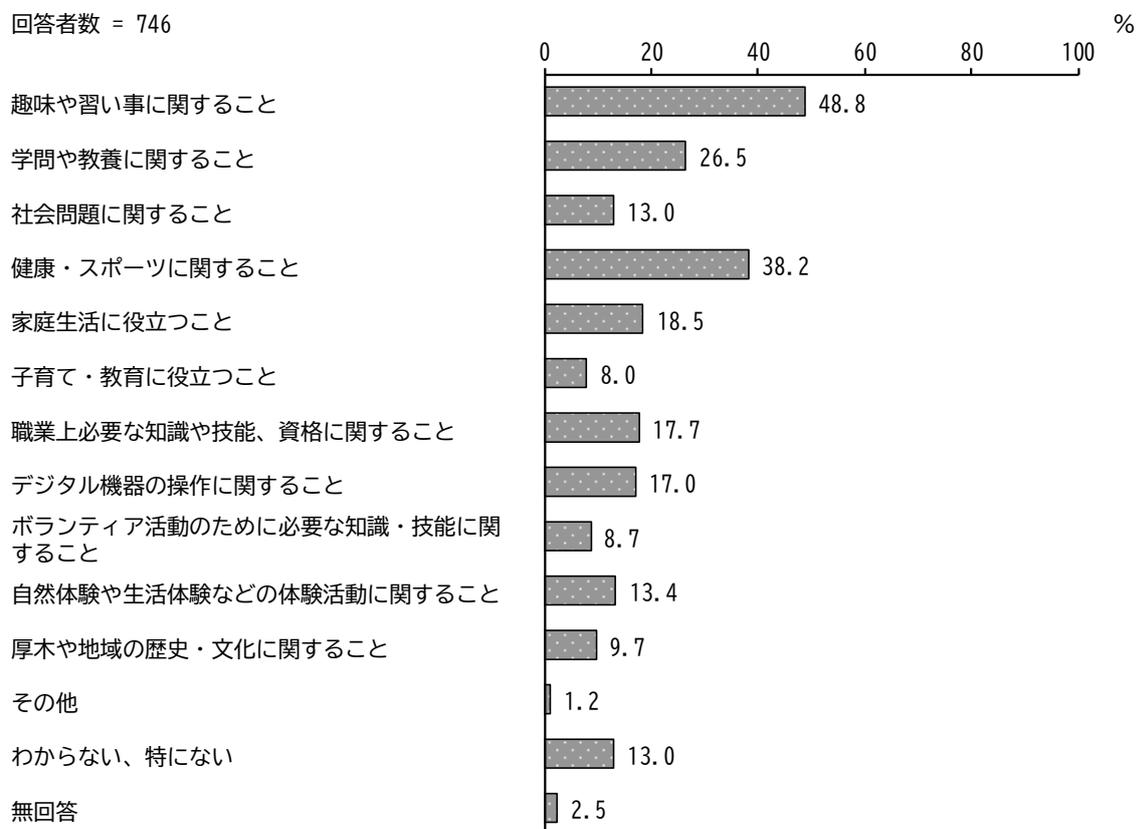
区分	回答者数(件)	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児が忙しくて時間がない	子どもを預けられるところがない	費用がかかる	必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい	整っていない	インクルーシブな支援体制がない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がない	講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない	何を学習していいのかわからない	わからない、特にない	無回答
全体	339	40.4	8.8	1.2	17.7	21.2	0.6	13.6	10.6	18.0	28.9	18.3	2.4	
自営業、自由業	16	50.0	6.3	0.0	25.0	25.0	0.0	31.3	6.3	12.5	18.8	12.5	0.0	
会社員、公務員、団体職員	123	74.0	8.1	1.6	21.1	29.3	0.0	12.2	11.4	20.3	35.8	7.3	0.0	
パート・アルバイト	61	49.2	13.1	0.0	23.0	16.4	0.0	18.0	8.2	24.6	24.6	13.1	0.0	
学生	12	16.7	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3	41.7	16.7	0.0	
専業主婦・主夫	43	2.3	16.3	4.7	11.6	9.3	2.3	9.3	9.3	14.0	20.9	27.9	7.0	
無職	77	1.3	5.2	0.0	11.7	15.6	1.3	11.7	13.0	13.0	27.3	33.8	6.5	
その他	8	50.0	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0	

(6) 今後学びたい分野

問 13 今後学んでみたいと思う分野は何ですか。(複数選択可)

「趣味や習い事に関すること」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「健康・スポーツに関すること」の割合が 38.2%、「学問や教養に関すること」の割合が 26.5%となっています。

回答者数 = 746



【性別】

性別にみると、女性で「趣味や習い事に関すること」「家庭生活に役立つこと」「子育て・教育に役立つこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	48.8	26.5	13.0	38.2	18.5	8.0	17.7
男性	316	41.5	27.8	13.6	36.7	13.9	5.1	20.3
女性	421	54.6	25.4	12.6	39.7	21.4	10.2	15.7
答えたくない	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0

区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	わからない、特にな	無回答
全体	17.0	8.7	13.4	9.7	1.2	13.0	2.5
男性	19.0	6.3	11.4	11.1	1.3	17.4	1.9
女性	15.7	10.7	14.5	8.1	1.2	9.5	3.1
答えたくない	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「学問や教養に関すること」「社会問題に関すること」の割合が高く、「厚木や地域の歴史・文化に関すること」の割合が低く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「家庭生活に役立つこと」「子育て・教育に役立つこと」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」「デジタル機器の操作に関すること」「自然体験や生活体験などの体験活動に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	48.8	26.5	13.0	38.2	18.5	8.0	17.7
16～29歳	76	57.9	43.4	19.7	30.3	19.7	17.1	27.6
30～49歳	168	53.6	38.1	16.1	39.3	26.2	20.8	37.5
50～64歳	192	55.7	29.2	15.6	43.8	17.7	4.2	19.8
65歳以上	308	39.9	14.6	8.1	36.4	14.6	1.3	3.2

区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	わからない、特にな	無回答
全体	17.0	8.7	13.4	9.7	1.2	13.0	2.5
16～29歳	17.1	6.6	15.8	1.3	0.0	3.9	1.3
30～49歳	20.2	10.1	20.2	8.3	1.8	8.9	0.0
50～64歳	16.1	13.0	13.0	9.9	1.6	9.4	0.5
65歳以上	15.9	5.8	9.4	12.3	1.0	19.5	5.2

【職業別】

職業別にみると、会社員、公務員、団体職員、学生、専業主婦・主夫で「趣味や習い事に関すること」、学生で「学問や教養に関すること」「健康・スポーツに関すること」「子育て・教育に役立つこと」、自営業、自由業で「社会問題に関すること」「厚木や地域の歴史・文化に関すること」、会社員、公務員、団体職員で「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」、自営業、自由業、学生で「デジタル機器の操作に関すること」、会社員、公務員、団体職員、学生で「自然体験や生活体験などの体験活動に関すること」の割合が高くなっています。

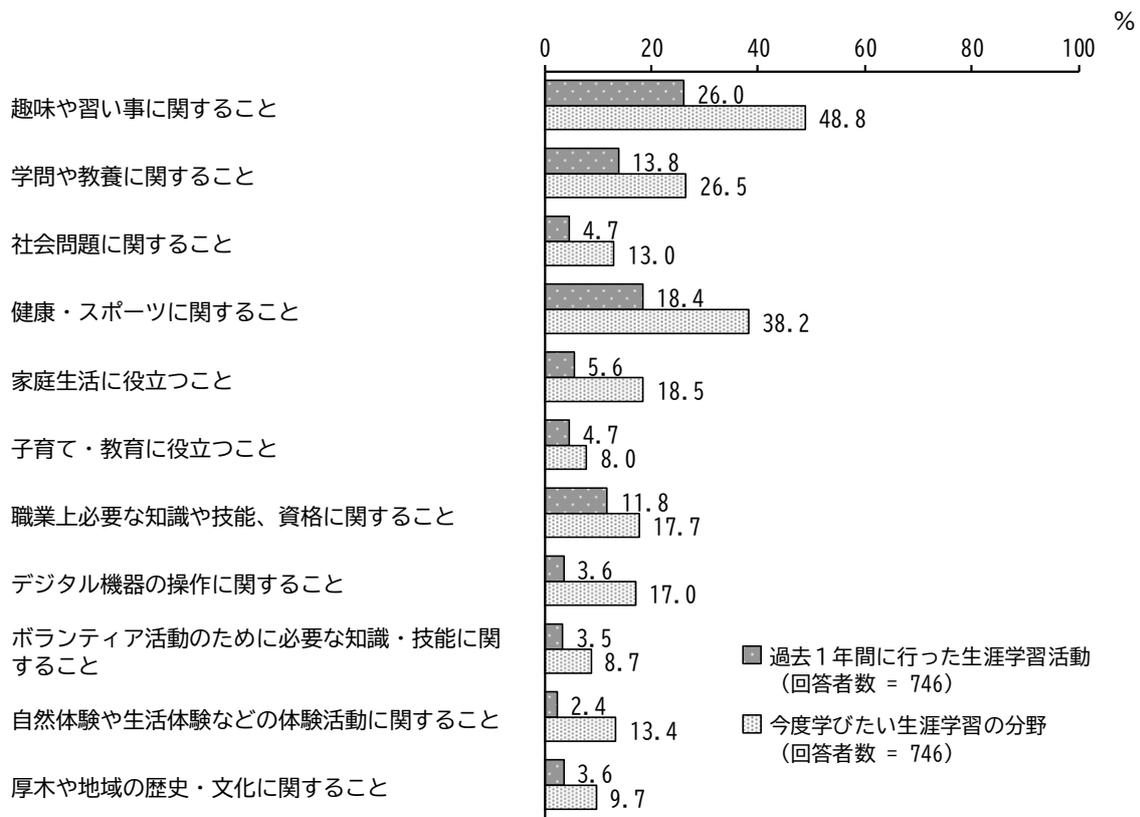
単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること
全体	746	48.8	26.5	13.0	38.2	18.5	8.0	17.7
自営業、自由業	48	39.6	25.0	20.8	31.3	14.6	8.3	16.7
会社員、公務員、団体職員	256	55.1	34.8	15.6	39.1	19.1	9.8	30.5
パート・アルバイト	120	51.7	20.0	13.3	42.5	22.5	10.8	16.7
学生	29	55.2	48.3	17.2	44.8	17.2	13.8	20.7
専業主婦・主夫	115	53.9	21.7	7.0	40.0	20.0	7.8	8.7
無職	167	38.3	17.4	10.2	34.1	14.4	3.0	4.2
その他	15	33.3	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	13.3

区分	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	厚木や地域の歴史・文化に関すること	その他	わからない、特にな	無回答
全体	17.0	8.7	13.4	9.7	1.2	13.0	2.5
自営業、自由業	25.0	10.4	10.4	18.8	0.0	10.4	2.1
会社員、公務員、団体職員	18.0	8.6	19.5	7.0	1.6	7.4	1.2
パート・アルバイト	17.5	10.0	10.8	10.0	1.7	15.8	0.8
学生	24.1	10.3	20.7	0.0	0.0	3.4	0.0
専業主婦・主夫	13.0	12.2	8.7	7.0	0.9	12.2	4.3
無職	13.8	5.4	9.6	15.0	1.2	19.8	5.4
その他	26.7	6.7	13.3	13.3	0.0	20.0	0.0

【過去1年間に行った生涯学習活動と今後学びたい生涯学習の分野の比較】

過去1年間に行った生涯学習活動と今後学びたい生涯学習の分野を比較すると、いずれの分野も今後学びたいとの回答が上回っており、特に「趣味や習い事に関すること」「健康・スポーツに関すること」では今後学びたいとの回答が20ポイント程度上回っています。

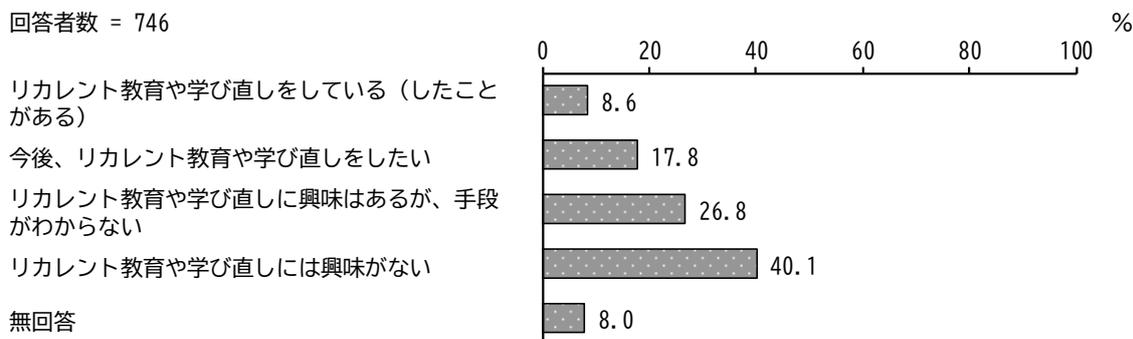


(7) リカレント教育や社会人の学び直しの意向

問 14 「人生 100 年時代」と言われるなかで、リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、リカレント教育や社会人の学び直しをしたいと思いますか。
(複数選択可)

「リカレント教育や学び直しには興味がない」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない」の割合が 26.8%、「今後、リカレント教育や学び直しをしたい」の割合が 17.8%となっています。

回答者数 = 746



【性別】

性別にみると、男性で「リカレント教育や学び直しには興味がない」の割合が高く、女性で「リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	リカレント教育や学び直しをしている (したことがある)	今後、リカレント教育や学び直しをしたい	リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない	リカレント教育や学び直しには興味がない	無回答
全体	746	8.6	17.8	26.8	40.1	8.0
男性	316	8.5	16.5	24.1	48.1	4.7
女性	421	8.6	19.0	29.2	33.7	10.5
答えたくない	5	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「リカレント教育や学び直しには興味がない」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「リカレント教育や学び直しをしている(したことがある)」「リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない」の割合が高くなっています。また、16～29歳で「今後、リカレント教育や学び直しをしたい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	リカレント教育や学び直しをしている(したことがある)	今後、リカレント教育や学び直しをしたい	リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない	リカレント教育や学び直しには興味がない	無回答
全体	746	8.6	17.8	26.8	40.1	8.0
16～29歳	76	6.6	30.3	34.2	30.3	2.6
30～49歳	168	14.9	19.6	34.5	31.5	0.6
50～64歳	192	7.8	22.9	31.3	38.5	1.0
65歳以上	308	6.2	10.4	18.2	48.4	17.5

【職業別】

職業別にみると、自営業、自由業で「今後、リカレント教育や学び直しをしたい」、会社員、公務員、団体職員で「リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない」、無職で「リカレント教育や学び直しには興味がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	リカレント教育や学び直しをしている(したことがある)	今後、リカレント教育や学び直しをしたい	リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない	リカレント教育や学び直しには興味がない	無回答
全体	746	8.6	17.8	26.8	40.1	8.0
自営業、自由業	48	4.2	33.3	22.9	29.2	12.5
会社員、公務員、団体職員	256	10.9	21.5	34.4	34.4	1.2
パート・アルバイト	120	9.2	24.2	25.8	40.8	1.7
学生	29	10.3	24.1	24.1	34.5	6.9
専業主婦・主夫	115	6.1	9.6	27.0	39.1	19.1
無職	167	8.4	8.4	19.2	49.7	14.4
その他	15	0.0	6.7	26.7	66.7	0.0

【生涯学習の必要性別】

生涯学習の必要性別にみると、『必要性を感じている』で「リカレント教育や学び直しをしている（したことがある）」「今後、リカレント教育や学び直しをしたい」「リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない」の割合が高く、『必要性を感じていない』で「リカレント教育や学び直しには興味がない」の割合が高くなっています。

単位：%

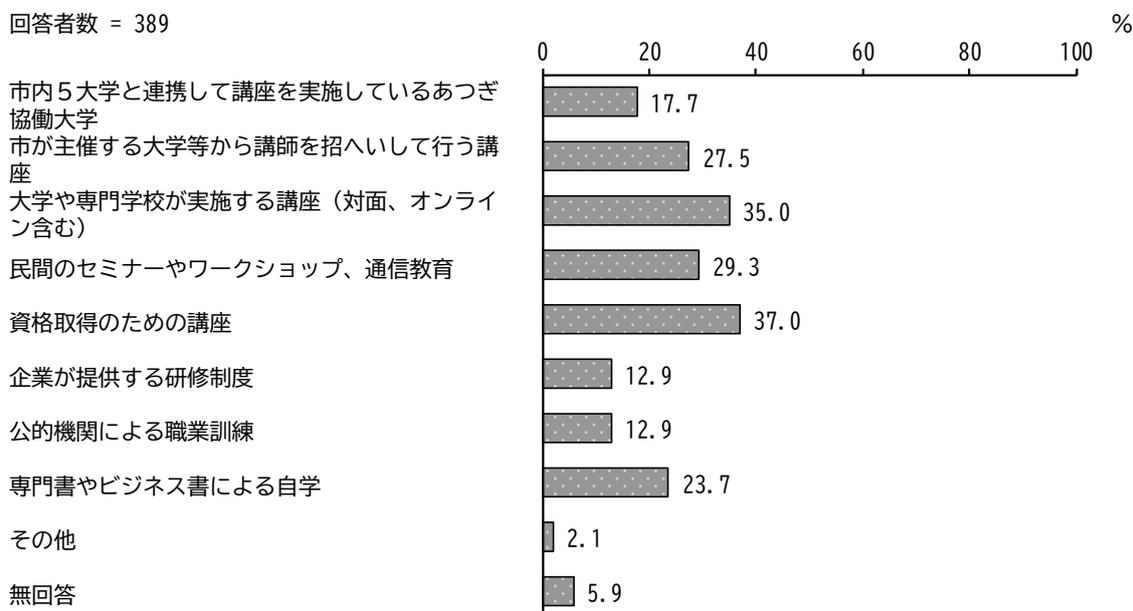
区分	回答者数 (件)	リカレント教育や学 び直しをしている(し たことがある)	今後、リカレント教育 や学び直しをしたい	リカレント教育や学 び直しに興味はある が、手段がわからない	リカレント教育や学 び直しには興味があ りません	無回 答
全 体	746	8.6	17.8	26.8	40.1	8.0
必要性を感じている	549	10.7	21.7	31.0	31.5	6.7
必要性を感じていない	192	2.6	7.3	15.6	65.6	9.4

(8) リカレント教育や社会人の学び直しの方法

問15 どのような方法で、リカレント教育や社会人の学び直しをしたいと思いますか。
(複数選択可)

「資格取得のための講座」の割合が37.0%と最も高く、次いで「大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）」の割合が35.0%、「民間のセミナーやワークショップ、通信教育」の割合が29.3%となっています。

回答者数 = 389



【性別】

性別にみると、男性で「企業が提供する研修制度」「専門書やビジネス書による自学」の割合が高く、女性で「市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市内5大学と連携して講座を実施しているあつぎ協働大学	市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座	大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）	民間のセミナーやワークショップ、通信教育	資格取得のための講座	企業が提供する研修制度	公的機関による職業訓練	専門書やビジネス書による自学	その他	無回答
全体	389	17.7	27.5	35.0	29.3	37.0	12.9	12.9	23.7	2.1	5.9
男性	151	20.5	22.5	37.1	26.5	37.7	18.5	13.2	28.5	0.7	5.3
女性	235	16.2	30.2	34.0	30.6	36.6	9.4	12.8	20.9	3.0	6.4
答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座」の割合が高く、「大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）」の割合が低く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「資格取得のための講座」「企業が提供する研修制度」「公的機関による職業訓練」「専門書やビジネス書による自学」の割合が高く、「市内5大学と連携して講座を実施しているあつぎ協働大学」の割合が低くなっています。また、30～49歳で「民間のセミナーやワークショップ、通信教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	市内5大学と連携して講座を実施しているあつぎ協働大学	市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座	大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）	民間のセミナーやワークショップ、通信教育	資格取得のための講座	企業が提供する研修制度	公的機関による職業訓練	専門書やビジネス書による自学	その他	無回答
全体	389	17.7	27.5	35.0	29.3	37.0	12.9	12.9	23.7	2.1	5.9
16～29歳	53	13.2	13.2	45.3	9.4	41.5	11.3	7.5	22.6	3.8	3.8
30～49歳	114	10.5	21.1	36.0	43.9	51.8	17.5	21.1	31.6	0.9	2.6
50～64歳	116	21.6	30.2	35.3	25.0	44.8	12.9	14.7	28.4	2.6	3.4
65歳以上	105	23.8	39.0	28.6	28.6	10.5	8.6	3.8	10.5	1.9	13.3

【職業別】

職業別にみると、専業主婦・主夫で「市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座」、学生で「大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）」、会社員、公務員、団体職員で「資格取得のための講座」、自営業、自由業で「専門書やビジネス書による自学」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	市内5大学と連携して講座を実施しているあつぎ協働大学	市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座	大学や専門学校が実施する講座（対面、オンライン含む）	民間のセミナーやワークショップ、通信教育	資格取得のための講座	企業が提供する研修制度	公的機関による職業訓練	専門書やビジネス書による自学	その他	無回答
全体	389	17.7	27.5	35.0	29.3	37.0	12.9	12.9	23.7	2.1	5.9
自営業、自由業	28	21.4	25.0	32.1	32.1	39.3	10.7	14.3	35.7	0.0	7.1
会社員、公務員、団体職員	167	14.4	19.8	40.7	32.9	47.9	17.4	14.4	29.9	1.8	3.0
パート・アルバイト	69	21.7	34.8	26.1	36.2	42.0	13.0	13.0	15.9	4.3	1.4
学生	17	5.9	23.5	47.1	11.8	29.4	0.0	17.6	17.6	5.9	0.0
専業主婦・主夫	48	25.0	37.5	31.3	16.7	20.8	4.2	8.3	14.6	0.0	14.6
無職	60	18.3	33.3	28.3	21.7	16.7	11.7	11.7	16.7	1.7	15.0
その他	5	40.0	40.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0

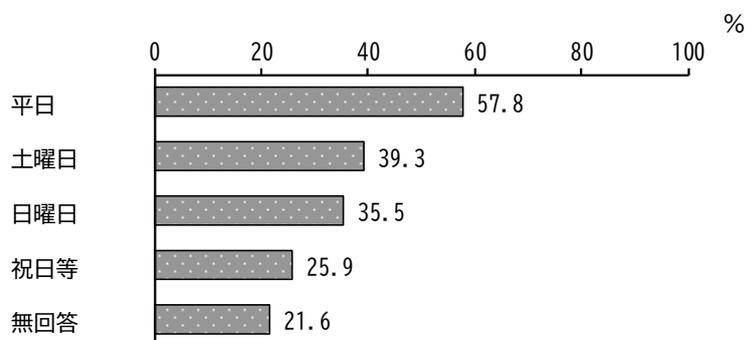
(9) 生涯学習活動に都合のいい時間帯・日程

問 16 生涯学習活動に参加するに当たり、都合の良い時間帯・日程はどれですか。
(複数選択可)

日程

「平日」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「土曜日」の割合が 39.3%、「日曜日」の割合が 35.5%となっています。

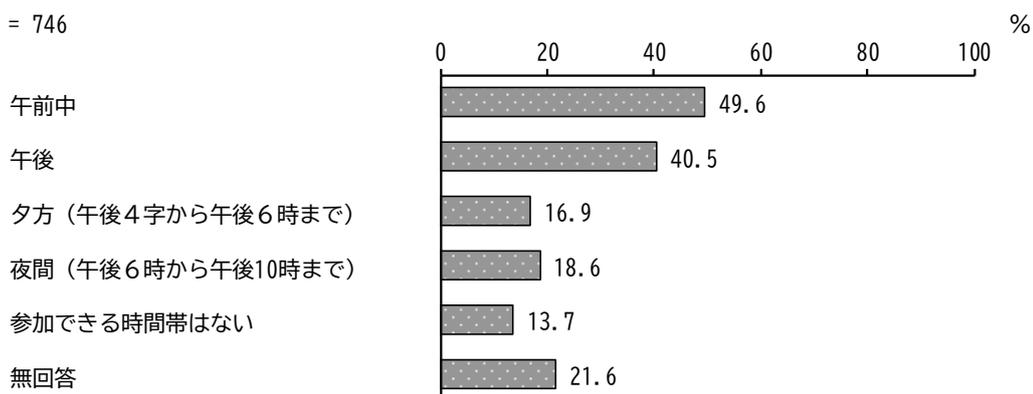
回答者数 = 746



時間帯

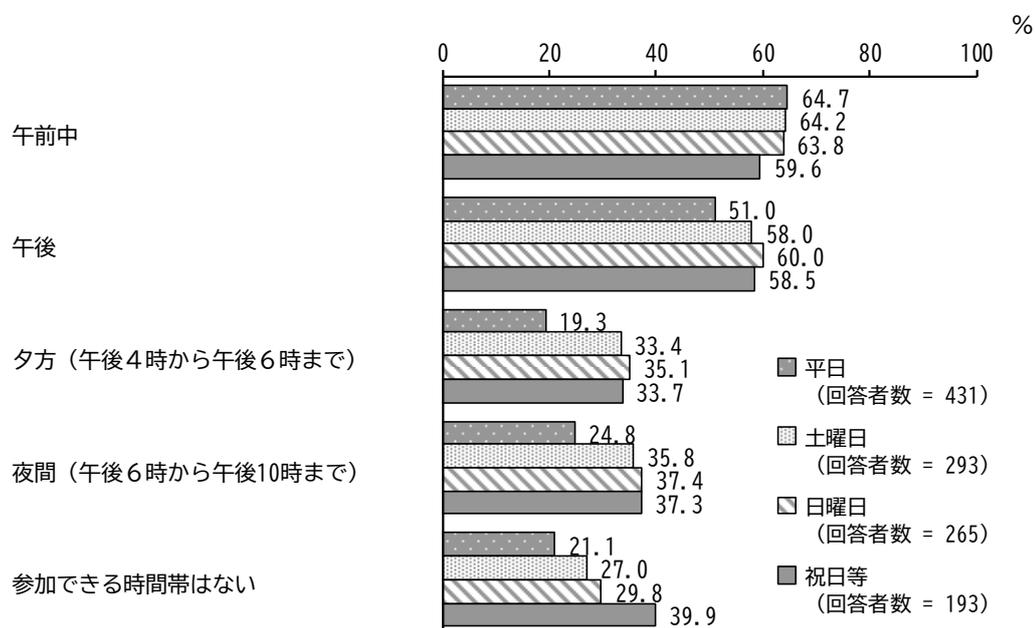
「午前中」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「午後」の割合が 40.5%、「夜間（午後 6 時から午後 10 時まで）」の割合が 18.6%となっています。

回答者数 = 746



【日程別都合のいい時間帯（無回答除く）】

日程別の生涯学習活動に参加するに当たり都合のいい時間帯は、いずれの日程も「午前中」が最も高くなっており、平日が64.7%、土曜日が64.2%、日曜日が63.8%、祝日等が59.6%となっています。また、「夕方（午後4時から午後6時まで）」、「夜間（午後6時から午後10時まで）」は平日が他の曜日に比べ低くなっています。

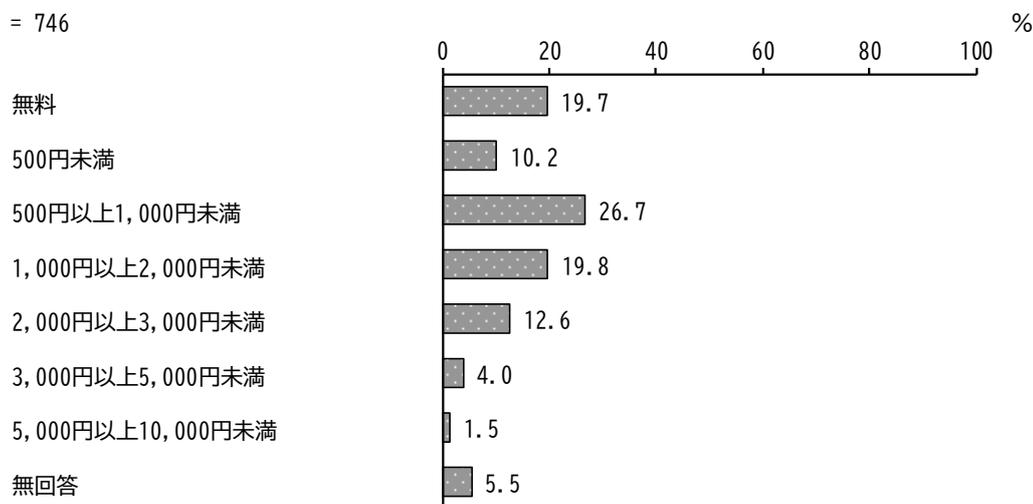


(10) 生涯学習活動に参加できる費用

問 17 生涯学習活動に無理なく参加できる 1 回当たりの費用はいくらですか。(1 つを選択)

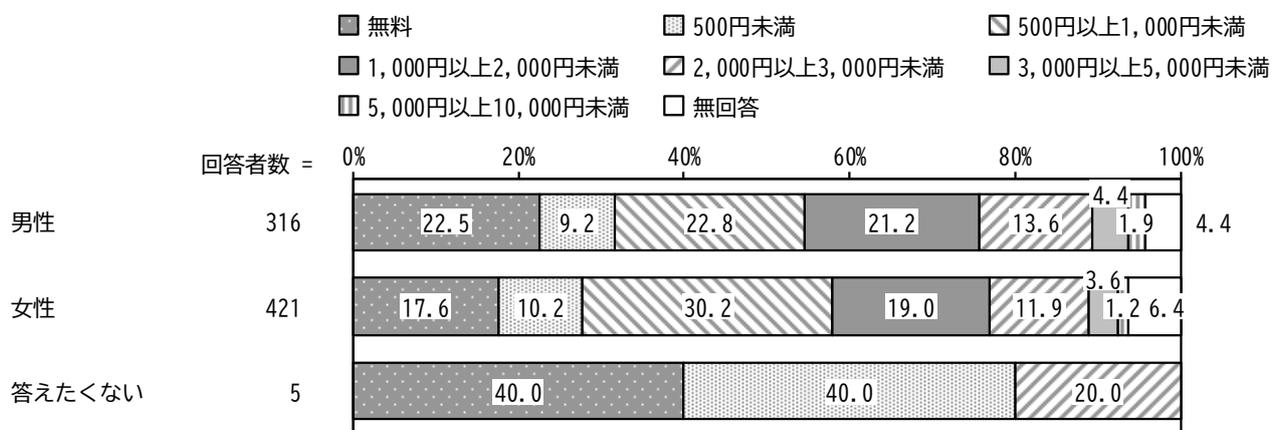
「500 円以上 1,000 円未満」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「1,000 円以上 2,000 円未満」の割合が 19.8%、「無料」の割合が 19.7%となっています。

回答者数 = 746



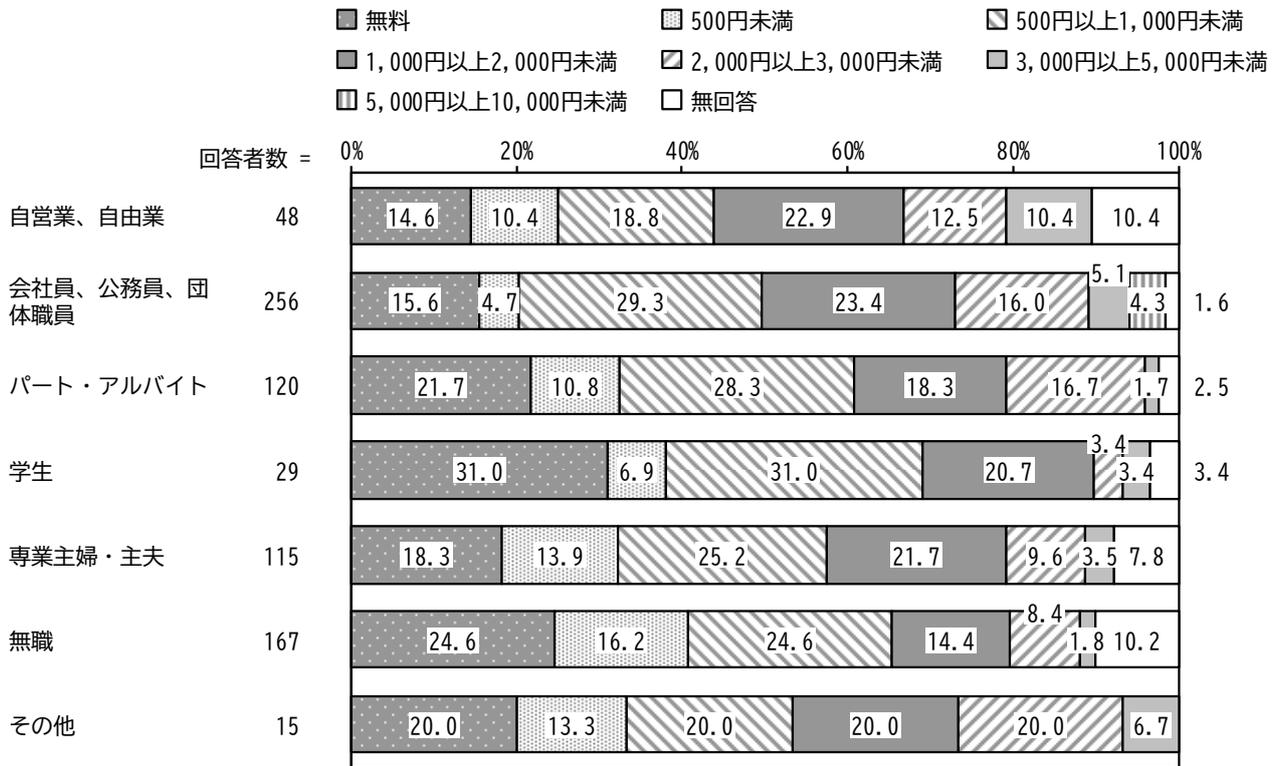
【性別】

性別にみると、女性で「500 円以上 1,000 円未満」の割合が高くなっています。



【職業別】

職業別にみると、学生で「無料」、無職で「500円未満」、自営業、自由業で「3,000円以上5,000円未満」の割合が高くなっています。

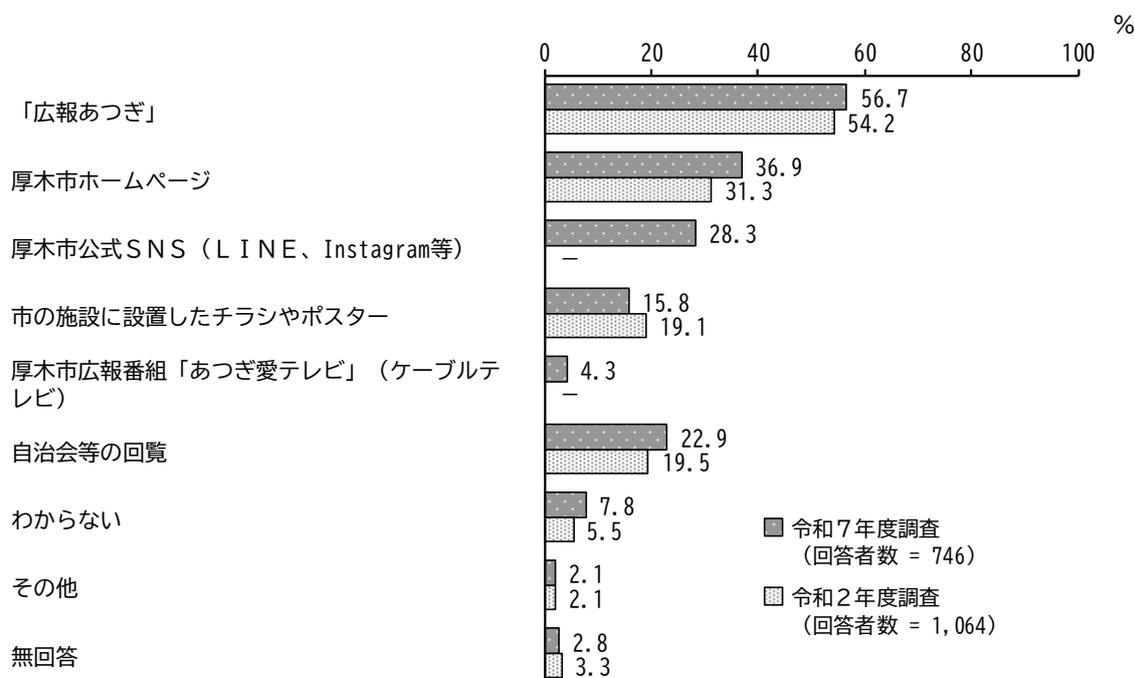


(11) 生涯学習に関する便利な情報入手方法

問 18 市が行う講座等の情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。
(複数選択可)

「広報あつぎ」の割合が56.7%と最も高く、次いで「厚木市ホームページ」の割合が36.9%、「厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）」の割合が28.3%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「厚木市ホームページ」の割合が増加しています。



※令和2年度調査では、「厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）」、「厚木市広報番組「あつぎ愛テレビ」(ケーブルテレビ)」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「厚木市ホームページ」の割合が高く、女性で「広報あつぎ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	「広報あつぎ」	厚木市ホームページ	厚木市公式SNS (LINE、Instagram等)	市の施設に設置したチラシやポスター	厚木市広報番組「あつぎ愛テレビ」(ケーブルテレビ)	自治会等の回覧	わからない	その他	無回答
全体	746	56.7	36.9	28.3	15.8	4.3	22.9	7.8	2.1	2.8
男性	316	51.9	40.2	28.2	14.2	3.8	20.6	10.1	2.5	3.2
女性	421	60.3	34.7	28.7	16.6	4.3	24.7	5.9	1.7	2.6
答えたくない	5	60.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「広報あつぎ」「自治会等の回覧」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）」の割合が高くなっています。また、50～64歳で「厚木市ホームページ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	「広報あつぎ」	厚木市ホームページ	厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）	市の施設に設置したチラシやポスター	厚木市広報番組「あつぎ愛テレビ」（ケーブルテレビ）	自治会等の回覧	わからない	その他	無回答
全体	746	56.7	36.9	28.3	15.8	4.3	22.9	7.8	2.1	2.8
16～29歳	76	30.3	34.2	40.8	23.7	1.3	13.2	19.7	5.3	1.3
30～49歳	168	45.8	43.5	46.4	19.6	3.0	19.0	8.3	3.0	0.6
50～64歳	192	57.8	51.6	37.0	12.5	2.1	20.8	5.2	1.6	1.0
65歳以上	308	68.5	25.0	10.1	14.0	7.1	28.9	6.2	1.3	5.2

【生涯学習の必要性別】

生涯学習の必要性別にみると、『必要性を感じている』で「広報あつぎ」「厚木市ホームページ」「厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）」「市の施設に設置したチラシやポスター」の割合が高くなっています。

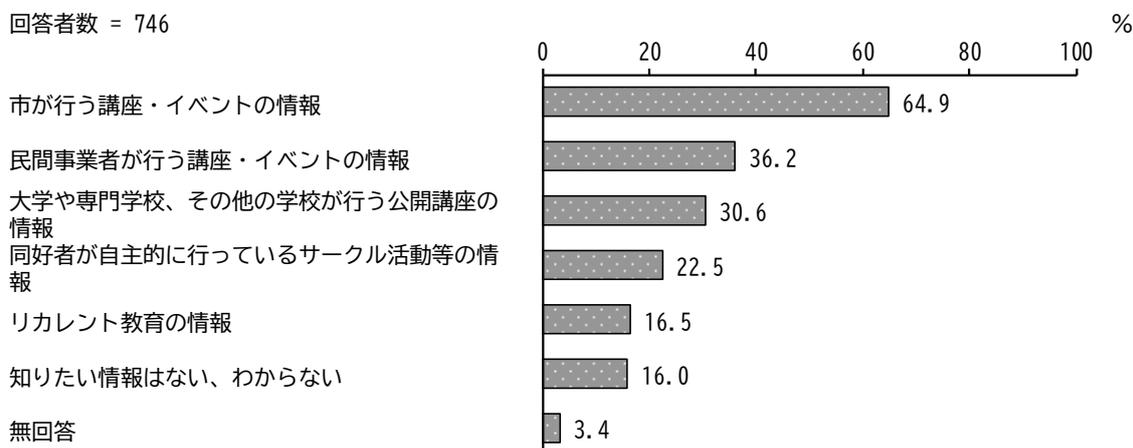
単位：％

区分	回答者数(件)	「広報あつぎ」	厚木市ホームページ	厚木市公式SNS（LINE、Instagram等）	市の施設に設置したチラシやポスター	厚木市広報番組「あつぎ愛テレビ」（ケーブルテレビ）	自治会等の回覧	わからない	その他	無回答
全体	746	56.7	36.9	28.3	15.8	4.3	22.9	7.8	2.1	2.8
必要性を感じている	549	59.7	38.8	31.9	18.0	4.7	22.2	6.2	2.0	1.8
必要性を感じていない	192	48.4	32.3	18.8	9.4	3.1	25.5	12.5	2.6	4.2

(12) 生涯学習に関して入手したい情報

問 19 あなたは、生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。
(複数選択可)

「市が行う講座・イベントの情報」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「民間事業者が行う講座・イベントの情報」の割合が 36.2%、「大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報」の割合が 30.6%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「市が行う講座・イベントの情報」「民間事業者が行う講座・イベントの情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市が行う講座・イベントの情報	民間事業者が行う講座・イベントの情報	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報	同好者が自主的に活動等の情報	リカレント教育の情報	知りたい情報はない、わからない	無回答
全体	746	64.9	36.2	30.6	22.5	16.5	16.0	3.4
男性	316	59.2	32.6	28.2	22.8	15.5	21.8	3.5
女性	421	69.1	38.7	32.3	22.1	17.6	11.6	3.3
答えたくない	5	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「民間事業者が行う講座・イベントの情報」「リカレント教育の情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市が行う講座・イベントの情報	民間事業者が行う講座・イベントの情報	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報	同好者が自主的に 行っているサークル活動等の情報	リカレント教育の情報	知りたい情報はな い、わからない	無回答
全体	746	64.9	36.2	30.6	22.5	16.5	16.0	3.4
16～29歳	76	43.4	32.9	46.1	15.8	19.7	22.4	2.6
30～49歳	168	69.6	47.0	36.9	19.6	30.4	13.1	0.0
50～64歳	192	72.4	43.8	35.9	26.6	18.8	13.0	2.6
65歳以上	308	63.0	26.6	20.1	23.4	6.8	17.9	5.5

【職業別】

職業別にみると、パート・アルバイトで「市が行う講座・イベントの情報」、学生で「大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報」、自営業、自由業で「同好者が自主的に
行っているサークル活動等の情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市が行う講座・イベントの情報	民間事業者が行う講座・イベントの情報	大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報	同好者が自主的に 行っているサークル活動等の情報	リカレント教育の情報	知りたい情報はな い、わからない	無回答
全体	746	64.9	36.2	30.6	22.5	16.5	16.0	3.4
自営業、自由業	48	56.3	33.3	35.4	33.3	20.8	16.7	2.1
会社員、公務員、団体職員	256	67.2	46.1	38.3	18.8	24.2	15.2	1.2
パート・アルバイト	120	76.7	35.0	26.7	27.5	18.3	13.3	2.5
学生	29	31.0	24.1	55.2	24.1	13.8	17.2	6.9
専業主婦・主夫	115	71.3	33.0	20.0	23.5	13.9	10.4	3.5
無職	167	57.5	28.7	20.4	22.2	4.8	21.0	7.2
その他	15	66.7	40.0	46.7	26.7	13.3	20.0	0.0

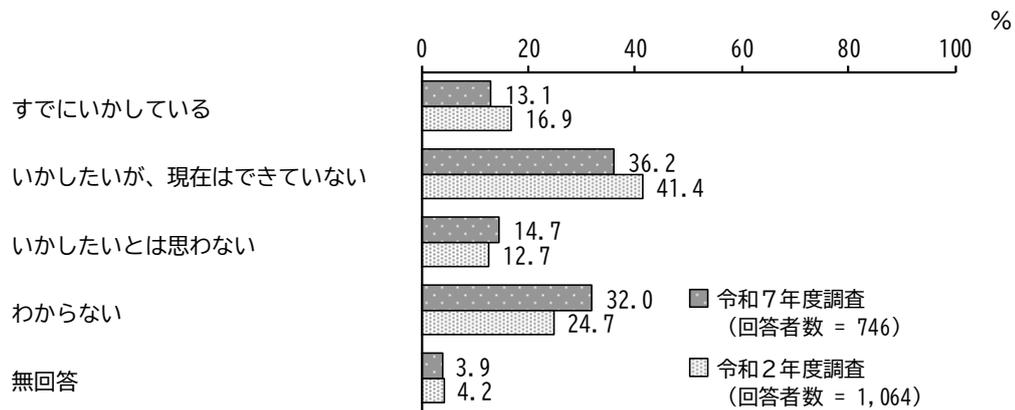
4 生涯学習の地域・社会活用について

(1) 生涯学習の経験等の地域・社会活用

問 20 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動にいかしていきたいと思いませんか。(1つを選択)

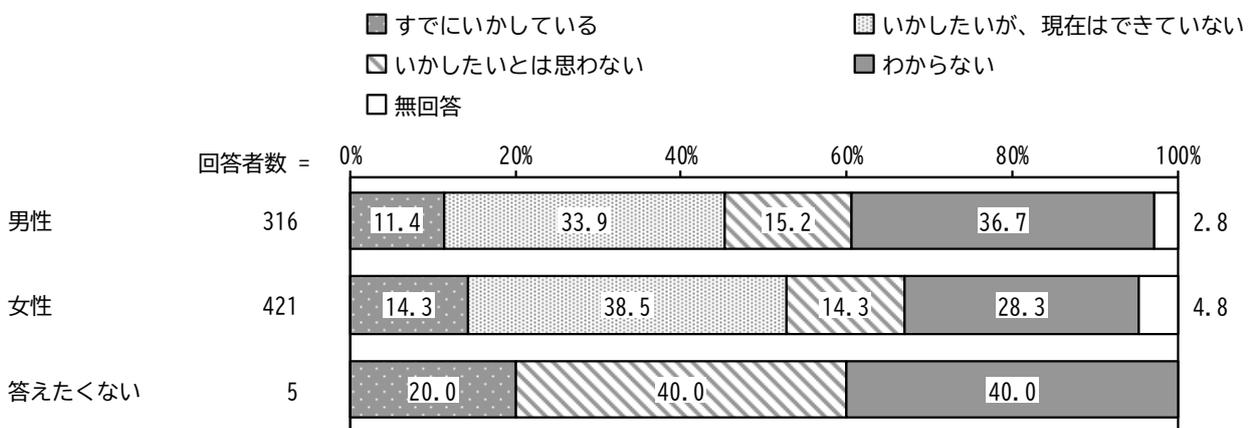
「すでにかかしている」の割合が13.1%、「いかしたいが、現在はできていない」の割合が36.2%、「いかしたいとは思わない」の割合が14.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「いかしたいが、現在はできていない」の割合が減少しています。



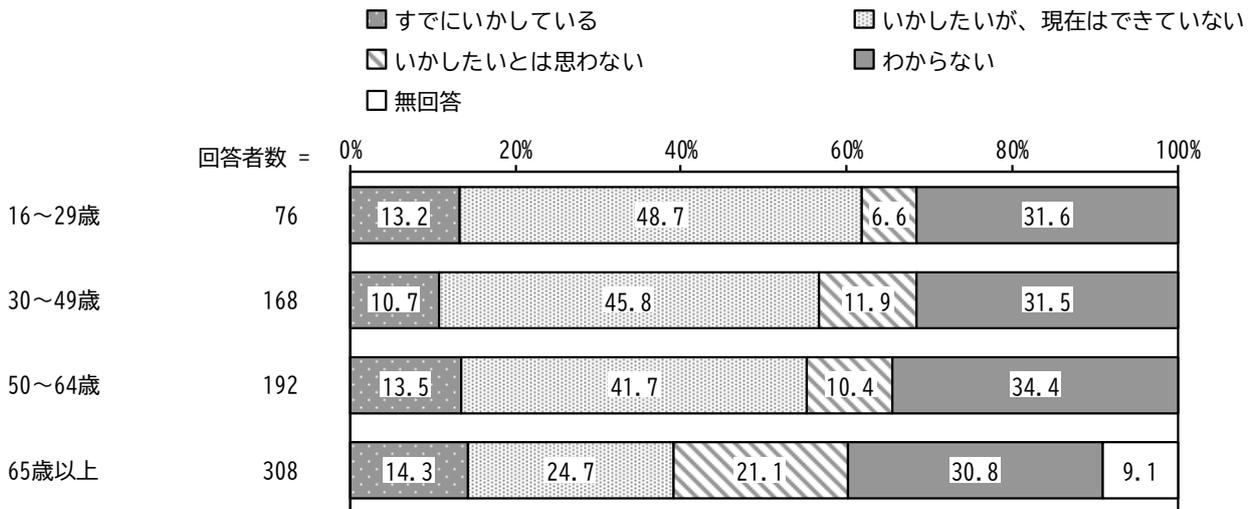
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



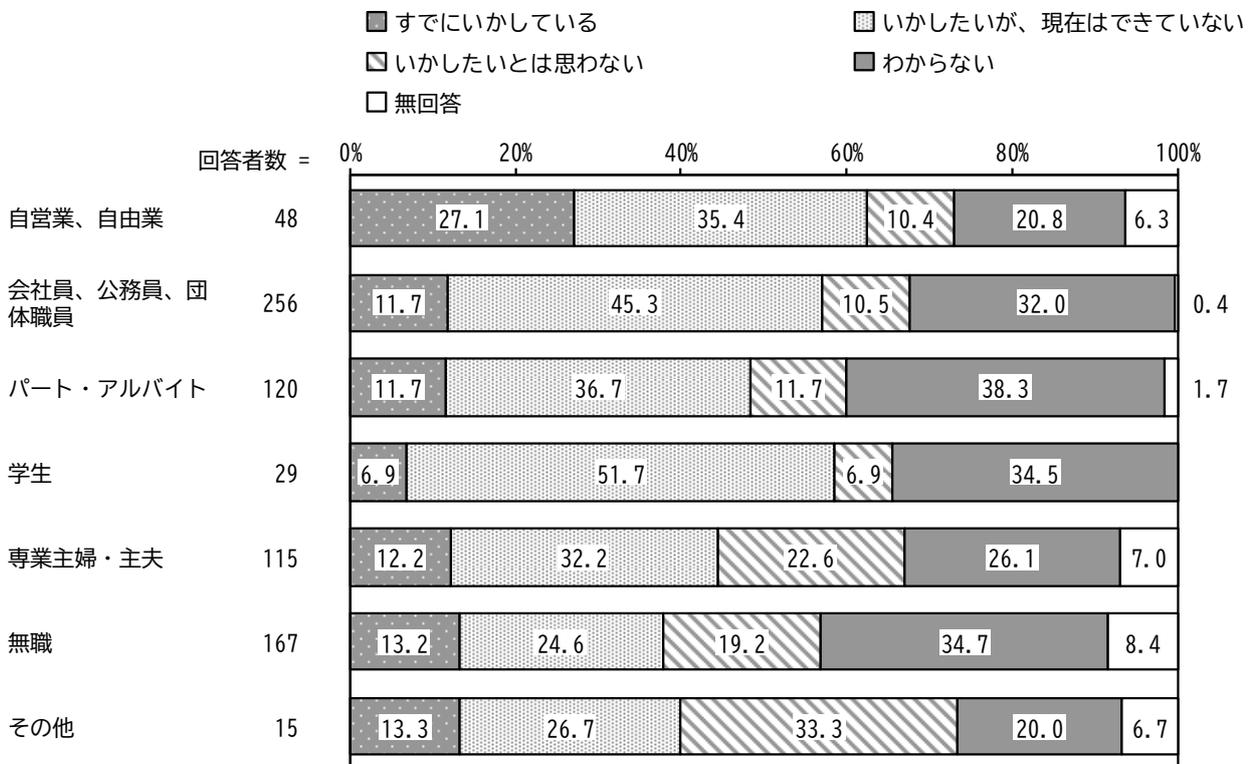
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「いかしたいとは思わない」の割合が高い傾向にあり、「いかしたいが、現在はできていない」の割合が低くなっています。



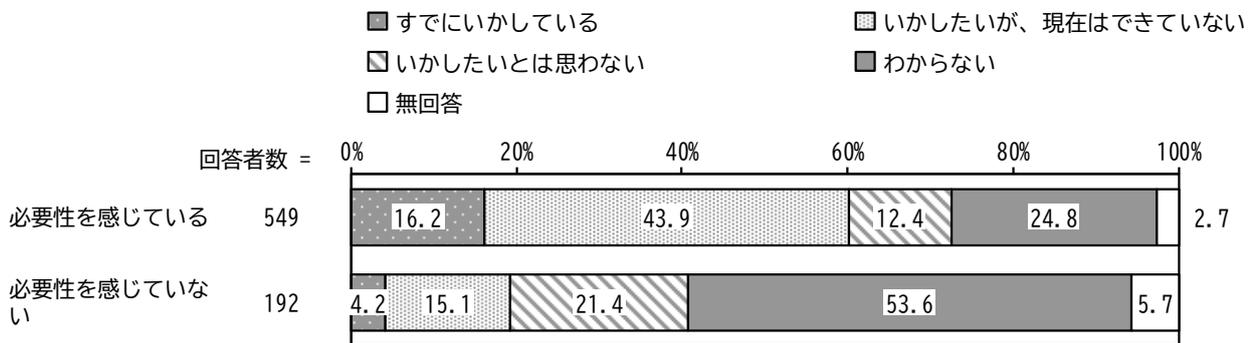
【職業別】

職業別にみると、自営業、自由業で「すでにいかしている」、学生で「いかしたいが、現在はできていない」の割合が高くなっています。



【生涯学習の必要性別】

生涯学習の必要性別にみると、『必要性を感じている』で「すでにかかしている」「いかしたいが、現在はできていない」の割合が高く、『必要性を感じていない』で「いかしたいとは思わない」の割合が高くなっています。



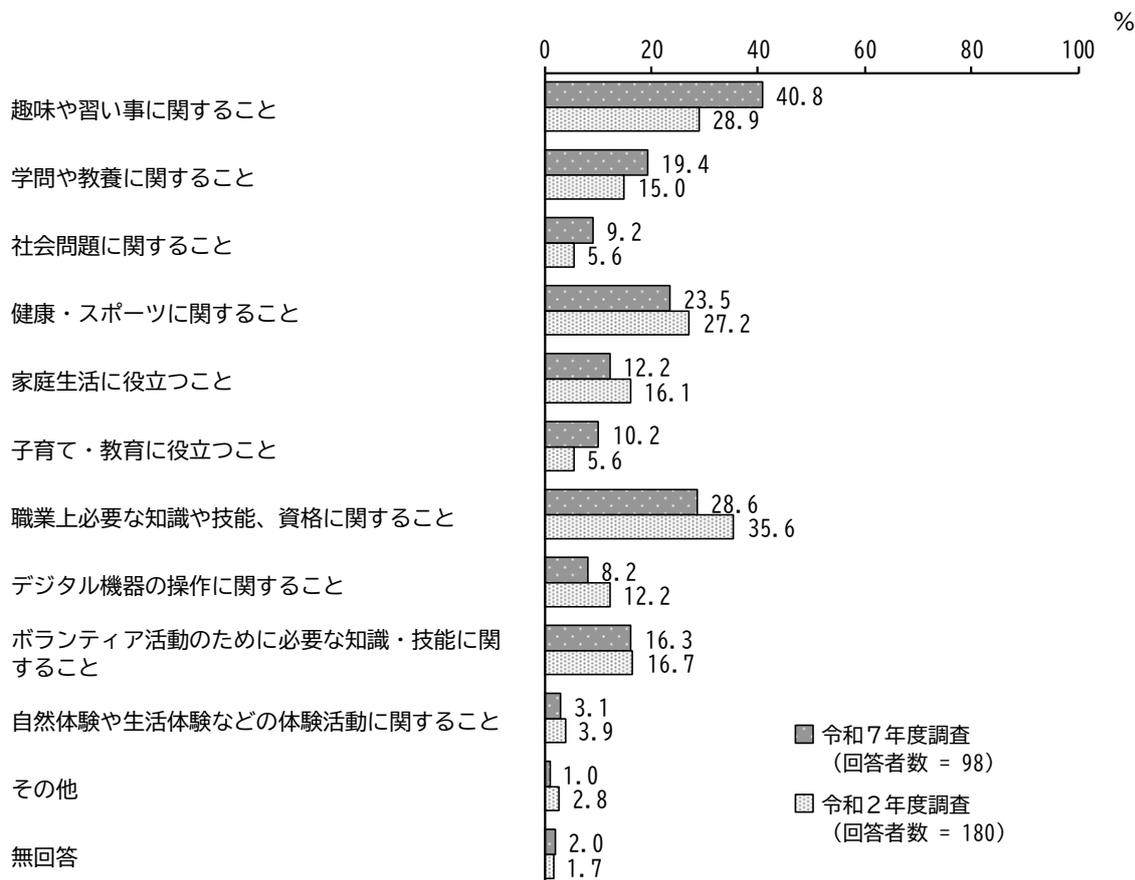
(2) 生涯学習を活かしている分野

問20で「1 すでにいかしている」と答えた方にお聞きします。

問21 どのような分野で学んだことをいかしていますか。(複数選択可)

「趣味や習い事に関すること」の割合が40.8%と最も高く、次いで「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が28.6%、「健康・スポーツに関すること」の割合が23.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「趣味や習い事に関すること」の割合が増加しています。一方、「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「趣味や習い事に関すること」が「趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)」、「学問や教養に関すること」が「教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)」、「社会問題に関すること」が「社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)」、「健康・スポーツに関すること」が「健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」、「家庭生活に役立つこと」が「家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)」、「子育て・教育に役立つこと」が「子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)」、「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」が「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)」、「デジタル機器の操作に関すること」が「情報端末やインターネットに関すること」となっていました。

【性別】

性別にみると、男性で「学問や教養に関すること」「社会問題に関すること」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」「デジタル機器の操作に関すること」「ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること」「自然体験や生活体験などの体験活動に関すること」の割合が高く、女性で「趣味や習い事に関すること」「健康・スポーツに関すること」「子育て・教育に役立つこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	その他	無回答
全体	98	40.8	19.4	9.2	23.5	12.2	10.2	28.6	8.2	16.3	3.1	1.0	2.0
男性	36	27.8	30.6	13.9	16.7	11.1	5.6	36.1	11.1	22.2	5.6	0.0	2.8
女性	60	50.0	13.3	6.7	26.7	13.3	11.7	23.3	5.0	11.7	0.0	1.7	1.7
答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「趣味や習い事に関すること」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「学問や教養に関すること」「子育て・教育に役立つこと」「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が高く、「ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること」の割合が低くなっています。また、50～64歳で「家庭生活に役立つこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	その他	無回答
全体	98	40.8	19.4	9.2	23.5	12.2	10.2	28.6	8.2	16.3	3.1	1.0	2.0
16～29歳	10	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～49歳	18	27.8	27.8	11.1	33.3	16.7	16.7	66.7	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0
50～64歳	26	38.5	23.1	3.8	19.2	23.1	11.5	23.1	3.8	19.2	0.0	0.0	3.8
65歳以上	44	54.5	13.6	13.6	27.3	6.8	4.5	11.4	9.1	22.7	6.8	0.0	2.3

【職業別】

職業別にみると、無職で「趣味や習い事に関すること」「ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること」「自然体験や生活体験などの体験活動に関すること」、自営業、自由業で「社会問題に関すること」「子育て・教育に役立つこと」、専業主婦・主夫で「健康・スポーツに関すること」、会社員、公務員、団体職員で「職業上必要な知識や技能、資格に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

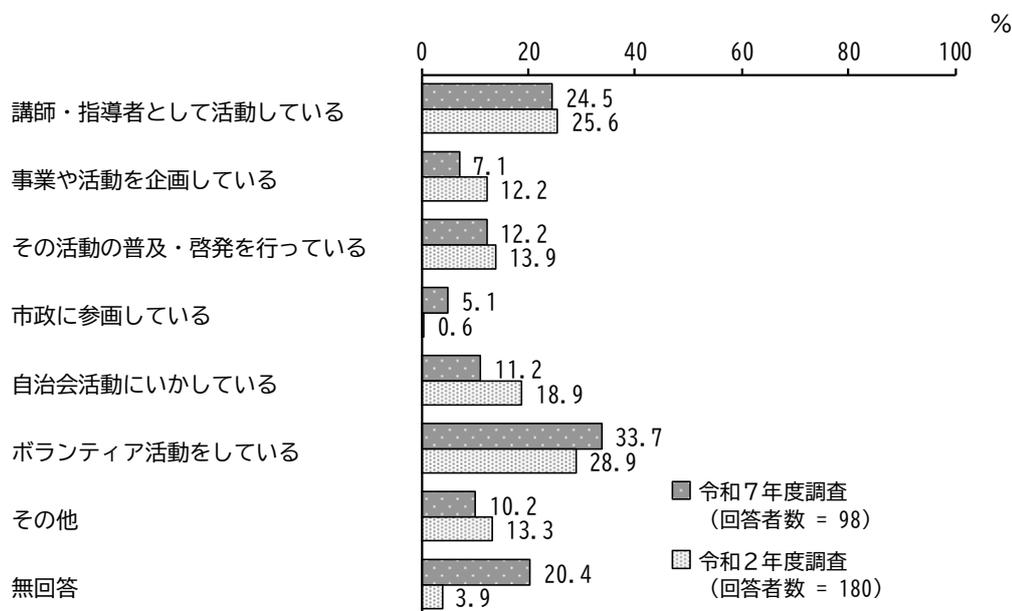
区分	回答者数(件)	趣味や習い事に関すること	学問や教養に関すること	社会問題に関すること	健康・スポーツに関すること	家庭生活に役立つこと	子育て・教育に役立つこと	職業上必要な知識や技能、資格に関すること	デジタル機器の操作に関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	その他	無回答
全体	98	40.8	19.4	9.2	23.5	12.2	10.2	28.6	8.2	16.3	3.1	1.0	2.0
自営業、自由業	13	38.5	23.1	23.1	15.4	15.4	23.1	38.5	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
会社員、公務員、団体職員	30	26.7	23.3	6.7	20.0	10.0	10.0	56.7	10.0	10.0	0.0	3.3	0.0
パート・アルバイト	14	50.0	14.3	7.1	21.4	21.4	14.3	28.6	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
学生	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
専業主婦・主夫	14	50.0	14.3	0.0	42.9	21.4	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0
無職	22	59.1	13.6	13.6	18.2	4.5	4.5	4.5	9.1	31.8	13.6	0.0	4.5
その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 生涯学習の活かし方

問 22 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会でのどのような活動にいかしていますか。(複数選択可)

「ボランティア活動をしている」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「講師・指導者として活動している」の割合が 24.5%、「その活動の普及・啓発を行っている」の割合が 12.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「事業や活動を企画している」「自治会活動にいかしている」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「事業や活動を企画している」「その活動の普及・啓発を行っている」「自治会活動にいかしている」の割合が高く、女性で「市政に参画している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	講師・指導者として活動している	事業や活動を企画している	その活動の普及・啓発を行っている	市政に参画している	自治会活動にいかしている	ボランティア活動をしている	その他	無回答
全体	98	24.5	7.1	12.2	5.1	11.2	33.7	10.2	20.4
男性	36	22.2	16.7	16.7	0.0	19.4	30.6	13.9	13.9
女性	60	25.0	1.7	10.0	8.3	6.7	35.0	8.3	23.3
答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「事業や活動を企画している」の割合が高く、16～29歳から50～64歳まで年代が上がるほど「ボランティア活動をしている」の割合が高く、「講師・指導者として活動している」の割合が低くなっています。また、65歳以上で「自治会活動にいかしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	講師・指導者として活動している	事業や活動を企画している	その活動の普及・啓発を行っている	市政に参画している	自治会活動にいかしている	ボランティア活動をしている	その他	無回答
全体	98	24.5	7.1	12.2	5.1	11.2	33.7	10.2	20.4
16～29歳	10	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	30.0
30～49歳	18	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	22.2	16.7	16.7
50～64歳	26	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	34.6	15.4	23.1
65歳以上	44	27.3	4.5	13.6	9.1	22.7	40.9	4.5	18.2

【職業別】

職業別にみると、自営業、自由業で「事業や活動を企画している」「市政に参画している」、専業主婦・主夫で「自治会活動にいかしている」、無職で「ボランティア活動をしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	講師・指導者として活動している	事業や活動を企画している	その活動の普及・啓発を行っている	市政に参画している	自治会活動にいかしている	ボランティア活動をしている	その他	無回答
全体	98	24.5	7.1	12.2	5.1	11.2	33.7	10.2	20.4
自営業、自由業	13	23.1	23.1	15.4	23.1	15.4	23.1	15.4	15.4
会社員、公務員、団体職員	30	26.7	13.3	20.0	3.3	0.0	20.0	13.3	16.7
パート・アルバイト	14	21.4	0.0	7.1	0.0	7.1	42.9	7.1	28.6
学生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
専業主婦・主夫	14	21.4	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	35.7
無職	22	31.8	0.0	13.6	4.5	18.2	54.5	4.5	9.1
その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

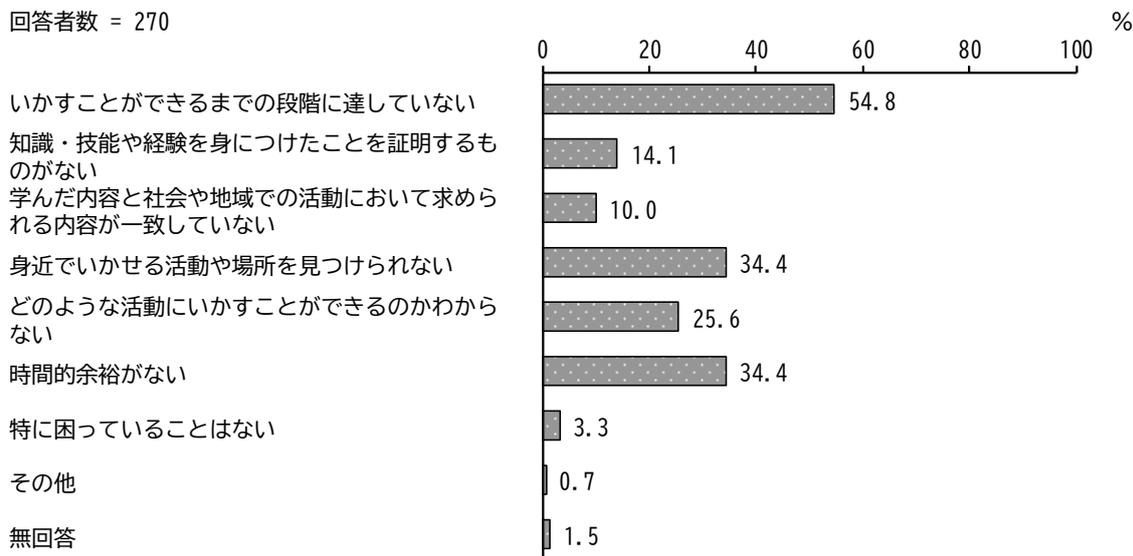
(4) 生涯学習を活かすにあたっての困難

問 20 で「2 いかしたいが、現在はできていない」と答えた方にお聞きします。

問 23 あなたが、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動にいかすに当たってお困りの点や、いかしたいのにそれができていない理由はありますか。
(複数選択可)

「いかすことができるまでの段階に達していない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「身近でい
かせる活動や場所を見つけられない」、「時間的余裕がない」の割合が 34.4%となっています。

回答者数 = 270



【性別】

性別にみると、男性で「知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない」の割合が高く、女性で「どのような活動にいかすことができるのかわからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いかすことができるまでの段階に達していない	知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない	学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない	身近でいかせる活動や場所を見つけられない	どのような活動にいかすことができるのかわからない	時間的余裕がない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	270	54.8	14.1	10.0	34.4	25.6	34.4	3.3	0.7	1.5
男性	107	56.1	19.6	12.1	36.4	21.5	32.7	4.7	0.0	0.9
女性	162	54.3	10.5	8.6	33.3	28.4	35.2	2.5	0.6	1.9
答えたくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない」「どのような活動にいかすことができるのかわからない」の割合が高くなっています。また、16～29歳で「いかすことができるまでの段階に達していない」、50～64歳で「時間的余裕がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	いかすことができるまでの段階に達していない	知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない	学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない	身近でいかせる活動や場所を見つけれない	どのような活動にいかすことができるのかわからない	時間的余裕がない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	270	54.8	14.1	10.0	34.4	25.6	34.4	3.3	0.7	1.5
16～29歳	37	67.6	27.0	8.1	37.8	21.6	16.2	2.7	0.0	0.0
30～49歳	77	53.2	18.2	14.3	33.8	31.2	36.4	3.9	1.3	1.3
50～64歳	80	50.0	10.0	8.8	33.8	27.5	50.0	2.5	0.0	0.0
65歳以上	76	55.3	7.9	7.9	34.2	19.7	25.0	3.9	1.3	3.9

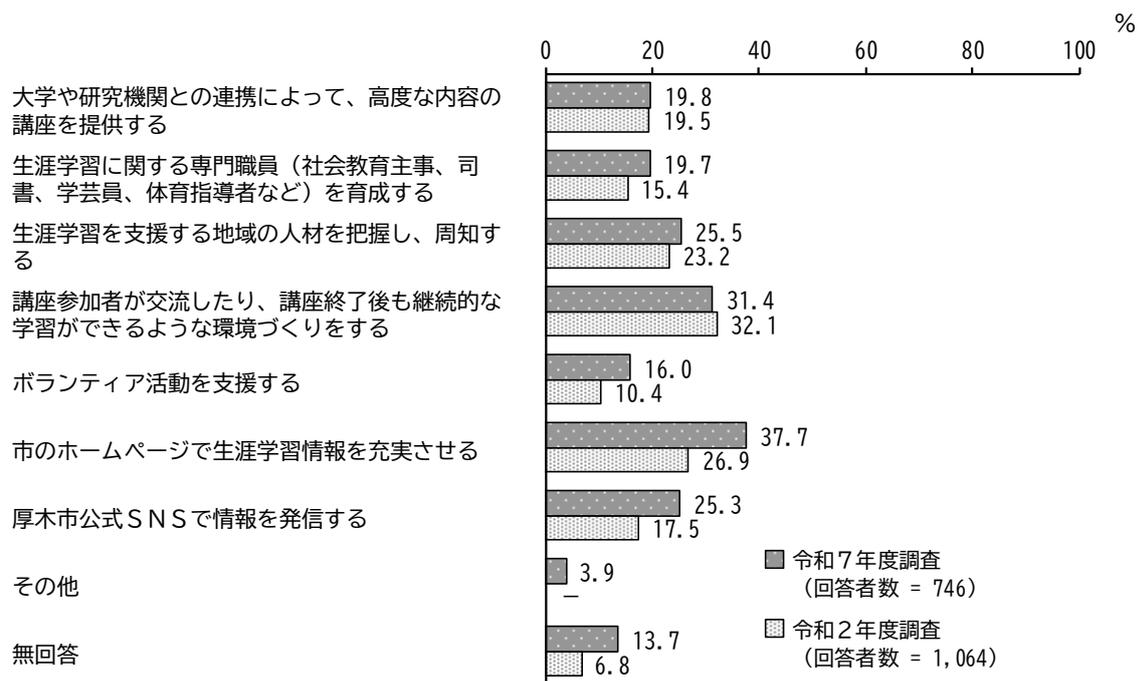
5 市の施策について

(1) 生涯学習活動を盛んにするために力を入れるべきこと

問 24 あなたは、生涯学習活動をより盛んにしていくために、厚木市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択可)

「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする」の割合が 31.4%、「生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する」の割合が 25.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「ボランティア活動を支援する」「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」「厚木市公式SNSで情報を発信する」の割合が増加しています。



※令和2年度調査では、「ボランティア活動を支援する」が「社会教育関係団体、青少年団体などのボランティア活動を支援する」、「厚木市公式SNSで情報を発信する」が「Facebook（フェイスブック）や twitter（ツイッター）などの SNS（ソーシャルネットワーキング）で情報を発信する」となっており、「その他」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」の割合が高く、女性で「講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する	生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など)を育成する	生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する	講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする
全体	746	19.8	19.7	25.5	31.4
男性	316	20.6	19.6	24.1	24.1
女性	421	19.7	19.5	26.6	36.3
答えたくない	5	0.0	20.0	20.0	40.0

区分	ボランティア活動を支援する	市のホームページで生涯学習情報を充実させる	厚木市公式SNSで情報を発信する	その他	無回答
全体	16.0	37.7	25.3	3.9	13.7
男性	14.6	43.0	26.3	3.5	13.6
女性	17.1	33.7	24.9	3.8	13.8
答えたくない	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0

【年代別】

年代別にみると、年代が下がるほど「大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する」の割合が高く、65歳以上から30～49歳まで年代が下がるほど「厚木市公式SNSで情報を発信する」の割合が高くなっています。また、50～64歳で「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する	生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など)を育成する	生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する	講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする
全体	746	19.8	19.7	25.5	31.4
16～29歳	76	39.5	28.9	18.4	27.6
30～49歳	168	29.2	22.6	26.8	31.5
50～64歳	192	15.6	16.7	24.5	33.3
65歳以上	308	12.3	17.9	27.3	31.2

区分	ボランティア活動を支援する	市のホームページで生涯学習情報を充実させる	厚木市公式SNSで情報を発信する	その他	無回答
全体	16.0	37.7	25.3	3.9	13.7
16～29歳	15.8	28.9	36.8	3.9	11.8
30～49歳	13.7	35.1	38.1	6.5	8.9
50～64歳	19.3	50.0	35.4	2.1	10.4
65歳以上	15.3	33.8	9.4	3.6	18.5

【生涯学習の必要性別】

生涯学習の必要性別にみると、『必要性を感じている』で「大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する」「生涯学習に関する専門職員（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など）を育成する」「生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する」「講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする」「ボランティア活動を支援する」「厚木市公式SNSで情報を発信する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する	生涯学習に関する専門職員（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など）を育成する	生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する	講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする
全体	746	19.8	19.7	25.5	31.4
必要性を感じている	549	22.0	22.2	27.9	34.4
必要性を感じていない	192	13.5	12.5	19.3	23.4

区分	ボランティア活動を支援する	市のホームページで生涯学習情報を充実させる	厚木市公式SNSで情報を発信する	その他	無回答
全体	16.0	37.7	25.3	3.9	13.7
必要性を感じている	17.7	38.3	27.9	3.5	10.4
必要性を感じていない	11.5	37.0	18.8	5.2	21.4

6 自由意見

問 25 厚木市生涯学習推進計画の策定に伴い、御意見等がございましたら、御記入ください。

自由回答は下記のとおりです。

カテゴリ名	件数
講座内容・プログラムの拡充	35
広報・情報提供の改善	21
参加環境の改善	19
高齢者向けの参加困難・環境整備	19
交通・アクセスの改善	8
ボランティア活動の推進	8
オンライン・通信教育の充実	8
子育て支援・多世代交流	6
行政運営への批判／透明性・予算面の要求	5
その他	6

※複数のカテゴリに係る意見はそれぞれでカウントしているため、意見の数とカテゴリ件数の合計は一致しません。

※特になし、わからないを除きます。

■主な意見

※複数カテゴリに分類される意見は、1つのカテゴリにのみ意見を記載しています。

◆講座内容・プログラムの拡充

- ・ 私は朗読の講座を長い間学習をさせていただきました。今は生涯学習講座に朗読がありません。残念です。私はボランティア活動を何度か頼まれました。10回位、発表の場が出来ました事がすごくうれしいです。いろいろな講座のグループの発表の場があったらもっと参加者の方も違う楽しみが増えるかなと思います。字がまともでなくてごめんなさい。読めますでしょうか？
- ・ 利便性の良い所で行って頂きたい。有料、無料での生涯学習項目を充実してくれたらうれしいです。
- ・ 手軽にわかりやすく、選択できるとうれしいです。ある程度レベルUpしていくと、習う→教えるという人材育成もかねるとできる方達はどんどん増えていくと思います。
- ・ 生涯学習で得た知識がどれほどのレベルか自分ではわかりません。学習後のフォローや自分で測定できるものがあれば良いと思います。各学習についてもレベルアップをできるような項目などのカリキュラムを継続的に受けられるようになると、楽しく学ぶことができるのでしょうか。社会問題についての学習を増やしてほしい。少子化・地球温暖化・LGBTQ（人権）・自然との共存・学習項目などの検索できるデータベースをつくってほしい。
- ・ 個人の興味のある分野の講座を増やし資格を取りやすくして就職に生かせる社会作りと市の活性化に役立てられたら人口や活性化にもなるのでは。
- ・ 有能な投資セミナーがあれば参加したいです。
- ・ 輝き塾はとてもありがたい制度だと思います。スマホ講座はありますが、もう少し知りたい人のために、初心者よりも、上のレベルの講座を開いて欲しいと思っています。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 見える形で、お知らせをして欲しい。初心者コース等レベル別のコースがあればよい。学校みたいに1組2組とかあれば、おもしろいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ “学び続ける”ことが大切であることから、魅力的な講座が求められる今日。講師の選出やテーマは、もちろんですが、講座開設場所が町中に集中していることから、通うのに時間がかかってしまうことで参加しにくくなっているの、各地区に重点を置いた講座開設を希望している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定的なイメージかもしれませんが、第一線を退いた方が楽しむ機会という印象を持ってしまいます。働いている世代も参加しやすいビジュアルイメージなどがあると、もっと積極的に参加できるかなと思います。『輝き厚木塾』の案内も拝見しましたが、語学の講座がもっと多いと嬉しいです・・・。韓国は渡航先として人気であることは承知していますが、日本にいて必要だと感じるのは特に中国語です。他にもベトナム語やネパール語など在日外国人とコミュニケーションをとれるように勉強したいと思っています。また、彼らが持つ文化的背景についてももっと知りたいと思っています。いろいろな意見がありますが、外国籍の労働者との共生は既に始まっているので、それに対応できるように学びを深めたいです。そういった、今の生活に直結するスキルや知識を身につけられるような内容だと、働いている世代も参加しやすくなると思います。また、講師の公募があったのかもしれませんが、見つけられず・・・。ぜひ、自分も応募したいと思っていますので、広く募集していただけると嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は美術大学出身で、2年ほど前から幼稚園で絵画教室をはじめました。なかなか専門的な分野で地方に行くほど、学ぶ子は少なくなります。大都市では大切さを理解されています。横浜市では“公益財団法人横浜市芸術文化振興財団”があり、専門分野の人材が、美術館やアトリエ、ギャラリーなどを運営しています。そこまでは、できなくとも、あざみ野の同建物内に、“男女共同参画センター横浜北アートフォーラムあざみ野生活工房”があります。こちらのHPをぜひご覧ください。参考になると思います。このような場にアトリエをプラスしていただけると夢のようです。アトリエは可動式の机で床を広くつかえ、水道が子ども用、大人用あるのが理想です。緑ヶ丘の陶芸窯はすごいと思っています。少しずつ文化へのご理解をいただき、その機会を広げられる設備があれば、素敵ですね！ご検討よろしくお願い申し上げます！質問。生涯学習課が主体で生涯学習の企画はありますか？不勉強で失礼します。※平塚市吉沢地区にクラインガルテン（滞在型市民農園）計画申請、自然共生サイトを活用した地域活性化。産官学民の四者連携体制。この計画は一朝一夕に生まれたものではない。中央日本土地建物、平塚市、東京農業大学、協議会は2010年に「産・官・学・民」の四者協定を締結し、地域再生、活性化を担う人材育成、教育、研究、地域還元などの取り組みを15年間にわたって進めてきた。2022年には、NPO法人湘南平塚きさわ里地里山ラボが設立され、農作業学習体験農園“ゆるぎの丘里山農園”を開園。2025年3月期は延べ約400名が計13回の農作業を体験し、東京農業大学教授による講演会も3回開催された。(続) ネット「湘南人」より抜粋。厚木市は、今あるものや、お店を紹介しているだけの気がしています。それは良いことだとは思っています。街も道路も公園も全然よくなりませんし、信号は増え続けていますね。。新しい市役所ができればすこしは変わるのでしょうか・・・？そう期待しています。。私がこちらに書いたものも管轄外だと見て見ぬふりをするのかもしれませんがね。厚木市、どうしますか？他にないものを市民が誇れるものをつくってくださることを望んでいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、施設について。住んでいる地域によって学習できる適切な施設が少ない。2、交通について。学習が行なわれる施設によっては、交通手段がない。バスを乗り継いで行くなど不便。交通費が負担となってくる。2、継続学習について。5回の講座終了後、継続して学習できる環境がない。あっても民間のカルチャーなどで経済的負担が大きい。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 書道の師範をもっているがそれを活かせる情報があれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習とは輝き厚木塾のようなものと思ってましたが、もっと、専門的なものを、指していらっしゃるのでしょうか。厚木塾で学んだことを何のボランティアに生かすのでしょうか。自分を高めるためだけではいけないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習を身につける機会を充実するよう望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 激変する世界情勢に関する講座の充実。差別、人権、社会問題等をよりよく知りたい。それ等に関する映画上映。高齢者向けスマホ、パソコン操作講座、料理講座等があれば喜ばれると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争中の日本での生活の様子、ロシアで抑留生活を送った方の話を、生きていらっしゃるうちに聞いてみたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のモデルコースの例を教えて欲しい。どんなことを学習するとどんなことができるのか（逆も）。特に経済的なもの、経済が発展する様なものが希望です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な講座があるが、スケジュールが合わず、申込をあきらめることがある。同じテーマでも場所や時間帯を変えて提供して貰えると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内のみではなく、近隣の市町村とのリレーションシップを繋げ海、山等の神奈川の地理的好条件を活かした活動、また県内にはプロ、アマ問わず素晴らしいスポーツチームを有しているので、トップの技術、思考などを子ども成人共に供与いただけたらと思います。パラスポーツの普及のためにもパラスポーツ大会を厚木市で行って欲しいです。障がいを持つ方のみならず、老若男女全ての楽しめる時間を。そのための定期的な講座を。手話、車椅子の取り扱い方など障がいを持つ方に優しい町づくりにつなげるためにも日常的な講座をお願いしたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕地（田畑）があれば、市民農園として貸出で有効活用する。同時に栽培方法を指導する。YouTubeを活用すれば時間にとらわれずに学習できる。作る楽しみ、収穫の喜び、失敗の経験、年間を通じての計画性、体力の維持。PDCA&QOLです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気な人しか参加できない講座ばかり目立っている。スポーツとか特にそう。フレイルだと65歳以上とか年齢の区分けがあるが、40代でもフレイル予備軍は多いし、誰でも参加できるスポーツや講座があるといい。陶芸とか面白そうでいいと思う。あと、荻野運動公園が会場だと遠くて行けません。駅近の会場を希望します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本調査の問14で言及されているリカレント教育にも関係しますが、資格取得を目指す・目指せる講座は20代から参加しやすいのではないかと感じています。より幅広い年齢層を対象とした企画の検討をぜひ、お願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私自身は義務教育含め、問題なく履修し、仕事も生活も満足しているが、行政に期待することは、未成年時代に何らかの事情で義務教育を満足に受けられなかった市民への学びの場を無償で提供してほしい。この仕組みはすでにあるのかも知れませんが。平等より公平(6歳～15歳の条件ではなく成人全て)に、専門性より基礎学力と考えているからです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は高校でソフトテニスが続けています。中学校の時、ソフトテニス専門のコーチやソフトテニス経験のある顧問の先生がいなく、強くなりたい！正しいフォームが知りたい！どうしたら上手くなれるのか！などを誰かに聞きたいと思ったことがあります。先輩達に聞いても分からない事だらけで困りました。中学校によっては、外部コーチなどがいて、ずるいと感じました。平等に戦えないもどかしさがとても辛かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報を見て、何か参加できるものはないか、ワクワクしながら探しています。都合の合うものがあれば積極的に参加していきたいと思っています。自分の興味のある講座が増えると嬉しいです。

<ul style="list-style-type: none"> 人生を充実させる為、地域の活性化の為にも生涯学習は大切だと思います。その為にも学ぶことができる機会を増やして頂けるとありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> 厚木塾の活動はいいと思う（自分は参加したことはないが妻は活用している）。大学の公開講座をもっとやってもらえると嬉しい（大学の講義の一部を一般市民でも受講できるような仕組みがあっても面白いかも）。
<ul style="list-style-type: none"> 輝き厚木塾の講座をもっと増やして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 今後の長い人生で、生涯学習をしたいと考えていますが、何をしたいか分からずにいます。体験が色々できるといいと思います。また続けるには、講座にしろ、サークル活動、ボランティア活動にしてもその人間関係や雰囲気重要で自分に合うところが見つけられるといいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 2年ほど前に受けた料理の講座は孫と参加でき、とても役に立っている。語学の講座もあつたら、ぜひ参加してみたい。一言で生涯教育といっても、様々なレベルや種類 専門的な知識を必要とするものなどもあり、誰でも楽しめるものではない。そこを、興味を引き出すところから初心者に向けての導入も考慮していただきたいと感じた。過去に大学の専門の講師で、資料が多すぎて、時間内に説明すら行き届かない講座が何回かあった。
<ul style="list-style-type: none"> 上にも書きましたが、広報で見ても平日の昼間や夕方ばかりで気にする気にならないです。時代にあった時間帯や内容で是非サツと参加したくなる講座を楽しみにして居ます。
<ul style="list-style-type: none"> 色々な体験学習が充実していてよいと思います。印象的には健康か自然に触れる物が充実していると思います。先々を考えると、現役世代に有益な知識の充足（AI 活用やデジタル活用による生産性アップ）が必要と感じます。市職員の方々も参加したいものを是非検討ください。
<ul style="list-style-type: none"> 教える人もいろいろ、学ぶ人もいろいろ、一つの科目を2人の先生が別々な時間で教える場を作ることが大切だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> より多くの選択肢から選びたい。

◆広報・情報提供の改善

<ul style="list-style-type: none"> 厚木に引越して40年近くになりますが、生涯学習そのもの、情報がどういう形でなされているかわからない。市の広報は毎回見ているが、どれが生涯学習にあてはまるのかわからない。私は個人的にボランティア活動をしています。生涯学習自体がどこでどう活動（推進）しているのかわからない。広報の見方が悪いのか、もっと多くの方が理解出来る様、特に年のいった人にもわかるように、気軽に参加出来る様にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 厚木市が生涯学習を推進していることを知らなかった。もっと公報で知らせるべきではないかと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 厚木市生涯学習に関心があります。情報をどのように入手したらよいかわからないので、もっと宣伝して欲しいと思います。60代でデジタル世代のような情報を入手することが得意ではありません。これからますます、デジタル化が進む社会に取り残されてしまう気がします。デジタルの事も学びたいと思いますが・・・市でそのような学びの場を提供して下さると嬉しいです。地区ごとにすると参加しやすいと思います。例えば、森の里公民館で行うとか・・・。宜しくお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> 私の経験からですが、有る事が（必要にかられて）起きて、色々調べて行く段階で、「生涯学習講座」を知り、それも100近くも有って、それらが、出前講座として、出張講座が出来ると知り、驚いてしまいました。厚木市民になって、30年以上になるのに、それ迄は全く知りませんでした（私だけかも知れません）。仕事に毎日を通し、日々の地域活動すら参加するのも稀でした。退職して、少しは周りを見られる暇が出来、地域自治会役員になって初めて、知る事が出来ましたこの様なパターン

<p>は結構有るのではないのでしょうか？ 公民館の担当者から、冊子を見せられて、項目の多さにもびっくりでした。もっと市民へのアピールの仕方もある事が必要かもと、思った次第です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々生活に忙しいですが、LINEにくるものなら目を通せたりするのでそのような発信を常にLINE中心にして頂けたらと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物理的に時間がないので、通信教育やオンラインで学習できるものの案内や説明を広報に載せてもらえると助かります。SNSのフォローなどは避けたいので今、情報が全く入って来ません。興味があれば詳しく調べる等はできますが・・・。生活に余裕がないので余裕をつくるための資格や勉強をしたいです。その後にはしか市や地域社会貢献はできません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、今年の6月末に厚木市へ転入したばかりなのでほとんど何もわかっておりません。生涯学習についても、どのような活動があるのか、知るにはどのような手段があるのか、も不明です。私はフリーマーケット等に参加したいなと漠然に思っているのですが、そのような情報も得たいです。よろしくおねがいいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、私は仕事をしています。確かにリタイアしてからの学びも大切ですが、年をとってから、すぐに自分のやりたい事、興味のある事がみつかるとは限りません。忙しいうちから、生涯できる事をみつけることができた方がいいかと思います。その為のアナウンスや、参加しやすい方法があれば、いいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市として、税制上で不利となる情報（公的支援等）も積極的に発信して下さい！「市民がより豊かに生活を送れるように」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 週に1回自宅から歩いて行ける、興味をもて、長く続けられる講座に出会えたらいいなと思いました。具体的に何がいいのか自分では見つけにくいので情報提供を期待したいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚木市にこのような部署があることを始めて知りましたので、周知する方法の工夫など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し生涯学習のPRをした方が良くと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在愛甲公民館で特に学級講座の運営（生涯学習と称する部会を含む）のお手伝いをしていますが、今まで厚木市が「生涯学習推進計画」を策定し諸活動やそれに関する施設の整備に取り組んでおられる事は知らずにおりました。厚木市民の生涯学習推進エンジンたる生涯学習課と草の根の公民館活動との意思疎通が必要だと思えます。近い内にでもその機会を作って頂ければと希望します。愛甲公民館学級、講座開設委員会、生涯学習部会。横地など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ その生涯学習があるのもあまり知らなかった。学校自治会などと連携してどこで何をしているか教えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの広告などの厚木市内の公共機関に生涯学習にかかわる情報を掲示すれば、より多くの人目にとまると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを使った情報発信。イベントはよくチェックして気になるものは参加しています。近頃は力を入れて行っているよう感じているので今後も厚木市ゆかりの人々と共に盛り上げていけることを望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動をしている団体、個人に対し、厚木市として必要としている場面の情報を、厚木市から積極的に提供できるようなネットワークを作ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習という言葉聞き、そうだなと感じております。私は数年前に退職し様々なイベントに参加しています。私も年齢的にも生涯学習項目は限られておりますが、まだまだこの言葉を知らない人、学生、社会人等・・・数多くいると思います。こんなにも学習する場所があるんだよと、幅広く情報を流してもらいたい、その事に力を入れてもらいなと思っております。厚木市が生涯学習推進都市のさきがけになってほしいです。

- ・ やっていることをそもそも知らないなので認知度をあげて欲しい。どんな事が出来るようになるのか具体的に提示して欲しい。ポスティングとかしてあったら見るかも？

◆参加環境の改善

- ・ 誰でも自由に気軽に参加でき、時間も選べる学びの場が増えると嬉しいです。子ども～お年寄りまで世代を超えて楽しめ、経済的負担が少ないことも大切だと思います。こうした環境が整い、市民が生涯を通じて学び、人とのつながりを広げやすくなると期待します。また、多様なニーズに応えた個人でもできる学びの場もあるといいです。
- ・ 趣味や習い事のサークルに参加できる、窓口が欲しい（レベル別だと助かる）。
- ・ 学習する場も大切ですが、それらをいかす場も考えてほしい。
- ・ パソコン、スマートフォンを持っていない場合の申し込みは往復ハガキとのこと。インターネットが出来ず、往復ハガキを購入しに行くのも大変な人はこの先の参加をあきらめてしまうのでは。人手がないのは分かりますが残念です。
- ・ 学びたい講座あっても遠かったりしていけない。近所でできたらいいなと思う。もっと気楽に参加できる場ほしい。ふれあいプラザもキレイで講座やってたりするが交通の便がいまいち。学びながら同時に人の助けになるようなことはないでしょうか？農作を学びつつ仕事になるとか。
- ・ スポーツ等の施設は充実しているが、音楽（バンド、楽団）等練習場所が少ないと思う。海老名市はあるので厚木市でそういう場所があれば良いと思う。
- ・ 厚木市は自然に恵まれています。豊かな自然の中に魅力的な文化施設があればと思います。そして自然の中で生涯学習ができれば最高です。
- ・ 学びたい気持ちはあるが、何しろ情報が少ない。普通に生活しているが、情報を目にする機会が皆無。私は足が不自由、車も返納して乗っていないので情報を得る手段がない（市役所まで行くなんで無理）。これは別問題かも知れないが、目の不自由な方には至れり尽くせりだが、足の不自由な人にとっては、舗道の整備もいき届いていない、街灯も少なく暗い街である。というのが私の印象。
- ・ このアンケートにより「生涯学習活動」と銘うったルール上を人と交り行動しなくては、人生の落ちこぼれの様な印象を受けました。人間は十人十色と様々な考えがあってしかるべし、気楽に斜に構えず生活を楽しめればバラ色の人生かと。充分信頼出来る先達や指導者が存在する事も大切な要因。居住地の近隣や散歩や買い物の途中で、時間に制約される事無く参加出来る場所が有ること、サロンの様な所があればラッキー！かなと。
- ・ 学習という色が濃すぎるのも重い。気軽な気持ちで簡単に誰でも参加出来るが理想。
- ・ 図書館以外で学習可能なスペースが少ないと感じます。公民館を利用しようとしても、団体でなければ利用不可というところもあり、気軽に個人が申請出来るものではありません。図書館もまた、駅に近いところになりますと、学生で混雑していて利用できないこともしばしばあります。自宅以外で学習出来るスペースがこれから多く出来てほしいと感じます。
- ・ どんな分野でも、参加しやすい環境をどうしたらつくれるかを目指してほしい。

◆高齢者向けの参加困難・環境整備

- ・ 高齢者でも参加出来る生涯学習を希望します。
- ・ 65歳で定年退職し、それまで身につけた知識や資格が70才近くでも役に立つ機会があるのかよくわかりません。
- ・ 老後の同好会的活動が少ない。自由な集まり的機会がない。

<ul style="list-style-type: none"> 私は 72 歳です。脳と体の健康を意識しています。市のイベントに積極的に参加しています。戸室に住んでいますが、イベントは駅の近くが多いです。せめて月 2 回位、各公民館で実施していただけたらと思います。特に手と足を使った脳トレ、笑いヨガなど・・・。寝たきりの人がいない厚木市を目指して頂けたらと・・・。
<ul style="list-style-type: none"> 同好者の趣味の活動を行っていますが会員も高齢者も多くなり参加も少数になって来ています。公民館での活動ですが、急に体調による不参加も有ります。急に予約のキャンセルも今後生じる事も考えられますので、ペナルティーも課せられます。ペナルティーが重い負担になってきています！
<ul style="list-style-type: none"> 仕事をしていることもあり（シフト制）、単発的に都合に合った時間、内容のものを探して参加してみました。内容的には、体操、睡眠講座。年配者はやはりむずかしいものは敬遠しがちなので、単純+ちょっとおしゃべりができる散歩程度のウォーキング+足湯に入浴。心も身体も健康で生き生き暮らせる厚木市を目指して頑張っしてほしいと願います。
<ul style="list-style-type: none"> このアンケートは、80 歳超えた人には合わないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 高齢（86 才）のため遠くへは行けず、文化会館が近くにあるので、映画の回数を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の推進計画は年齢的に取り組むことが難しいと思います。人選が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 世界にくらべ日本はジェンダーギャップの指数が非常に高いと聞いています。同じく厚木市もそのような状態が続いていると思います。世の中、男性中心の世間で長生きするのは圧倒的に女性です。厚木市の、生涯学習推進計画と、言っていますが実際、中年以上の人々が楽しく安心して過ごせる場所が厚木にあるでしょうか。他の市にくらべて少ない気がしています。根本的なことを考えてください。
<ul style="list-style-type: none"> 年齢が高くなると、中々出掛けにくくなり、近くで何か出来ないかと考える。出るにしてもバスの本数が減り大変。タクシーを使ってまで出る気にはならない。せめて午前中 10 時頃まで、夕方帰る時間増やしてほしい。さすが 1 時間に 1 本は困ること多い。せめて 2 本に出来ないか考えていただけるとありがたい。
<ul style="list-style-type: none"> 現在 79 歳、高齢者が気軽に集える場が多くなるといいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 私は 77 歳です。年寄りです。暇です。年寄りでも出来るボランティア、体操や音楽、カラオケなど楽しいクラブがあったら良いと思いますので、チラシなどで情報提供をどんどんして下さい。よろしくをお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> 3 年前に横浜から鳶尾団地に移住しました。現在 85 歳です。この地域は静かで空気は最高です。しかし車がないと老女の足では病院、銀行、郵便局、買物すべて悲しい位つらいです。20 年遅かったな一と、残りの人生大事に生きます。
<ul style="list-style-type: none"> ますます超高齢者社会を迎えています。高齢者が孤立しない社会を目指し、どう生き甲斐を持って人生を全うできるか個人の問題でもありますが地域、社会、市がアイデアを出して頂きたいと思ます。
<ul style="list-style-type: none"> シルバーチケットを廃止し、一回毎の使用料金を割引いて欲しい。

◆交通・アクセスの改善

<ul style="list-style-type: none"> 公民館サークルの稼働状況を知り、参加したり、観覧したりしたいのですが、各公民館の広報には館全体の事業しか載っておらず見学も前向きになれない状況です。公民館は、バス停から 10 分程歩かなければならないや、館前のバスは、路線的に本数が少ないなどの環境にあるように思います。ぜひ何かの事で、改善に繋げていただきますよう、よろしくお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> 中途半端に田舎なので、車で通わなければならない事が多い為、無料駐車場の確保か、オンラインでの受講や参加ができるものを多くして欲しい。

◆ボランティア活動の推進

・ ボランティアの発掘（色々な分野）とボランティア情報の一元化。
・ このような取り組みがあると知るよい機会になりました。ありがとうございます。また、私の持つ知識等をボランティアに近い形で活かす事ができたらと思います。
・ ボランティア活動の支援資金を増やして欲しい。
・ 農業、育児のボランティアに興味がありますがあまり情報や募集がないイメージです。

◆オンライン・通信教育の充実

・ 現在は、健康維持の為にスポーツをしていますが、5年後10年後に体力的に厳しくなってきた時には「動」の趣味から「静」の趣味に変えていかざるを得ないと考えています。自宅でもできる「手芸」などを定期的に指導して下さる機関があったら良いなと思います。一人でも気軽に参加できる講習会等（お料理、手芸、書道、絵画、ビーズ）など全く経験のない人を対象に入会しやすい講習会の開催を希望します。講習会に通えない人の為に自宅でも多種多様な事を習得できるようにするために例えばユーチューブなどでやっているギターのひき方を動画でわかり易く放映するなどを公的機関でやってもらえたら高令化社会で外出が難しい人でもテレビを見ながら何かができるのは、無理なく楽しめる方法かなと思います。厚木市のあゆチャンネルでこのような事ができたら手短かに実現できるのではないかと思います。
・ 生涯学習（学び直し）は今後の自分の人生をより豊かにする為に必要だと思うけど現実、お金、お金と言いたくないけど、この物価高、自分達が生活していくうえで（衣・食・住）収入以上に出費して補う為に、平日はもちろん土・日・祝まで手を出すようになると、身体も気分も休まりません。ハッキリ言って、生涯学習する時間（1～2時間でも）あるなら、その時間で働いてお金を手にしたい。だったら都合のよい時間帯でって言うけど、その時間帯は疲れて休みたいよ。セミナーや講座を受けるのに近場の大学や会議室を開放したとしても、そこまで行くのに交通費がかかるよ。それもバカにできない金額よ。だったらオンラインでパソコンつないでリモートでってなるけど、みんながみんなパソコン中古でも購入したり設備だったり金銭的な理由で準備できませんよ。
・ どの地域からでも気軽に参加できるようにオンライン学習を充実できたら良いと思う（様々な理由で現地に集合できない人もいると思う）。
・ 生涯学習の中の学習という単語があることで固く考えたりしてしまいます。しょうがないところと思いますが、生涯活動とかではだめなのでしょうか。活動と言うと参加しやすくなるのではと思います。また、対面だけではなくオンラインや録画による授業が受けられることや、その他の知育やボケ防止となるゲーム等の各種サブカルチャーについて、都内行かなくても出来る場所が厚木市内にあるといいなと思います。
・ 申し込みや手続き申請等が煩わしく、気軽に大学の授業のように気になるものに参加できるようなスタンスのものと参加しやすいです。資料等が充実していて、自宅でもできるとなるとなお嬉しいです。

◆子育て支援・多世代交流

<ul style="list-style-type: none">・ 現在6ヶ月の子を育てている母です。厚木の支援については子を持ち初めて知るものばかりでした・・・そして子育てがしやすいように多くの支援があり改めて感動です。よくアミューの子育て支援センターを利用します。こういった場があることがとてもよかったと思うのと同時に、アミューでは美術？などの活動をされている高齢の方もよく見ます。厚木に住んでいて“今”だけではなく“これから先”の楽しみも見つけやすいのかも？と思いました。まだまだ情報がなくて知らないこともたくさんありますが利用したいと思っています。
<ul style="list-style-type: none">・ 将来を担う子供達のための市政であってほしいです。すべての子供が幸せでありますように心から祈っております。
<ul style="list-style-type: none">・ 未来像を考えるに夫婦共働きが増えると思うにあたって保育園の確保又自動保育に関しては充実した体制が必要と思います。
<ul style="list-style-type: none">・ 親と子が一緒に参加できる健康イベントがあると嬉しいです。親は運動系のレッスンに参加したい、でも子供を家に置いて出掛けることはできないので。
<ul style="list-style-type: none">・ 働いている主婦も学びやすい環境を作って欲しいです。生活が苦しい→働く→時間的、精神的余裕がない→生涯学習を学ぶ機会がない悪循環です。
<ul style="list-style-type: none">・ 不登校の子を持つ親です。そのような子供達でも気軽に参加できるような場があるととても助かります。

◆行政運営への批判／透明性・予算面の要求

<ul style="list-style-type: none">・ 計画策定の必要性、市民の求めている行政、この調査に係る委託料等の予算などに疑問を持ちます。市広報に掲載されている講座も参加費がけっこうかかるように感じることもあります。何を理解して協力するのも市民に何を求めているのか・・・と感じてしまうのが正直な気持ちです。調査を実施してまとめることも大変です。それゆえ委託して行うことになるのかと思います。策定に伴う意見でなくてごめんなさい。市予算の適正な運営を願います。
<ul style="list-style-type: none">・ 学習の内容は人それぞれあり、企画する事は難しい。現在、構想策定中のことと思われませんが、広域な意見や要望を募る対応もして頂きたい。本件とは別に厚木市の将来構想の方がもっと大切かと。周辺自治体が発展する中、神奈川の中核でもある厚木市の衰退が非常に残念。税収入のための世帯数増加のための駅周辺開発は良いのだが、商業施設の減少には危惧される。人が住みやすく街に活気があり衣食住を兼ね備えた自治体にならねばならないと思う。現状はいかがなものでしょうか？（この先10～30年後の将来）今回の調査会社が何故愛知なのでしょう？本来なら市内企業に発注すべき→市内に適当な会社なし？やはりここは市内に金をおとすべき！
<ul style="list-style-type: none">・ 厚木市生涯学習推進計画の策定でいくらの費用が使われているのか明示してください。内訳の詳細まで見える化してください。また、利用者の人数も公表してください。同一者はカウントせず、年代別に公開して下さい。
<ul style="list-style-type: none">・ 市がどのレベルで何がしたいのか意味がわからない。年齢も、職歴、経歴も違う個人レベルで学習したい内容を行政が網羅するには無理がありすぎる。学習に興味があれば、自治体の助けに関係なく、経済的な負担をしたとしても学習すると思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 予算があるなら資格試験の受験料の補助金とかを出して欲しい。

◆その他

<ul style="list-style-type: none">・ とにかく金がない。このままでは暮らせない。しんどい。
<ul style="list-style-type: none">・ 精神的障害が増えてる現在に対して、何かしら支援活動の場を広げ、より良く過していける（働いていける）社会にしてほしい。少子化対策に対する給付は国や自治体はどんどん活発に対応しているが、子供がいない（事情を抱え子供ができない）人達に対する支えがいまいち整っていないと思う。そういった考えも見直しながら、推進計画をしていってほしい。
<ul style="list-style-type: none">・ 厚木市で暮らしていて、最近よく感じるがあります。それは、外国籍の人が増えたという事です。そして、国籍も様々です。「多文化共生」を実現させるためには、宗教や文化、習慣などを、日本人と外国人が交流し知る必要があると考えます。また、言語の壁があることにより、コミュニケーションがうまくいかず誤解を招いてしまう場合もあります。生涯学習の一環として、「多文化交流会」や「日本語学習のマッチング」など、外国人との交流する機会を積極的に増やしていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・ お金ではなく、得意な事や食物などの交換で成り立つ仕組み作りが今後の世の中をよくすると思います。
<ul style="list-style-type: none">・ アンケートするなら何か報酬が欲しいです。
<ul style="list-style-type: none">・ 障害を持っている人や、将来、家族が障害をもった時の備えとしての知識や勉強、介護や助け合いなど、公民館などで学べる場があるといいです。高齢者ご夫婦の方から、集合住宅なので車椅子になったらどうしようと相談されたことがありました。

厚木市生涯学習推進計画に係る意向調査

「生涯学習」とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習です。

厚木市では、市民の皆様が、いつでも気軽に生涯学習に取り組むことができるよう「厚木市生涯学習推進計画」を策定し、学習機会の提供や、学びを生かす場・学びを通じた交流の場の創出、生涯学習施設の整備等に取り組んでいます。

現在、令和3年3月に策定した、「第3次厚木市生涯学習推進計画第1期基本計画」の計画期間が令和8年度を持って満了を迎えることから、令和9年度を始期とする新たな計画の策定に向け検討を進めています。

つきましては、計画の策定にあたり、多くの市民の皆様の生涯学習に対する考えを反映させるため御意見をお聞かせください。

お願い

- 以下の設問の該当するものに○をつけてください。また「その他」の欄に○をつけた場合は、具体的に御記入ください。
- のつけた後は、質問文の終わりに（1つを選択）や（複数選択可）など書いてありますので、それにしただけでください。
- インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
下記の URL にアクセスするか、右下の二次元コードを読み込んでください。
https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142123-u/offer/offerList_detail?tempSeq=106016
入力する際は、IDを入力してください。
ID：0001
- インターネットを利用して回答していただく場合は調査票の返送は不要です。
- 住所・氏名を書いていただく必要はありません。



回答は9月30日（火）までお願いいたします。

※調査票をご記入いただいた場合、恐縮ですが同封の返信用封筒に入れご投函ください。
(切手を貼る必要はありません。)

※本調査は、厚木市が「株式会社名豊」に委託して行っております。返信用封筒のあて先が「株式会社名豊」になっている旨を御了承ください。

本調査について、ご不明な点、ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

■調査についての問い合わせ先

厚木市 市民交流部 生涯学習課 生涯学習係
(8:30~17:15、土日・祝日を除く)

TEL：(046)225-2512

メール：0350@city.atsugi.kanagawa.jp

問1 あなたの性別について聞かせください。(1つを選択)

- | | |
|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 |
| 3 その他 | 4 答えたくない |

問2 あなたの年齢についてお聞かせください。(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 16～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～64歳 |
| 7 65～69歳 | 8 70～74歳 | 9 75～79歳 |
| 10 80歳以上 | | |

問3 あなたの職業について、お聞かせください。(複数選択可)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 自営業、自由業 | 2 会社員、公務員、団体職員 |
| 3 パート・アルバイト | 4 学生 |
| 5 専業主婦・主夫 | 6 無職 |
| 7 その他⇒具体的に() | |

問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つを選択)

- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1 厚木北 | 2 厚木南 | 3 依知北 | 4 依知南 |
| 5 睦合北 | 6 睦合南 | 7 睦合西 | 8 荻野 |
| 9 小鮎 | 10 玉川 | 11 南毛利 | 12 相川 |
| 13 緑ヶ丘 | 14 愛甲 | 15 森の里 | 16 わからない |

問5 「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。(複数選択可)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 生活を楽しみ、心を豊かにすること |
| 2 趣味や教養を高めること |
| 3 生きがいを充実させること |
| 4 健康の増進や体力づくりをすること |
| 5 仕事に必要な知識や資格を得ること |
| 6 家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること |
| 7 ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること |
| 8 講座や教室等の学習活動へ参加すること |
| 9 学校における学習活動のこと |
| 10 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと |
| 11 イメージするものはない、わからない |

問6 あなたは日頃から生涯学習[※]の必要性を感じていますか。(1つを選択)

- 1 強く感じている
- 2 どちらかといえば感じている
- 3 あまり感じていない
- 4 全く感じていない

※「生涯学習」とは：人々が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯の様々な場や機会において、自由に学習機会を選択して行う、学校教育、社会教育、家庭教育、文化活動、スポーツ活動などのあらゆる学習をいいます。

問7 現在の厚木市の生涯学習に関する環境について、あてはまると思うものをお答えください。
(複数選択可)

- 1 生涯学習に関する情報提供が充実している
- 2 学びを得ることができるイベントが充実している
- 3 生涯学習活動を行う施設が充実している(施設や備品の貸出・講座の提供など)
- 4 社会や地域の課題に対応する講座が充実している
- 5 興味を持てる講座が充実している
- 6 それぞれの年代やライフステージに役立つ講座が充実している
- 7 多文化・多様性を知ることができる講座が充実している
- 8 スポーツや健康づくりに関連する講座が充実している
- 9 リカレント教育[※]に関する講座や情報提供が充実している
- 10 郷土文化芸能に触れることができる講座が充実している
- 11 地域の歴史や自然、文化を知ることができる講座が充実している
- 12 気軽に参加できるサークルやクラブがある
- 13 生涯学習団体への支援が充実している
- 14 学習や活動の成果を生かせる機会がある
- 15 地域活動やボランティアに参加するきっかけや機会がある
- 16 あてはまるものはない、わからない

※リカレント教育とは：社会人になってから大学等の高等教育機関で学んだり、職業に関係のある分野を学んでいくこと

問8 1年くらいの間に、どのような分野で生涯学習活動を行いましたか。(複数選択可)

- 1 趣味や習い事に関すること
- 2 学問や教養に関すること
- 3 社会問題に関すること
- 4 健康・スポーツに関すること
- 5 家庭生活に役立つこと
- 6 子育て・教育に役立つこと
- 7 職業上必要な知識や技能、資格に関すること
- 8 デジタル機器の操作に関すること
- 9 ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること
- 10 自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
- 11 厚木や地域の歴史・文化に関すること
- 12 その他⇒具体的に ()
- 13 この1年間、生涯学習をしたことがない ⇒問12へ

問9 どのような方法で生涯学習に取り組みましたか。(複数選択可)

- 1 市が行う講座・イベントに参加した
- 2 民間事業者が行う講座・イベントに参加した
- 3 大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座に参加した
- 4 大学や専門学校、その他の学校に入学した
- 5 職場の研修や教育訓練に参加した
- 6 同好者が自主的に行っているサークル活動等に参加した
- 7 図書館、博物館、美術館で学んだ
- 8 ラジオやテレビを視聴して学んだ
- 9 オンラインで配信されている講座を視聴して学んだ
- 10 書籍から学んだ
- 11 その他⇒具体的に ()

問10 どのような形態で生涯学習に取り組みましたか。(複数選択可)

- 1 対面
- 2 オンライン
- 3 その他⇒具体的に ()

問 11 生涯学習に取り組む理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 教養を高めたり、趣味を豊かにするため
- 2 家庭・日常生活に活用するため
- 3 自由時間を有効に活用するため
- 4 健康の維持・増進のため
- 5 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
- 6 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため
- 7 地域や社会をより良くするため
- 8 特に理由はない

⇒問 13 へ

問 8 で「13 この 1 年間、生涯学習活動をしたことがない」と答えた方にお聞きします。

問 12 あなたが生涯学習をしていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 仕事が忙しくて時間がない
- 2 家事・育児が忙しくて時間がない
- 3 こどもを預けられるところがない
- 4 費用がかかる
- 5 必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手しにくい
- 6 インクルーシブ[※]な支援体制が整っていない
必要な支援策⇒ ()
- 7 一緒に学習や活動をする仲間がいない
- 8 身近なところに施設や場所がない
- 9 講座の内容や開催時期、時間が希望に合わない
- 10 何を学習していいのかわからない
- 11 わからない、特にない

※インクルーシブとは

「包括的な」「全てを包み込む」という意味で、年齢、性別、国籍、障がいの有無など、多様な背景や特性を持つ人々を排除せず、分け隔てなく受け入れ、共に生きる社会を目指す概念です。

問 13 今後学んでみたいと思う分野は何ですか。(複数選択可)

- 1 趣味や習い事に関すること
- 2 学問や教養に関すること
- 3 社会問題に関すること
- 4 健康・スポーツに関すること
- 5 家庭生活に役立つこと
- 6 子育て・教育に役立つこと
- 7 職業上必要な知識や技能、資格に関すること
- 8 デジタル機器の操作に関すること
- 9 ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること
- 10 自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
- 11 厚木や地域の歴史・文化に関すること
- 12 その他⇒具体的に ()
- 13 わからない、特になし

問 14 「人生 100 年時代」と言われるなかで、リカレント教育[※]や社会人の学び直しが注目されていますが、リカレント教育や社会人の学び直しをしたいと思いますか。(1つを選択)

- 1 リカレント教育や学び直しをしている(したことがある)
- 2 今後、リカレント教育や学び直しをしたい
- 3 リカレント教育や学び直しに興味はあるが、手段がわからない
- 4 リカレント教育や学び直しには興味がない ⇒問 16 へ

※リカレント教育とは：社会人になってから大学等の高等教育機関で学んだり、職業に関係のある分野を学んでいくこと

問 15 どのような方法で、リカレント教育や社会人の学び直しをしたいと思いますか。(複数選択可)

- 1 市内5大学と連携して講座を実施しているあつぎ協働大学
- 2 市が主催する大学等から講師を招へいして行う講座
- 3 大学や専門学校が実施する講座(対面、オンライン含む)
- 4 民間のセミナーやワークショップ、通信教育
- 5 資格取得のための講座
- 6 企業が提供する研修制度
- 7 公的機関による職業訓練
- 8 専門書やビジネス書による自学
- 9 その他⇒具体的に ()

問 16 生涯学習活動に参加するに当たり、都合の良い時間帯・日程はどれですか。(複数選択可)

時間帯	日 程	平 日	土 曜 日	日 曜 日	祝 日 等
1 午前中		1	2	3	4
2 午後		1	2	3	4
3 夕方(午後4時から午後6時まで)		1	2	3	4
4 夜間(午後6時から午後10時まで)		1	2	3	4
5 参加できる時間帯はない		1	2	3	4

問 17 生涯学習活動に無理なく参加できる 1回当たりの費用はいくらですか。(1つを選択)

- 1 無料
- 2 500 円未満
- 3 500 円以上 1,000 円未満
- 4 1,000 円以上 2,000 円未満
- 5 2,000 円以上 3,000 円未満
- 6 3,000 円以上 5,000 円未満
- 7 5,000 円以上 10,000 円未満

問 18 市が行う講座等の情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。(複数選択可)

- 1 「広報あつぎ」
- 2 厚木市ホームページ
- 3 厚木市公式 SNS (LINE、Instagram 等)
- 4 市の施設に設置したチラシやポスター
- 5 厚木市広報番組「あつぎ愛テレビ」(ケーブルテレビ)
- 6 自治会等の回覧
- 7 わからない
- 8 その他⇒具体的に ()

問 19 あなたは、生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。(複数選択可)

- 1 市が行う講座・イベントの情報
- 2 民間事業者が行う講座・イベントの情報
- 3 大学や専門学校、その他の学校が行う公開講座の情報
- 4 同好者が自主的に行っているサークル活動等の情報
- 5 リカレント教育の情報
- 6 知りたい情報はない、わからない

問 20 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動にいかしていきたいと思いますか。(1つを選択)

- 1 すでにかかしている ⇒問 21・問 22 へ
- 2 いかしたいが、現在はできていない ⇒問 23 へ
- 3 いかしたいとは思わない ⇒問 24 へ
- 4 わからない ⇒問 24 へ

問 20 で「1 すでにかかしている」と答えた方にお聞きします。

問 21 どのような分野で学んだことをいかしていますか。(複数選択可)

- 1 趣味や習い事に関すること
- 2 学問や教養に関すること
- 3 社会問題に関すること
- 4 健康・スポーツに関すること
- 5 家庭生活に役立つこと
- 6 子育て・教育に役立つこと
- 7 職業上必要な知識や技能、資格に関すること
- 8 デジタル機器の操作に関すること
- 9 ボランティア活動のために必要な知識・技能に関すること
- 10 自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
- 11 その他⇒具体的に ()

問 20 で「1 すでにかかしている」と答えた方にお聞きします。

問 22 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会でのどのような活動にいかしていますか。(複数選択可)

- 1 講師・指導者として活動している
- 2 事業や活動を企画している
- 3 その活動の普及・啓発を行っている
- 4 市政に参画している
- 5 自治会活動にかかしている
- 6 ボランティア活動をしている
- 7 その他⇒具体的に ()

問 20 で「2 いかしたいが、現在はできていない」と答えた方にお聞きします。

問 23 あなたが、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動にいかすに当たってお困りの点や、いかしたいのにそれができていない理由はありますか。(複数選択可)

- 1 いかすことができるまでの段階に達していない
- 2 知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない
- 3 学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない
- 4 身近でいかせる活動や場所を見つけられない
- 5 どのような活動にいかすことができるのかわからない
- 6 時間的余裕がない
- 7 特に困っていることはない
- 8 その他⇒具体的に()

問 24 あなたは、生涯学習活動をより盛んにしていくために、厚木市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択可)

- 1 大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する
- 2 生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など)を育成する
- 3 生涯学習を支援する地域の人材を把握し、周知する
- 4 講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるような環境づくりをする
- 5 ボランティア活動を支援する
- 6 市のホームページで生涯学習情報を充実させる
- 7 厚木市公式SNSで情報を発信する
- 8 その他⇒具体的に()

問 25 厚木市生涯学習推進計画の策定に伴い、御意見等がございましたら、御記入ください。

お忙しい中、御協力いただきありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れて、**令和7年9月30日(火)**までに御投函くださいますようお願い申し上げます。

本調査は、厚木市が「株式会社名豊」に委託して行っております。返信用封筒のあて先が「株式会社名豊」になっている旨を御了承ください。

インターネットを利用して回答していただく場合は調査票の返送は不要です。

今後とも、厚木市の生涯学習の推進について、御理解と御協力をお願いいたします。

厚木市 市民交流部 生涯学習課 生涯学習係

住所 〒243-8511 厚木市中町 3-17-17

電話 (046)225-2512

FAX (046)225-3130

E-mail 0350@city.atsugi.kanagawa.jp

厚木市生涯学習推進計画に係る
意向調査結果報告書

発行年月：令和7年11月

発行：厚木市 市民交流部 生涯学習課 生涯学習係
〒243-8511 厚木市中町 3-17-17

電話：(046)225-2512

第4次厚木市生涯学習推進計画策定方針（案）

1 策定の考え方

本市では、令和3年度から14年度までの12年間の計画期間とする第3次生涯学習推進計画に基づき、こどもから高齢者までのあらゆる世代がいつまでも継続して気軽に生涯学習に取り組み、学んだ成果をいかせる環境づくりを目指し、様々な生涯学習活動の充実や環境整備を図ってきました。

現行計画の策定時以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会生活は大きく変わり、生涯学習の分野においてはオンライン講座の普及や、対面講座では少人数講座への移行などの変化があり、学習方法の転換期を迎えました。

令和5年度を始期とする国の第4期教育振興基本計画では、人生100年時代を見据え、全ての人のウェルビーイング※1の実現のために、人生の各場面で生じる個人や社会の課題の解決につながる学習機会の保障や、生涯学び活躍できる環境、仲間とつながりながら学ぶことができる環境の整備が求められています。

また、生涯学習推進計画は、令和8年度を始期とする第11次厚木市総合計画や関連計画との整合性を確保した上で、施策の着実な展開を図る必要があります。

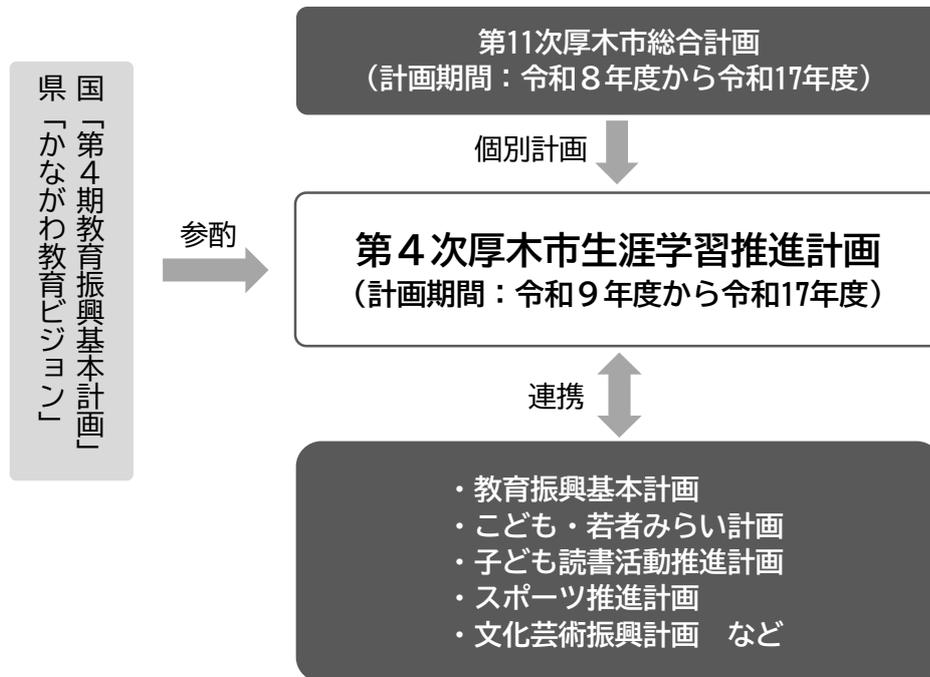
そこで、生涯学習推進計画の策定に当たり、新たな視点を反映した生涯学習の推進の方向性を示し、教育を通じて市民一人一人のウェルビーイングの向上を実現するため、改めて計画の見直しを行い、現行計画に代わる新たな生涯学習推進計画を策定します。

※1 ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

2 基本的事項

(1) 計画の位置付け

第4次厚木市生涯学習推進計画は、国の第4期教育振興基本計画及び神奈川県のがわ教育ビジョンを参酌し、上位計画である総合計画及び教育振興基本計画等庁内関連計画との整合・連携を図り策定します。



(2) 計画の構成と期間

現行計画では、本市の生涯学習のあるべき姿を表す「基本理念」、基本理念を実現するための「基本方針」と「基本施策」及び実際に実施する事業をまとめた「実施計画」を策定し、施策を推進するとともに取組の評価等を一体的に行っています。

第4次厚木市生涯学習推進計画では、計画期間を通じて掲げる「基本理念」と「基本方針」、「基本施策」を一体とし、社会状況の変化に応じて対応が必要となる実施事業をまとめた「実施計画」を策定し、よりシンプルで分かりやすい構成とします。

なお、計画期間は、令和8年度からスタートする総合計画や教育振興基本計画の終期と合わせ、令和17年度までの9年間とします。

〈現行計画〉



〈次期計画〉



※終期を総合計画及び教育振興基本計画に合わせる

3 アンケート調査からみる現状

第4次厚木市生涯学習推進計画の策定に当たっては、市民の生涯学習に関する意識の変化や実態を的確に把握し、今後の施策展開に向けた課題を抽出することを目的として、アンケート調査を実施しました。策定に当たっては、アンケートの結果も踏まえて、市民のニーズに即した計画策定を行います。

(1) 調査概要

【調査対象】

小学生意向調査：厚木市立23小学校に通う小学5年生

中学生意向調査：厚木市立13中学校に通う中学2年生

市民意向調査：厚木市内に在住する16歳以上の市民（外国人住民を含む）

【調査方法】

郵送配布・回収及びWEBフォームによる回答

【回収状況】

	配布数	回収数	回収率
小学生	1,747件	947件	54.2%
中学生	1,750件	1,418件	81.0%
市民	3,000件	746件	24.9%

(2) 小・中学生意向調査の結果

- 生涯学習という言葉の認知度について、小・中学生の大部分が認知していない状況です。
- 今後、学校以外で、学んでみたいと思うことについて、小学生では「スポーツ」「絵」「プログラミング」が上位を占めています。中学生では「スポーツ」「音楽」「英語」「学習塾」が上位を占めていますが、「学んでみたいことはない」と回答した方もみられました。

(3) 市民意向調査の結果

- 生涯学習について、多くの市民が「趣味や教養を高める」、「心を豊かにする」といったイメージを持ち、必要性を感じています。一方で、高齢層や男性を中心に、その必要性を感じていない人の割合も一定数おり、今後は幅広い世代や属性に対応した学びの場づくりや情報提供の充実が求められます。
- 生涯学習活動について、参加率は年々減少傾向にあり、約半数が未参加で、特に男性や若い世代での未参加が目立ちます。一方で「趣味」、「健康」、「教養」分野への関心は高く、今後は多忙な社会人や高齢者のニーズに応じた支援、便利な情報提供方法の強化が求められます。
- 生涯学習の地域・社会活用について、身につけた知識や技能を「いかしたい」と考

える人は多い一方で、「いかしたいが現在はできていない」という人が最も多い状況です。特に、知識・技能を地域活動に「いかす方法がわからない」や「時間的余裕がない」ことが主な課題とされています。地域や社会で活用できる具体的な場や仕組みの整備が求められています。

- 市の施策について、生涯学習活動を盛んにするために、市民からは「市のホームページで生涯学習情報を充実させる」や「講座参加者が継続的な学習を行える環境づくり」に力を入れるべきとの意見が多く挙がりました。特に、様々な世代に向けたSNSを活用した情報発信や、地域人材の支援が今後の課題とされています。
- 自由意見では、「講座内容・プログラムの拡充」、「広報・情報提供の改善」が特に多く挙げられました。他にも「高齢者や子育て世代向けの環境整備」や「オンライン・通信教育充実」など、多様な意見が寄せられていることから、市民の関心や期待が高いことがうかがえ、今後、市民の声を反映した柔軟な施策の展開が求められます。

4 策定にあたって考慮すべき視点

第4次厚木市生涯学習推進計画は、現行計画の成果と課題を踏まえるとともに、生涯学習を取り巻く社会的な変化に照らし合わせ、次の視点を踏まえて策定します。

(1) 未来を切り拓く「あつぎプライド」～ウェルビーイングの実現～

厚木市の郷土や文化、自然を愛し、学びを深め未来に継承するとともに、VUCA※の時代に、社会や地域の課題を学び、多様な人々と協働しながら予測困難な社会的変化を乗り越え、あつぎで豊かな人生を切り拓く人材を育成すること

※VUCAとは：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を組み合わせた造語で、変化が激しく将来の予測が困難な状態のこと

(2) 生涯学習に係る情報提供の強化

広報、市ホームページ及び公式SNS等を効果的に活用し、学びのきっかけになるイベントや市民が学びたい講座を容易に探せる情報提供の工夫をするとともに、気軽に生涯学習に取り組むことができる環境を創出すること

(3) 生涯にわたって学び続ける人材の育成

こどもから高齢者まで、誰もが人生の様々なライフステージにあって、個人のニーズに合わせ、常に興味を持って学べる環境を創出するとともに、人生100年時代における社会の構造的な変化に対応するため、社会人の学び直し（リカレント教育）を充実し、生涯にわたって学習する機会を得られる環境を整えること

(4) 生涯学習に取り組みやすい環境の創出

生涯学習団体の支援や、学んだ知識や技能を地域活動やボランティア活動などで活用・発表できる場を創出すること

5 策定体制

(1) 市民参加

検討の段階に応じて様々な市民参加の手法を活用し、幅広い世代や多様な主体の意見を取り入れながら策定を進めます。

(2) 厚木市生涯学習推進会議（附属機関）

公募による市民、学識経験者、関係団体の代表等により構成し、第4次厚木市生涯学習推進計画の策定について、市長の諮問に応じて調査及び審議をし、答申します。

(3) 厚木市生涯学習計画検討委員会（庁内検討委員会）

庁内検討委員会を開催し、第4次厚木市生涯学習推進計画や実施計画の策定に必要な事項の検討等を行います。

6 進行管理

P D C A サイクルに基づき、実施計画に位置付けた事業の進捗及び課題整理等の進行管理を厚木市生涯学習推進会議において継続的に行い、実施結果の状況に応じて見直しを行うなど、計画の実効性を確保します。

7 策定スケジュール

令和8年2月 策定方針決定

7月 計画骨子（案）策定

9月 厚木市生涯学習推進会議（諮問・答申）

12月 基本理念・基本方針・基本施策パブリックコメント実施

令和9年3月 基本理念・基本方針・基本施策、前期実施計画策定

4月 計画スタート